千 葉 工 業 大 学

学生生活アンケート
集計報告【学部】

2021 年度

☞ トピックス

☞ 集計結果

2022 年 3 月

学生委員会

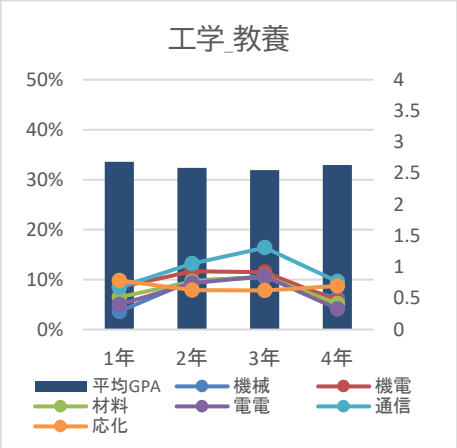
1. 授業の理解度と成績の関係性　1/2

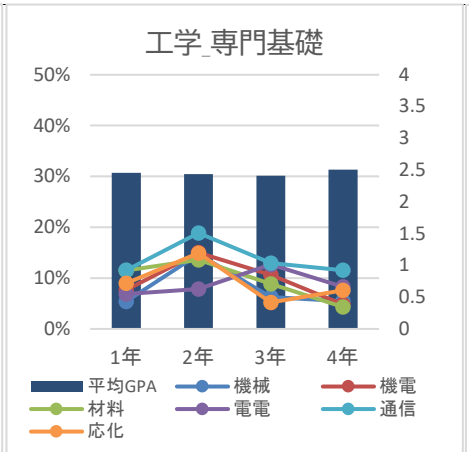
課程満足度

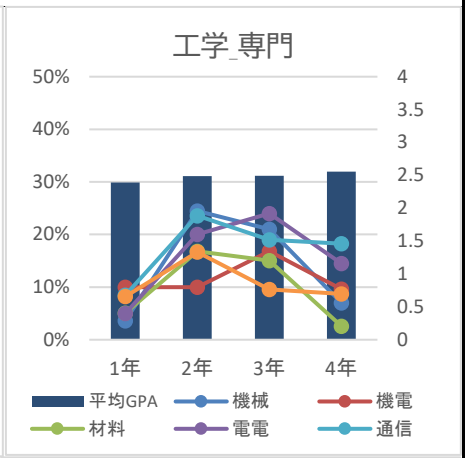
[所見]

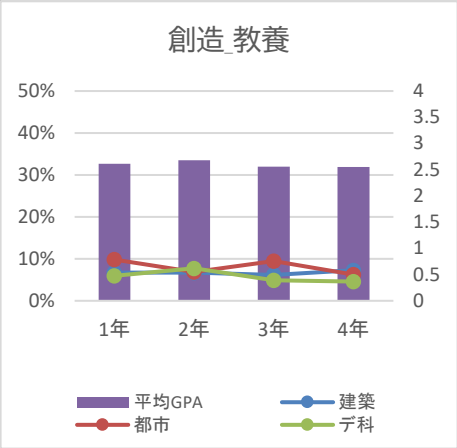
2021年度は新たな設問として「教養科目」「専門基礎科目」「専門科目」のカテゴリ別に理解度チェックを設定し、学生の理解度と実際の成績（累積GPA）に着目して検証を行った。全体的には、カテゴリ別に見ても80%以上は「理解できる」「有益な内容が学べる」となっており、良好な数値である。そのため、このレポートでは、「努力しても難しすぎて理解できない」「内容が期待と違う」と回答した学生がどのような成績状況になっているのかを絞って分析することとした。

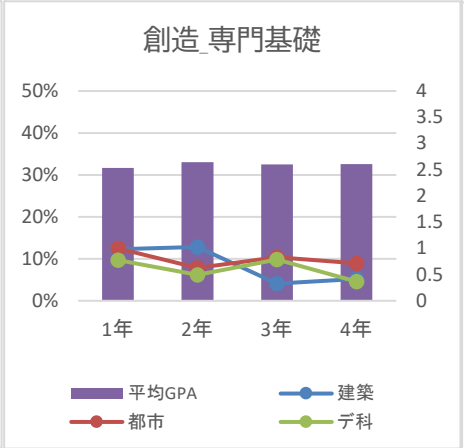
まず、教養教育では、概ね3年次段階で理解が難しいなどの回答率が上昇する傾向にある。学部指定科目群や国際理解分野が対象になっていると考えられるが、そのような学生であってもGPA平均値は他のカテゴリよりも高くなっているので、理解度の困難さよりも科目選定方法が先着となっていることから、学年が高くなるほど、内容の相違に大きな不満があると考えられる。また、カテゴリ別では、専門教育において、理解が難しいなどの回答率が高くなっており、GPA平均値も低くなっているので、割合の高い学年では、個々の授業科目の合格率にも注視し、著しく不合格者が多い時には、学修機会を増加させることも必要と考えられる。最後に入学試験別では、特に専門基礎において、推薦系と一般系に差異が見られる。

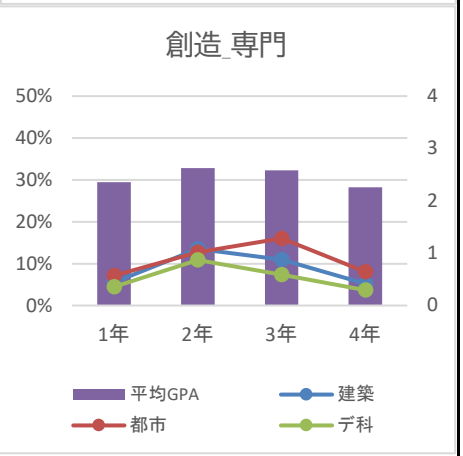


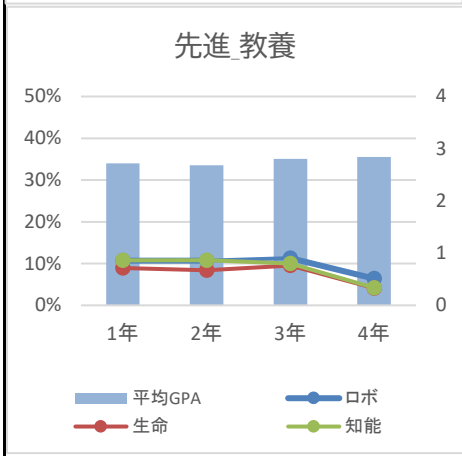


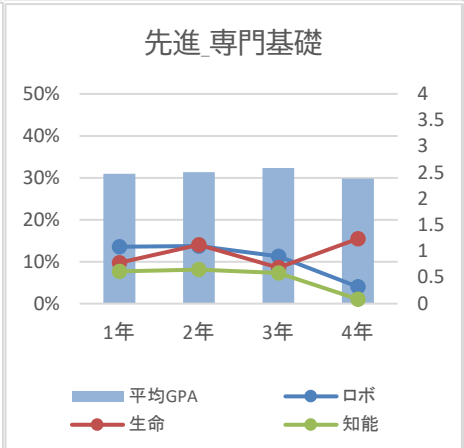


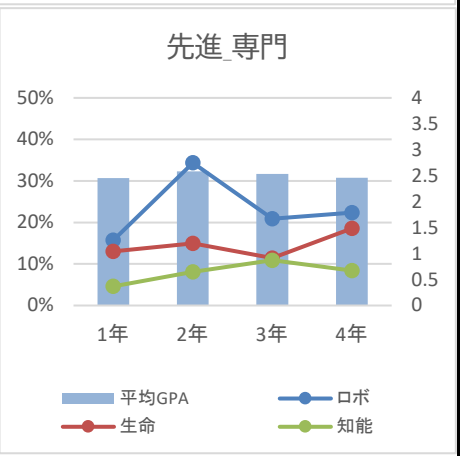










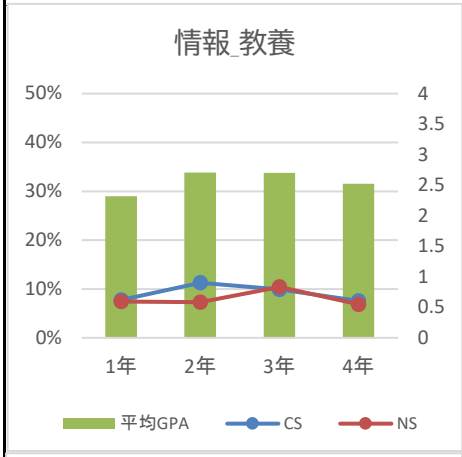


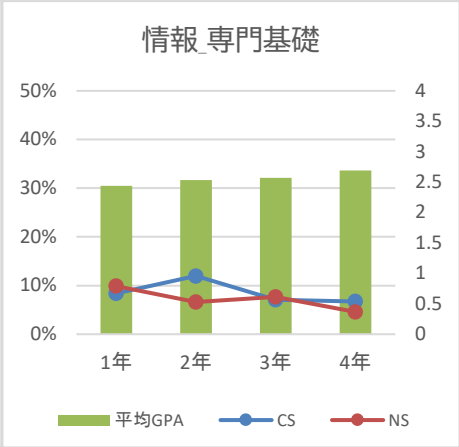
[グラフ＆集計方法の解説]

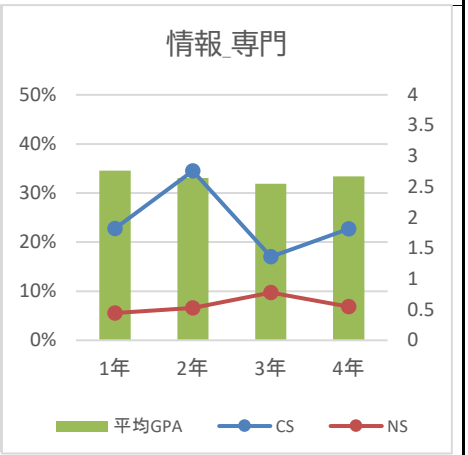
教養科目⇒Q4　専門基礎科目⇒Q5　専門科目⇒Q6　について、回答3「努力しても難しすぎて理解できない」、回答5「内容が期待と違う」と回答した学生を抽出し、学科別の状況、学年進行での推移及び累積GPA平均について、グラフ化した。

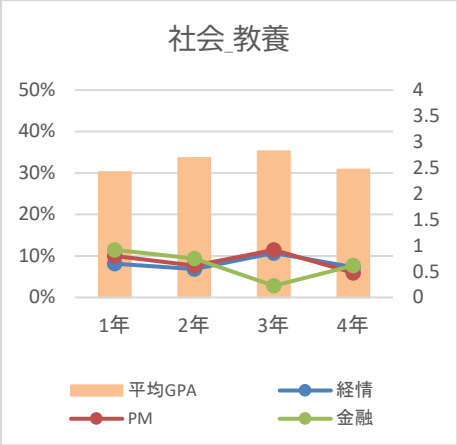
1. 授業の理解度と成績の関係性　2/2

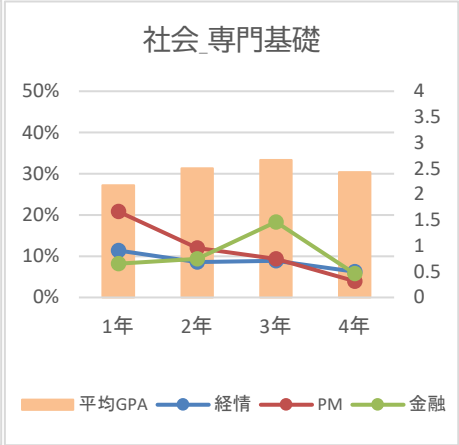
課程満足度

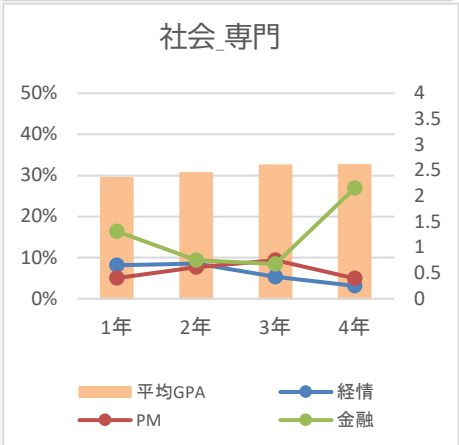


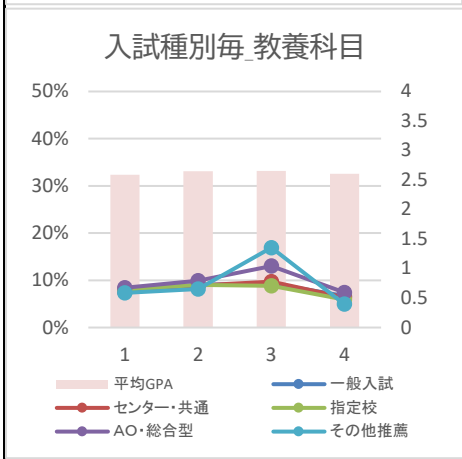


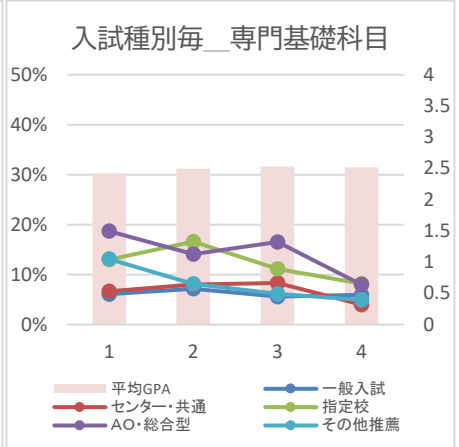


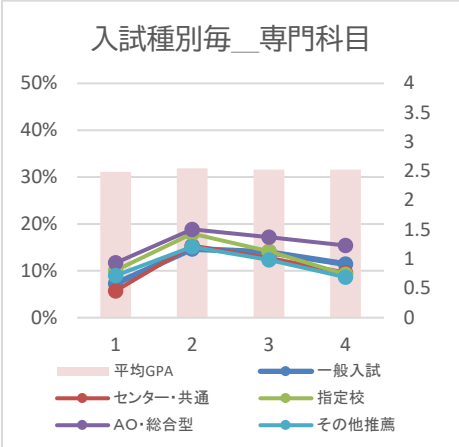












[グラフ＆集計方法の解説]

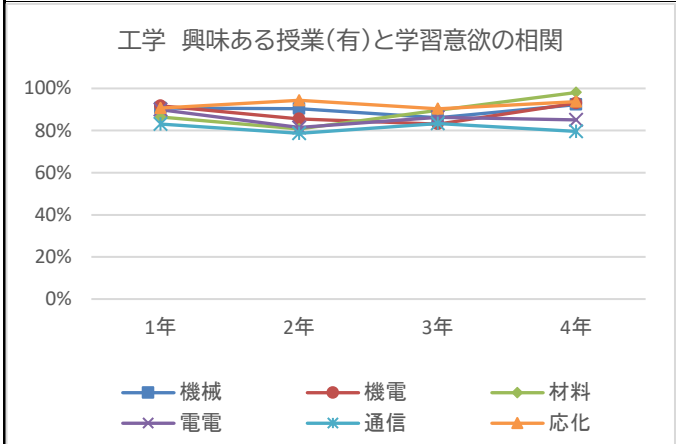
2. 授業内容と学生のモチベーション 1/2

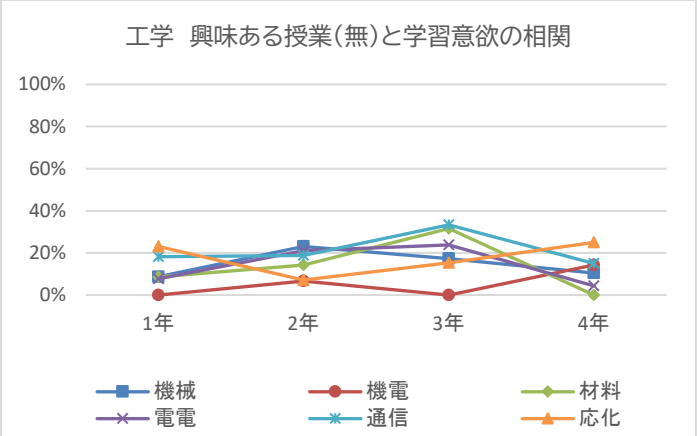
課程満足度

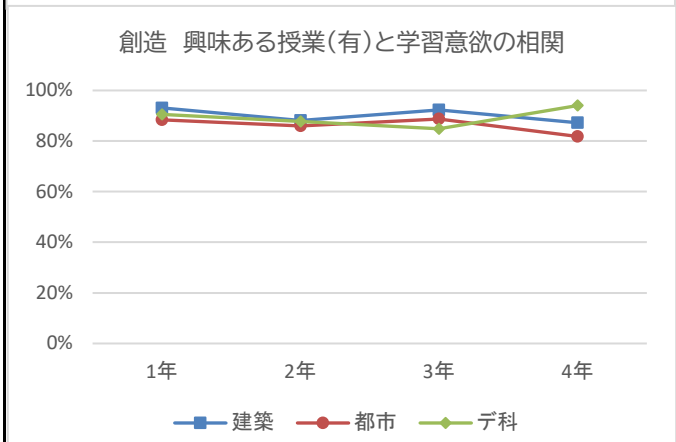
[所見]

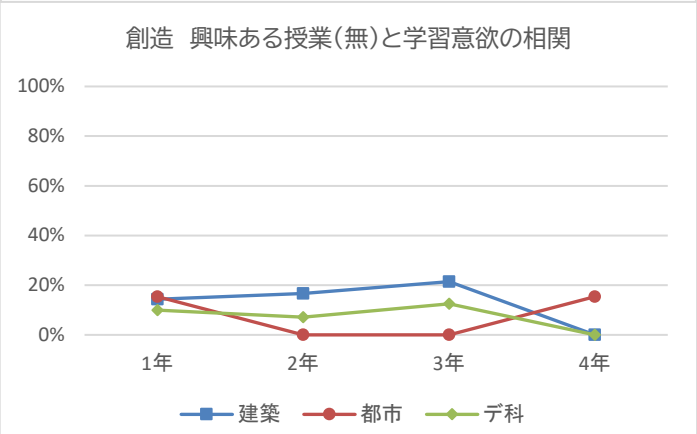
2021年度は新たな設問として所属学科で「満足している項目」「不満足な項目」のチェックを設定し、学生の満足度と不満足度に影響のある項目に着目して検証を行った。全体的には、90%以上が満足層となっており、良好な数値であるが、項目別に見ると、満足度に影響の高い項目は「興味関心のある授業や役立つ授業がある」と「学科内での友人関係」となり、不満足度に影響の高い項目は「興味関心のある授業や役立つ授業が少ない」と「教員とのコミュニケーションがとりにくい」となっている。そのため、このレポートでは、興味関心のある授業の有無と学修意欲の相関関係に絞って分析することとした。

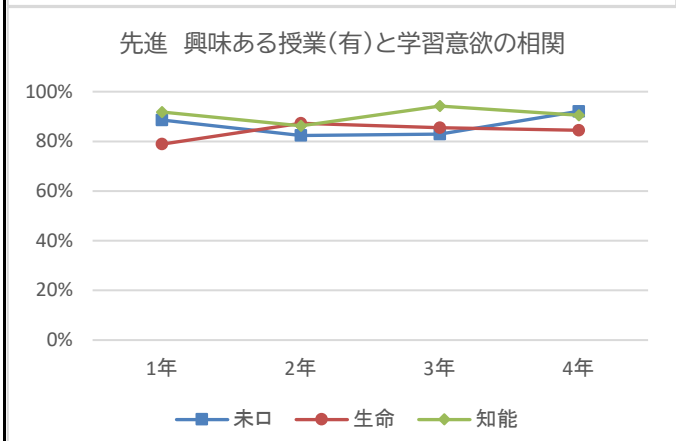
まず、興味関心のある授業などがあると回答した学生の学習意欲は総じて高くなっているが、学部・学科によって学年進行の傾向に差異が見られる。当該学科のポイントとなるコア的な授業の配当学年が異なるためと考えられる。一方で、興味関心のある授業などがないと回答した学生の学習意欲は総じて低くなっている。学科で学ぶ意義の理解や興味関心の度合で大きく学習意欲にも影響があると考えられる。当然、個々の授業科目に対する困難度とも影響があると予測できるため、各学科のコア的な授業科目にあっては、合格率の状況や取り組み状況、学修態度などを注視する必要があると考えられる。

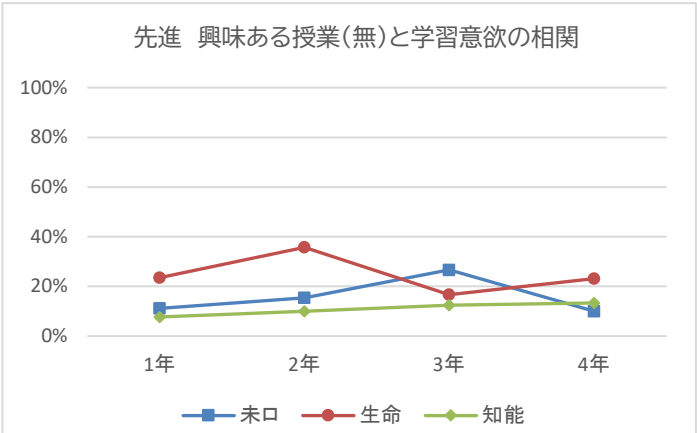












[グラフ&集計方法の解説]

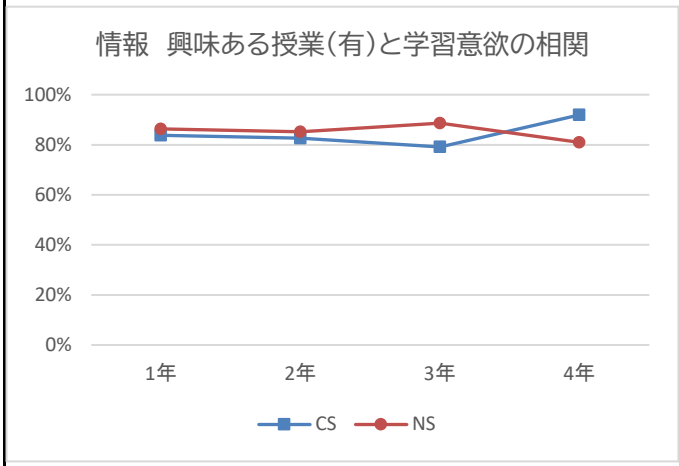
☆グラフ右:Q1の学科に満足している点「興味・関心のある授業や役立つ授業がある」の回答者を抽出し、Q8の授業に対する学習意欲がどの程度あるかを算出した。

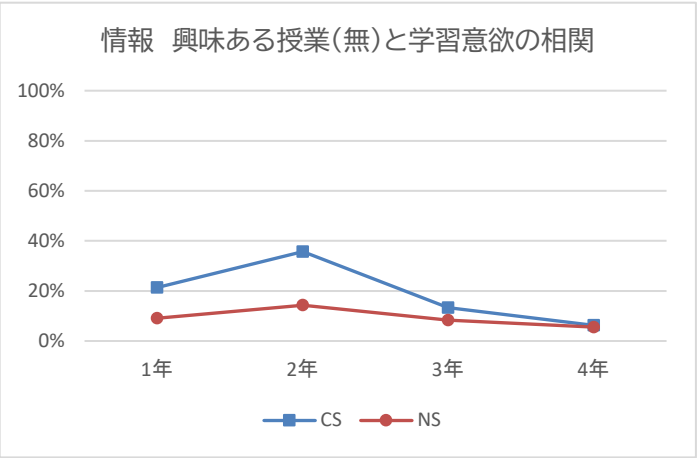
★グラフ左:Q2の学科に不満足な点「興味・関心のある授業や役立つ授業が少ない」の回答者を抽出し、Q8の授業に対する学習意欲がどの程度あるかを算出した。

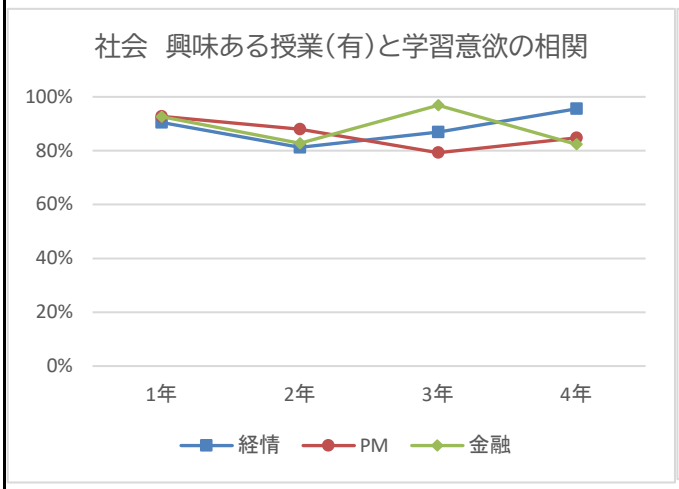
⇒学習意欲で0%となっている学科・学年は、「興味・関心のある授業や役立つ授業が少ない」と回答した学生の学習意欲が「0」である。

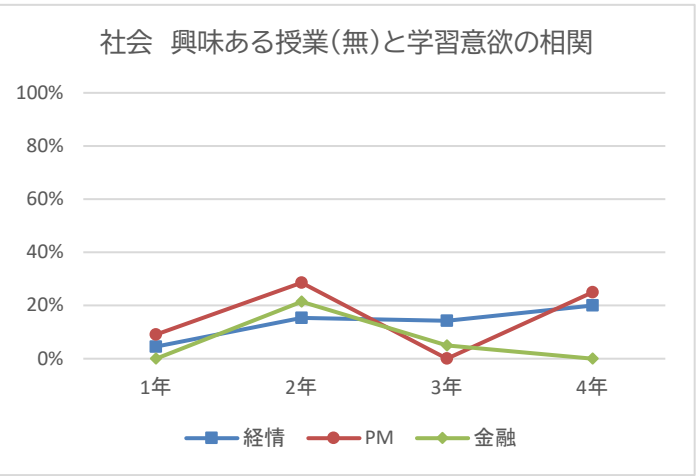
2. 授業内容と学生のモチベーション　2/2

課程満足度









[グラフ＆集計方法の解説]

3. 学科満足度と教員との関係性

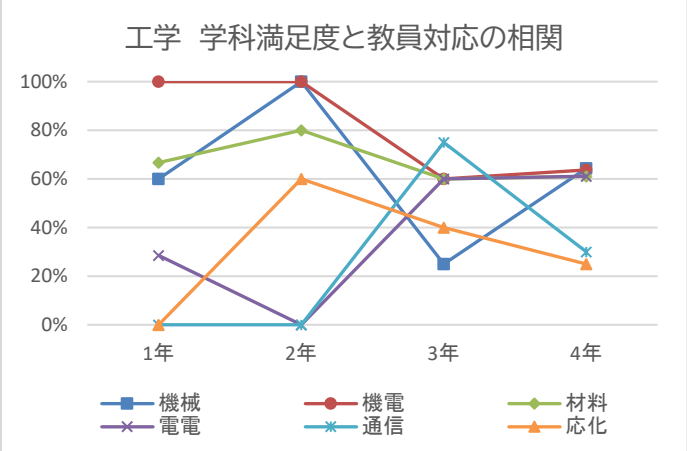
課程満足度

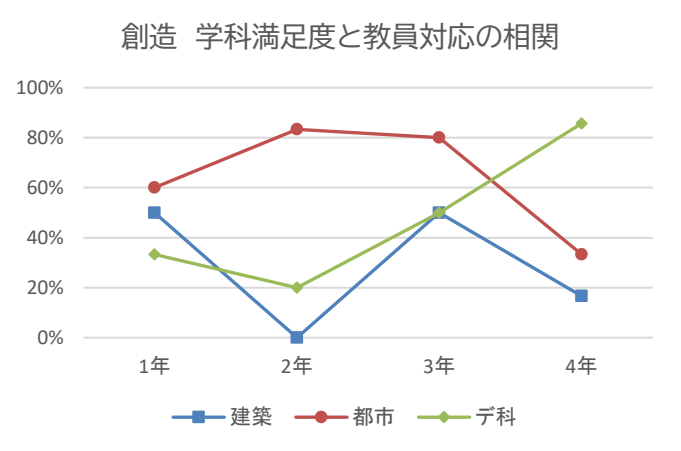
[所見]

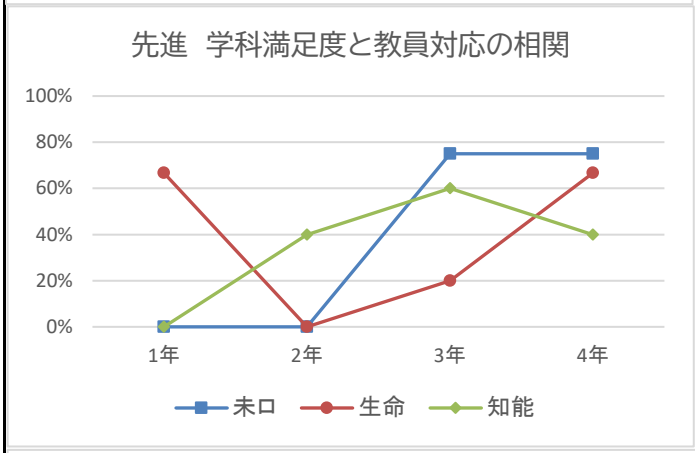
レポート2と関連して、ここでは、学科満足度と教員との関係性について検証を行った。学科に満足している項目で「教員とのコミュニケーションがとりやすい」と回答した学生に限定し、実際にどの程度の頻度で教員とコミュニケーションを取っているかをまとめている。

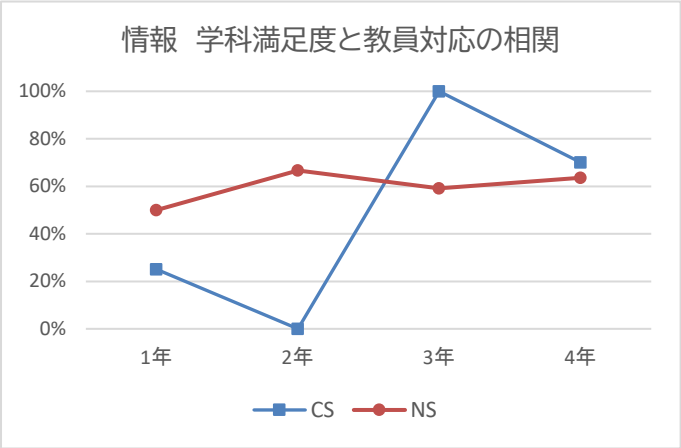
学部・学科によって傾向は一定ではないものの、概ね教員とのコミュニケーションの頻度は、3年次に上昇する傾向にある。やはり研究室の配属によって、指導教員との関係性が発生するため、コミュニケーションの頻度が高くなること及び就職活動によりクラス担任とのコミュニケーションも高くなっていると考えられ、良好な波形といえる。

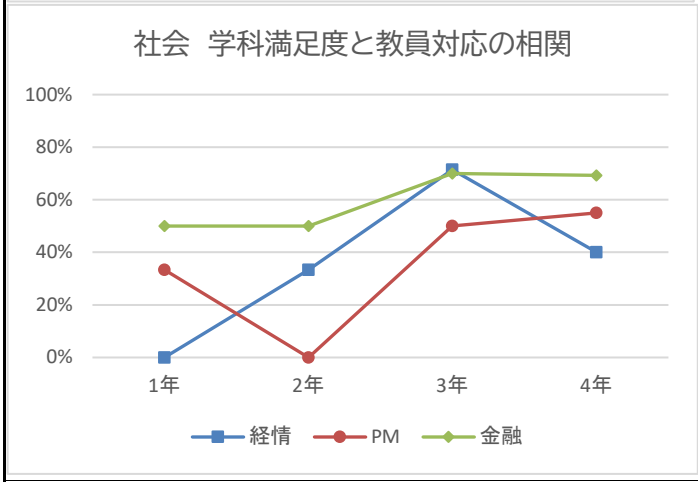
一方で、教員とのコミュニケーションがとりやすいと回答した学生であっても、低学年では実際のコミュニケーションの頻度が低い学部・学科もあるため、特に初年次段階での関係性構築が重要であると考えられる。











[グラフ＆集計方法の解説]

Q1で学科に満足している点として「教員とのコミュニケーションが取りやすい」と回答した学生を母数として、Q9の「授業や生活面で教員に相談したことがあるか」で教員と相談した回答状況の相関関係を算出している。

4. 学生のポリシー認識

ポリシーカードによるDP・CPの確認に関するデータ

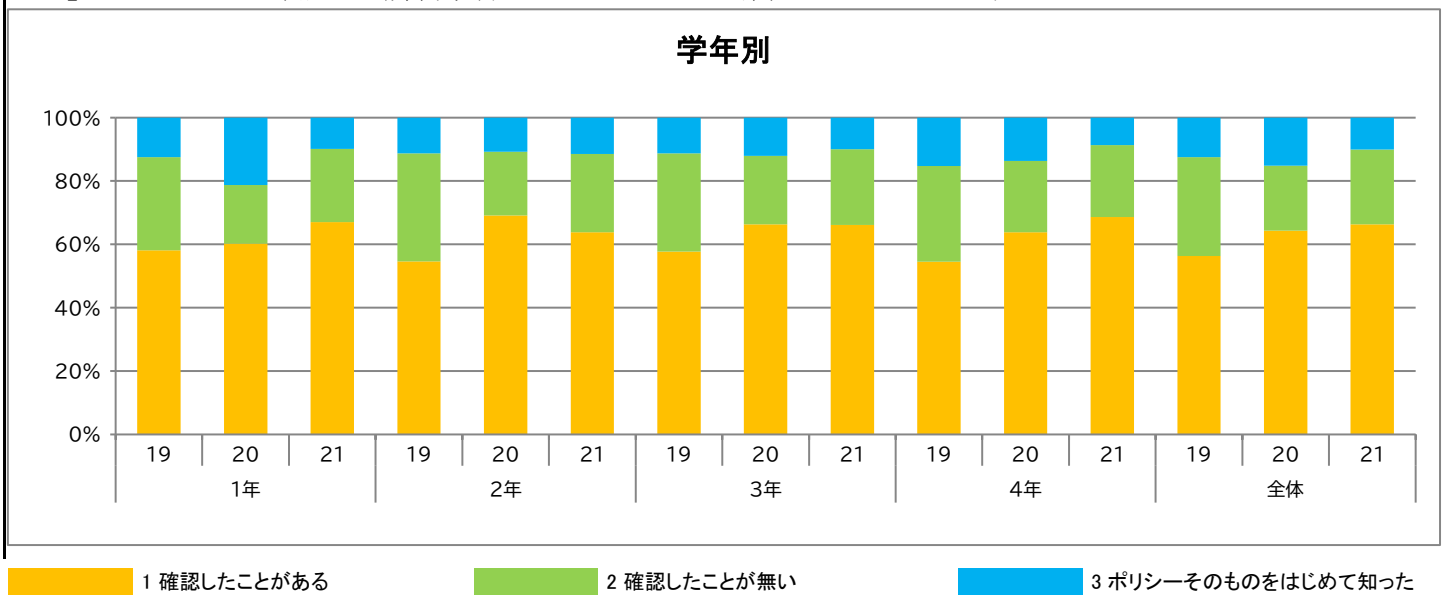
［所見］

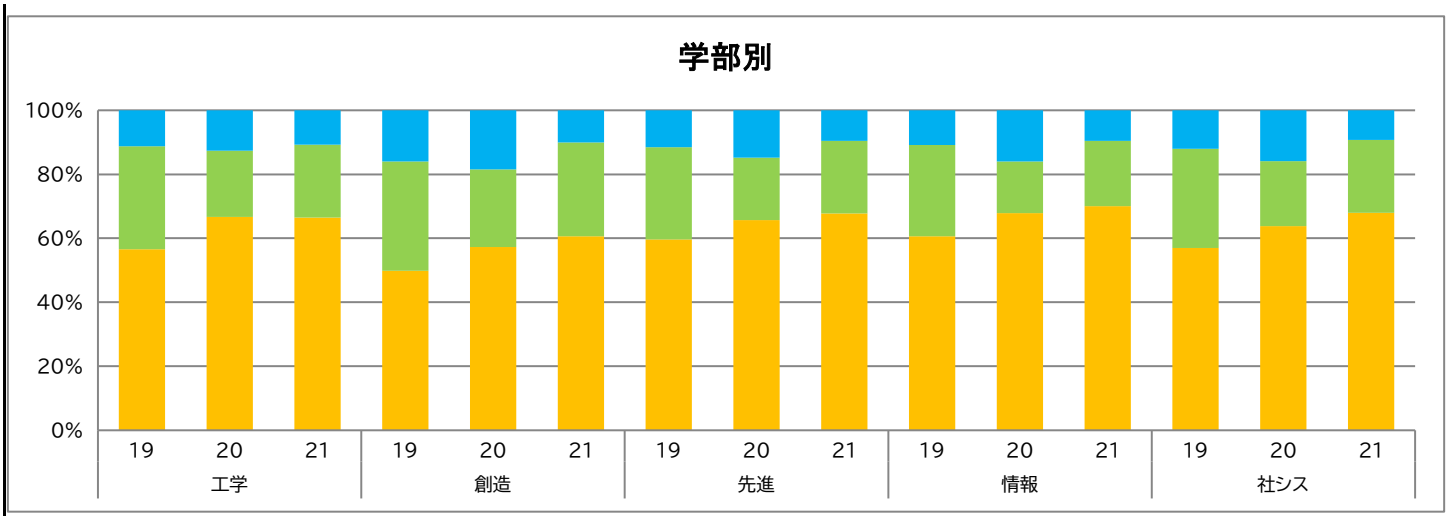
所属学科のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの理解度向上とポリシーを意識した学習の定着を図る観点から、全学生にポリシーカードを配付している。今回はこのポリシーカードの利用度と有効性について検証する。

全体的な傾向として年次進行につれてカードの利用機会や所属学科のポリシーの確認機会は増えている傾向にあり、一定程度の効果は認められる。ただし、最終学年でも確認度合は70%に満たない。各ポリシーの認識と意識付けは入学段階に定着させ、特にDPの達成度を意識した学修が重要となる。そのため、入学段階では十分な説明と共に、初年次教育での自己評価との関連性やCITポータルの学修度との関連性を理解させるよう一層の工夫が必要と考える。更にポリシーの達成度と関連した自己評価は、入学時と3年次に用意しているが、2年次に対しては特に成長度を振返る機会がないため、学期毎に学修度を確認させる仕組みが必要である。

学部別に見ると、創造工学部が他の学部に比べて確認した学生の割合が低いが、年度進行につれて僅かではあるが確認した学生は増加傾向にあり、60%を超えているので、上段に述べたポリシーの理解と意識づけに向けた工夫により向上を目指したい。

■07_ポリシーカードを利用して所属学科のポリシーについて確認したことがありますか





［グラフ＆集計方法の解説］

ポリシーの認識⇒Q7について、各回答の割合を学年別、学部別に、3年分のデータをグラフ化した。

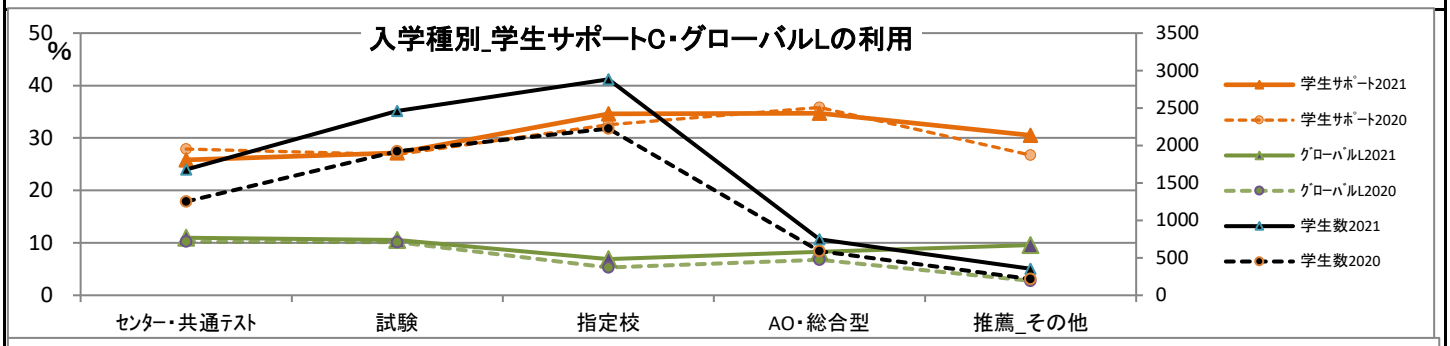
5. 学内施設利用の状況

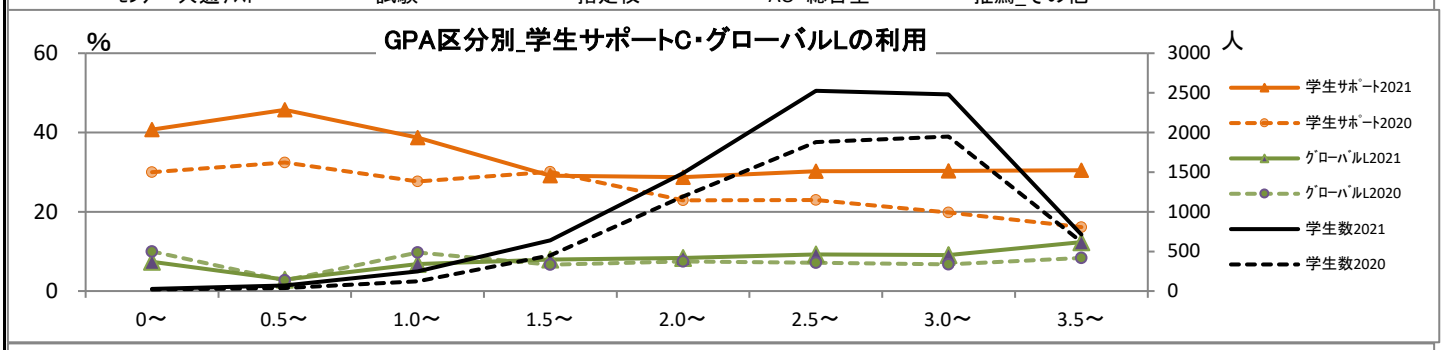
施設の利用状況データ及び入学試験種別・GPA区分別・学科別相関データ

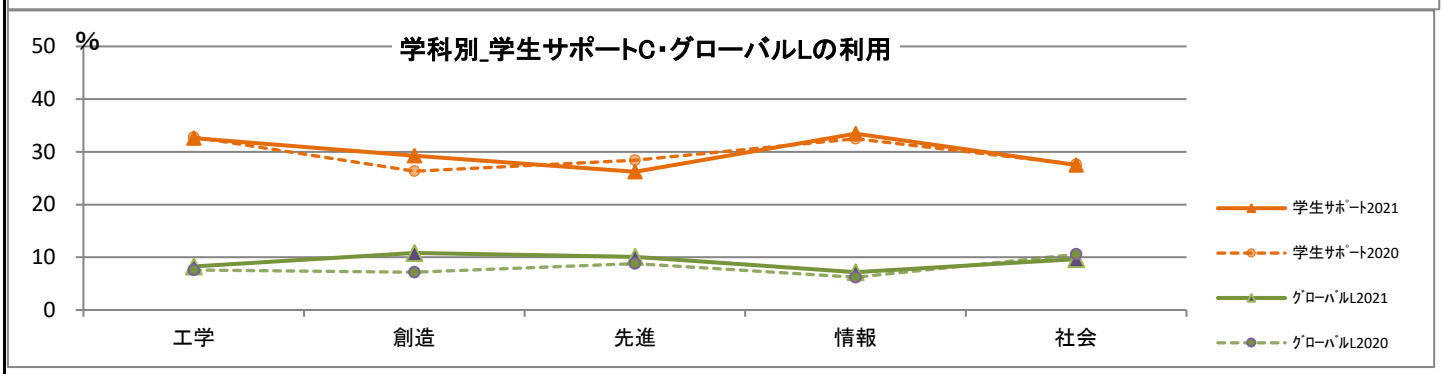
学生サポートセンターの利用層を調べてみると、入学試験種別では昨年と同様に指定校・AO等の推薦入試による入学者が、センター・一般入学者と比べると多く利用している。昨年度からmanabaを利用した解説動画の配信やオンラインでの個別指導を実施しているが、対面授業の開講割合の増加に比例して、オンラインの利用は一部に留まっている。但し、2年次では、昨年度の利用形態が支持されたのか他学年よりもオンラインでの利用率が高い。次にGPA区分で見ると、昨年度と同様に成績が下位の学生だけではなく、中上位の学生もある一定の割合で利用している。これは、学生サポートセンターが下位学生の補習だけではなく、中上位学生もわからないことの質問及び理解度の確認のために利用していると思われる。また、対面での利用が可能となったことに伴い、全体的に利用率は上昇傾向にある。

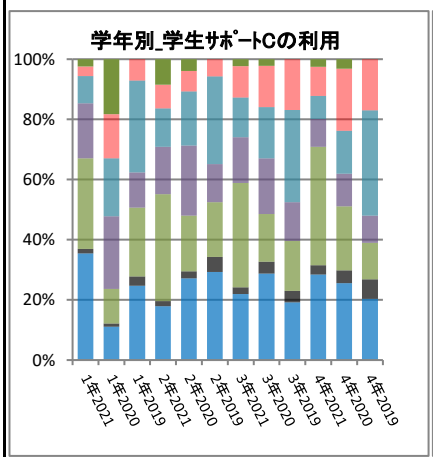
一方でグローバルラウンジについては、昨年度と同水準の利用率となった。対面での利用は可能となったが、未だコロナ禍による影響が長引き、海外語学研修プログラムや私的な短期留学が中止となっており、本来であれば利用が見込めるGPAの上位層の利用が減少したためと考えられる。今後は、英語による学会発表などの研究活動に対する需要に応えるため、津田沼校舎での定期的な開設も検討する。

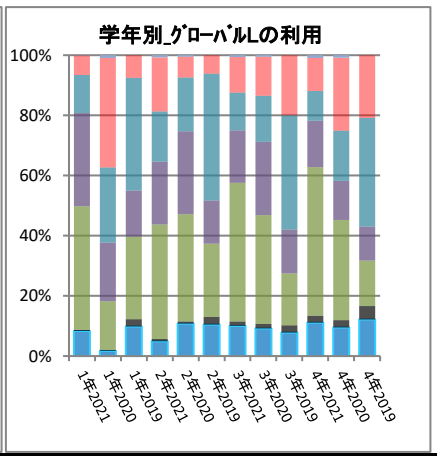
各施設とも、利用者増加のため、プロモーション活動じゃ継続した課題であり、教員からの推奨やCITポータル等を通じて学生への周知を図りたい。

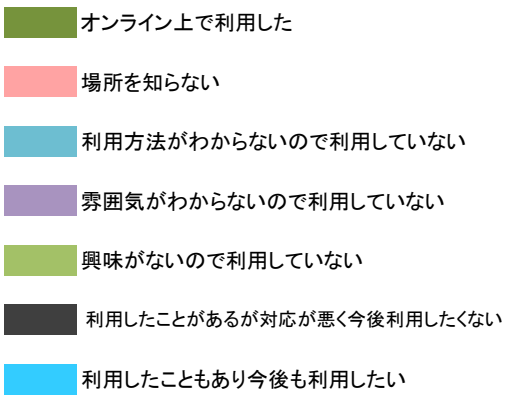












[グラフ＆集計方法の解説]
学生サポートセンター⇒Q10　およびグローバルラウンジ⇒Q11　の利用率は、1「利用したことがあり今後も利用したい」と7「オンライン上で利用した」を回答した割合(%)を主軸、入学種別、GPA別、学部別にグラフ化し、入学種別、GPA別については、学生数(ｱﾝｹｰﾄ回答数)を2軸とした。学年別については、各回答の割合(%)をグラフ化した。

6. 大学教育による各要素の成長実感と成績評価による学修度との関係性について

大学で身に付ける知識・能力に関するデータ

[所見]

ディプロマポリシー(以降:DP)に掲げる各要素について、大学教育を受け、現段階でどの程度達成実感があるかを自己評価形式で測定した数値である。今回は特に学部4年次段階での自己評価と学修ポートフォリオで行っている学修度の関係性について検証を行った。

全体的な傾向では、自己評価においては総じて「関係構築力」と「技術者倫理」の成長を実感する度合が高くなっているが、実際の成績評価から算出される学修度では、「倫理観」が最も低くなっている。確かに、倫理観と紐づけされる科目は各学部でも少ない科目数となっているので、一つの評価が学修度に及ぼす影響は大きくなっている。それでも、学生の感覚と成績では差異があるため、学修度設定でも再度検証が必要と考えられる。一方で「関係構築力」と「協働力」は自己評価も学修度も高い数値が出る傾向にあり、関係性は良好と言ってよい。

また、その他の観点でも自己評価の方が高くなる傾向はあるものの、自己評価の数値と学修度の達成度割合は概ね3点台後半と60%前半の関係性にあり、設定上では大きなズレは生じていないと考えられる。

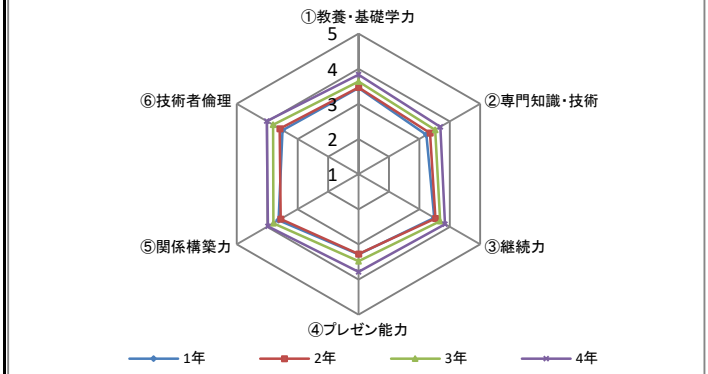
今後も学修度の設定状況は、学生の実際の成績などと検証を行いながら、精度を向上させる必要があると考える。

■大学教育を受けて以下の6つの要素がどの程度身に付いていると感じますか。

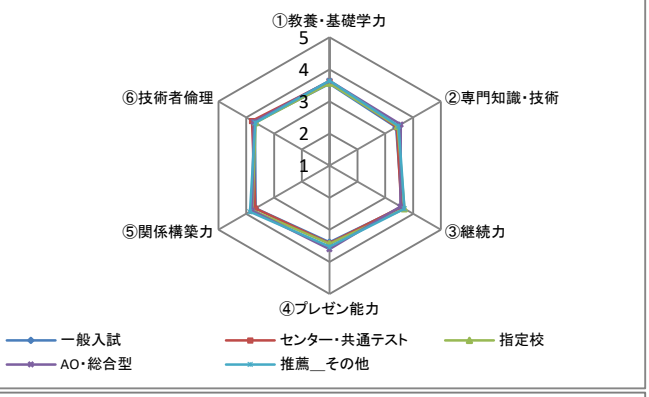
Q14_①社会に出て活躍する際に必要な教養や基礎学力
Q15_②専門分野における知識や技術
Q16_③自ら継続的に学ぶ能力
Q17_④自分の考えを伝えて相手の理解を得るプレゼンテーション能力
Q18_⑤共同作業を通して他者と協力関係を作り上げる能力
Q19_⑥技術者として持つべき倫理観

A1_身に付いている
A2_ある程度身に付いている
A3_どちらともいえない
A4_あまり身に付いていない
A5_身に付いていない

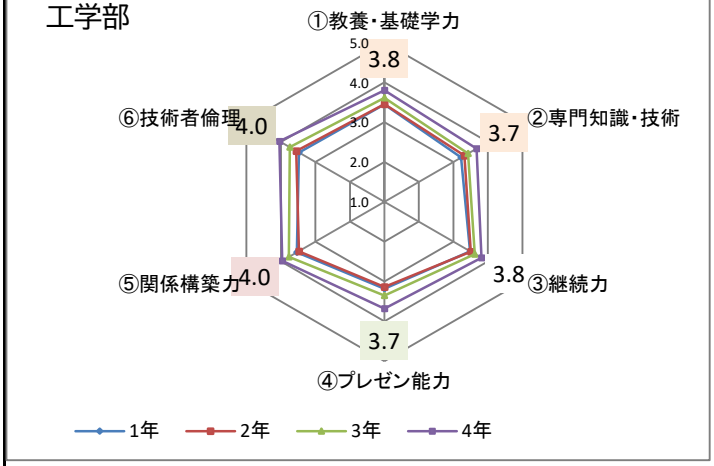
学年別



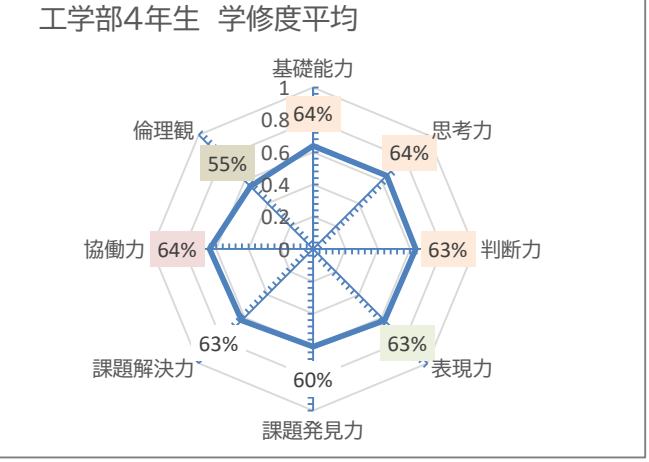
入学試験種別



工学部



工学部4年生 学修度平均



[グラフ&集計方法の解説]

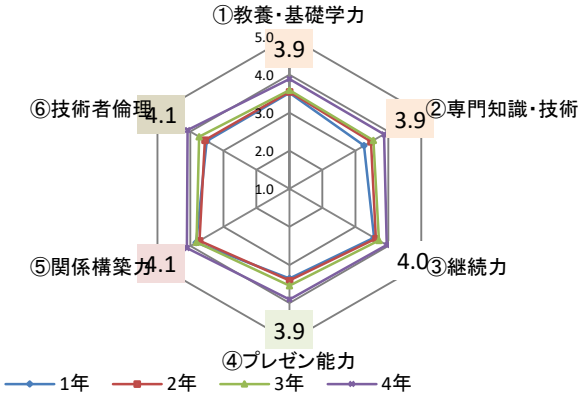
★Q14からQ19で得た回答を数値化したうえで, 学年別, 学部別, 入学試験種別にグラフ化した。
回答 1⇒5点 2⇒4点 3⇒3点 4⇒2点 5⇒1点に置き換えて集計

★学修度(学修ポートフォリオ)から4年次の数値を抽出したもの。各DP観点と紐づく科目の成績評価により加算される数値

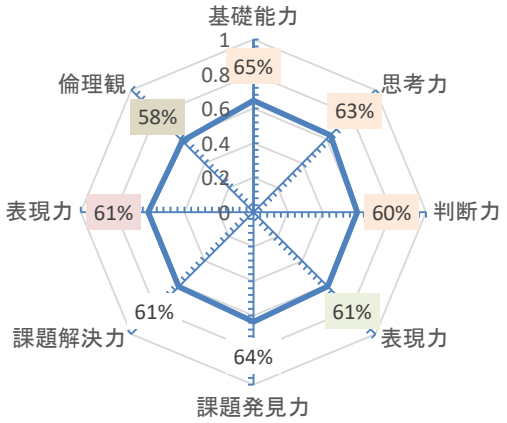
6. 大学教育による各要素の成長実感と成績評価による学修度との関係性について

大学で身に付ける知識・能力に関するデータ

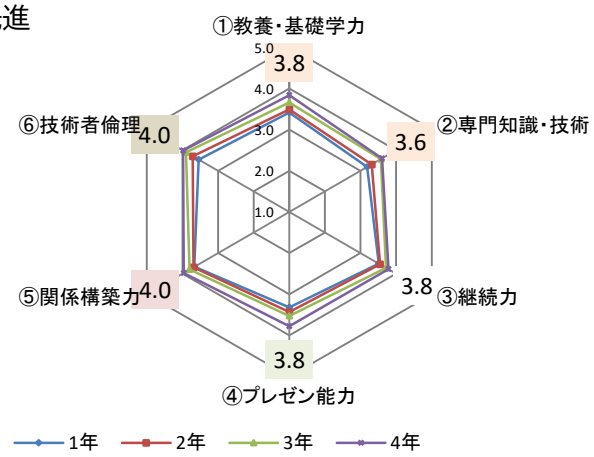
創造



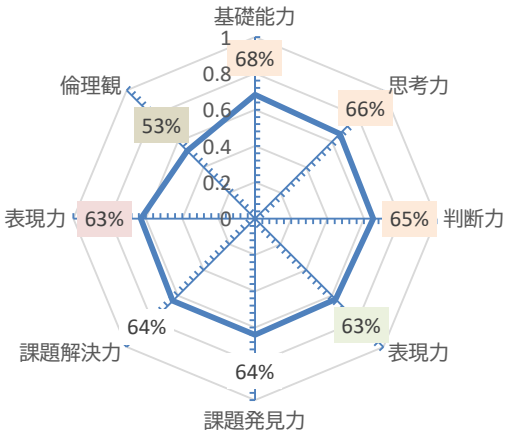
創造工学部4年生　学修度平均



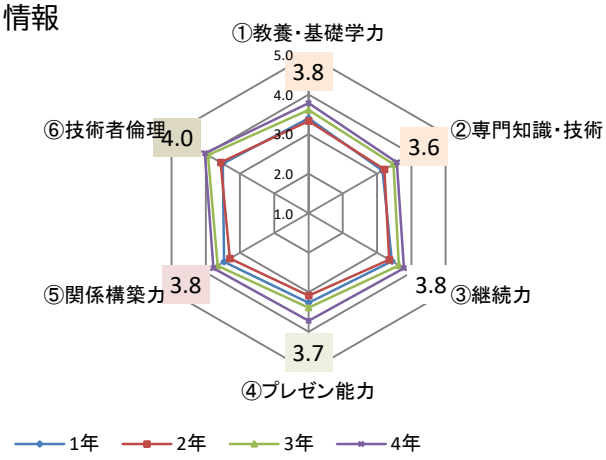
先進



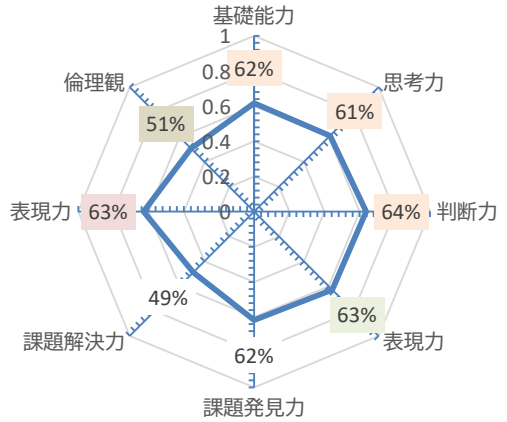
先進工学部4年生　学修度平均



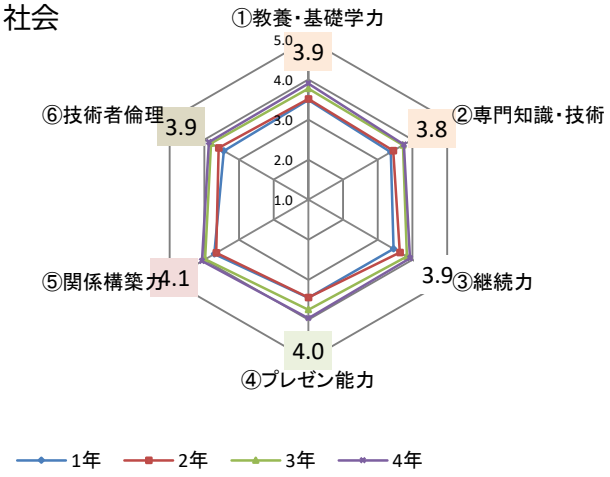
情報



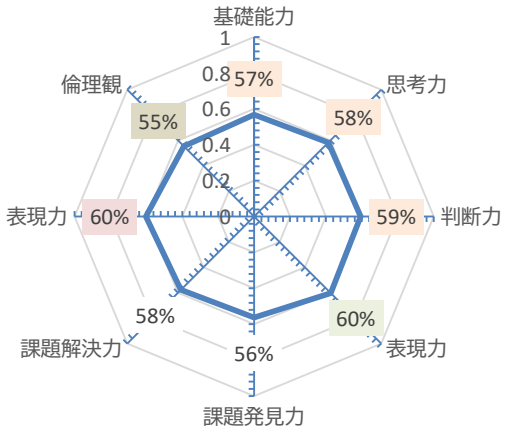
情報科学部4年生　学修度平均



社会



社会システム科学部4年生　学修度平均



[グラフ＆集計方法の解説]

7. 事前事後学習時間の状況　1/2

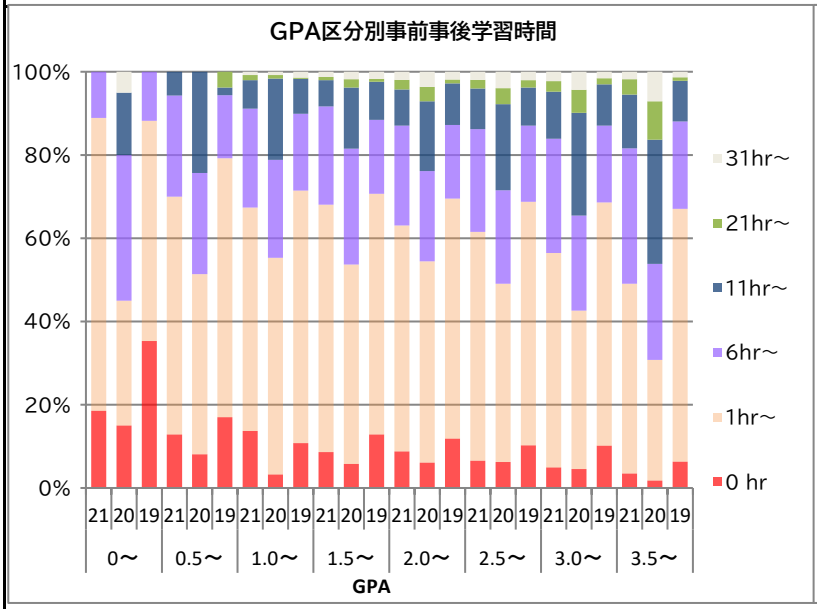
事前事後学習時間に関するデータ　1/2

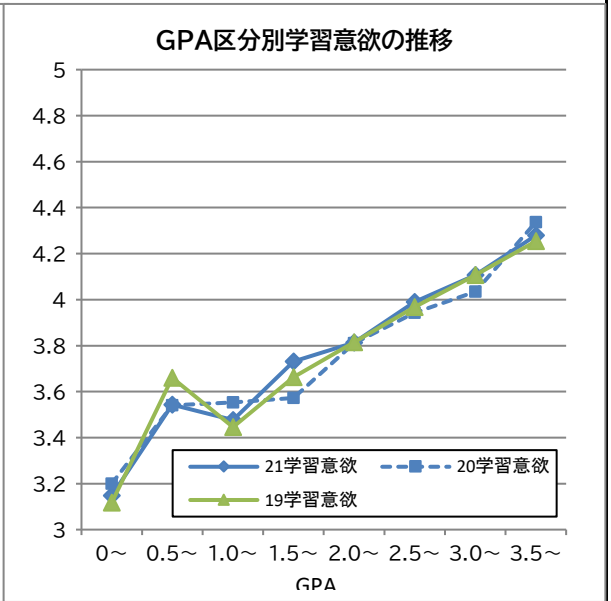
全体的に昨年度よりも事前事後の学習時間は短くなっている。昨年度前期はコロナ禍の影響でオンライン主体の授業形態だったために、出席確認代わりの課題やレポートに費やす時間が多かったためと推測される。但し、2019年度との比較では確実に「0時間」の割合が減少しているため事前事後学習にかける時間の定着も一定程度で伺えるものの、授業形態の変化による学習意欲の変化は見られなかった。

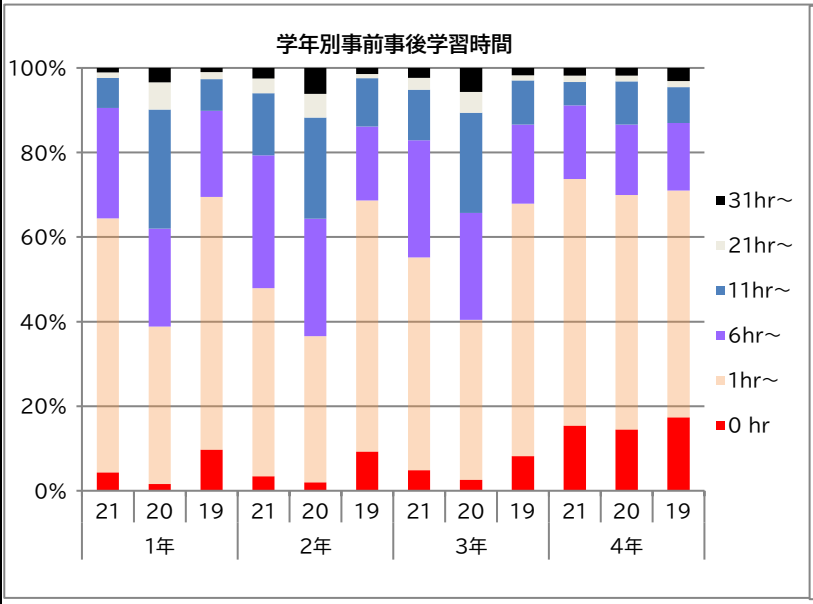
次にGPA区分別に見ると、GPA0.5から3.0までの区分では、学習時間に大きな差がないことが伺える。一方で値が3.5を超えると学習時間が長くなる傾向にあるため、成績優秀となる学習時間の境界は6時間以上の授業外学習時間にあると考えられる。次に学年別では、授業の多い1～3年生は学習時間が長く、特に2～3年次は専門科目が多く配当されていることから4割以上の学生が6時間以上事前事後の学習を行っている。4年生になると授業がほとんどなく研究室での活動が主体となる学生が多いため，事前事後学習時間が他の学年に比べて短くなっているが、卒業研究などの活動時間が正しく反映されているのかは、今後、学生への認識と設問の工夫が必要であると考えられる。

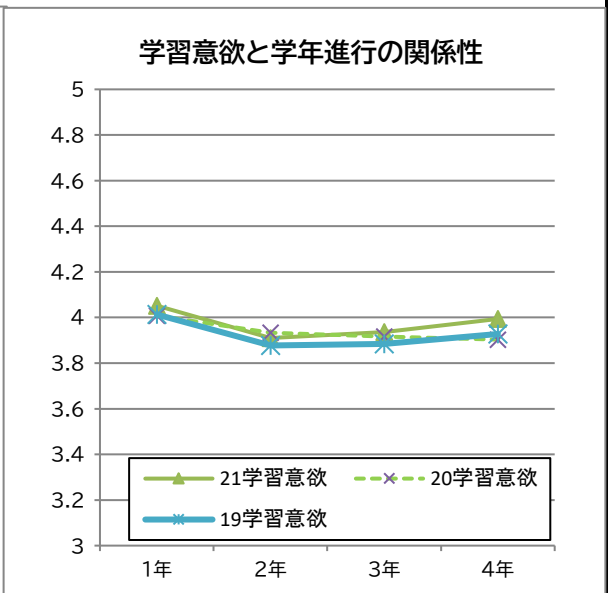
入学試験種別では大きな差異は見られないため、各試験種においても一定数で予習・復習は定着していると言える。

以上のことから、今後は事前・事後学習の一層の定着に向けて、ICTの利活用推進と共に、授業でやるべき内容と授業外でやるべき内容の整理を明確していく必要があると考えられる。







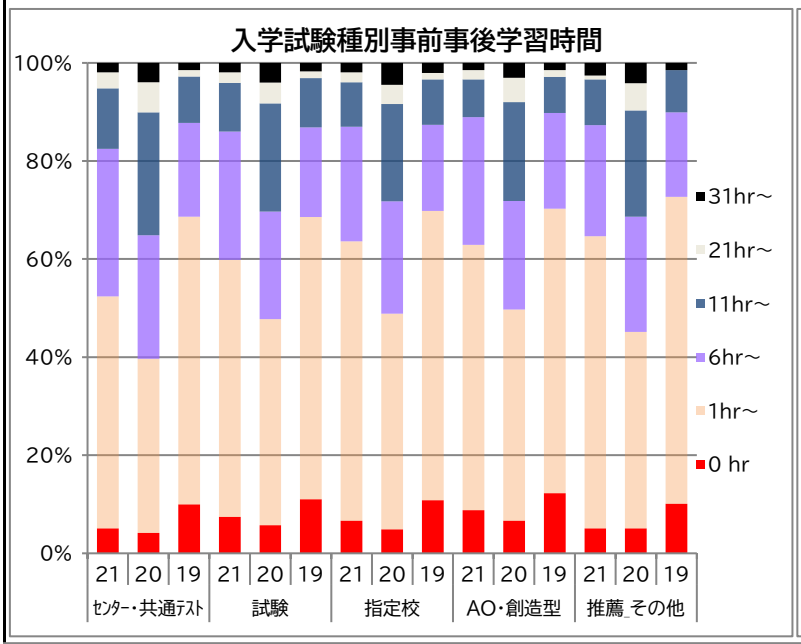


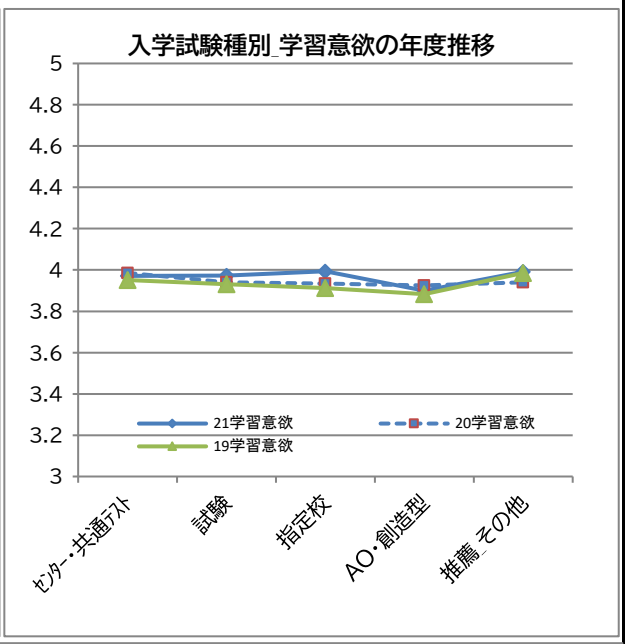
[グラフ＆集計方法の解説]

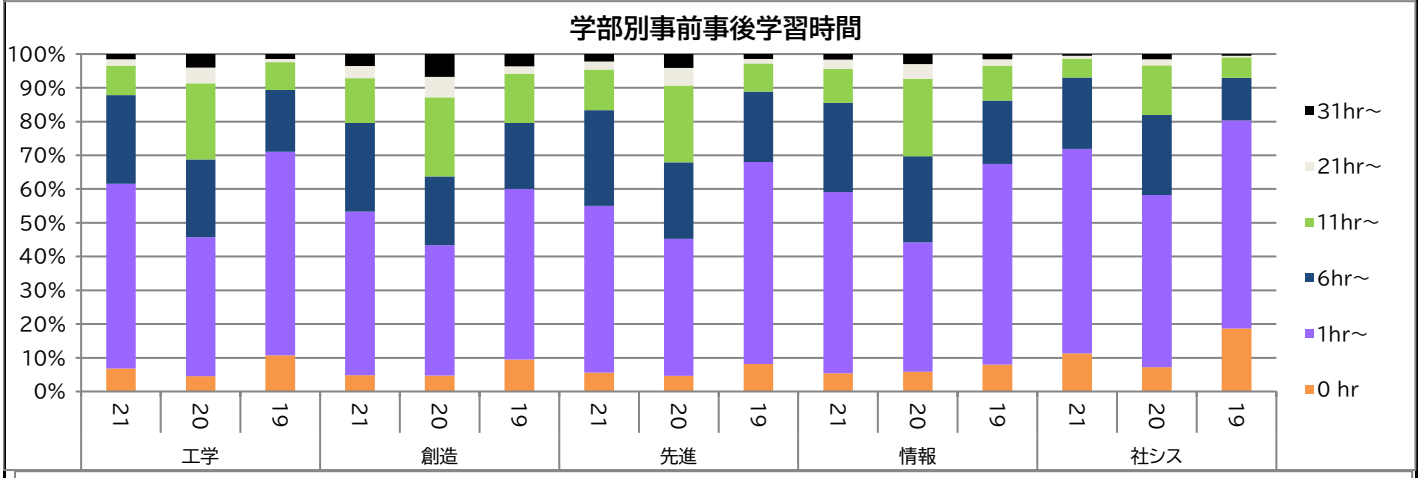
授業期間中の平均的な1週間の生活時間のうちQ21「予習・復習・課題など授業に関する学習」の回答について、GPA及び学年別に集計し、昨年度と比較した。

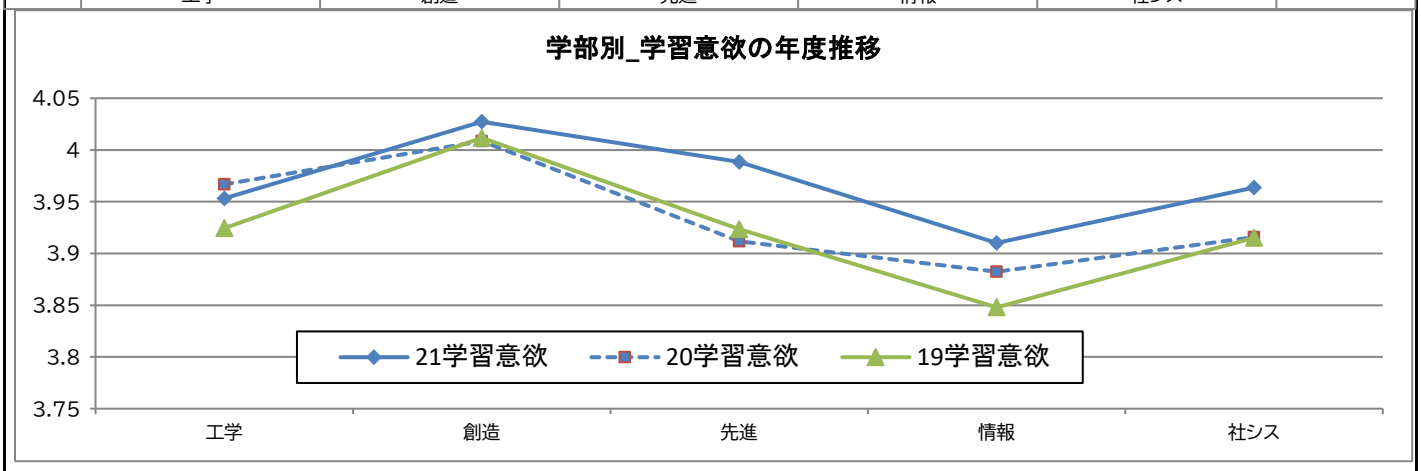
GPAについては，累積GPAを用い，学部生全員をGPAの区分（値幅0.5）で事前事後学習時間を回答毎で集計した。

7. 事前事後学習時間の状況　2/2









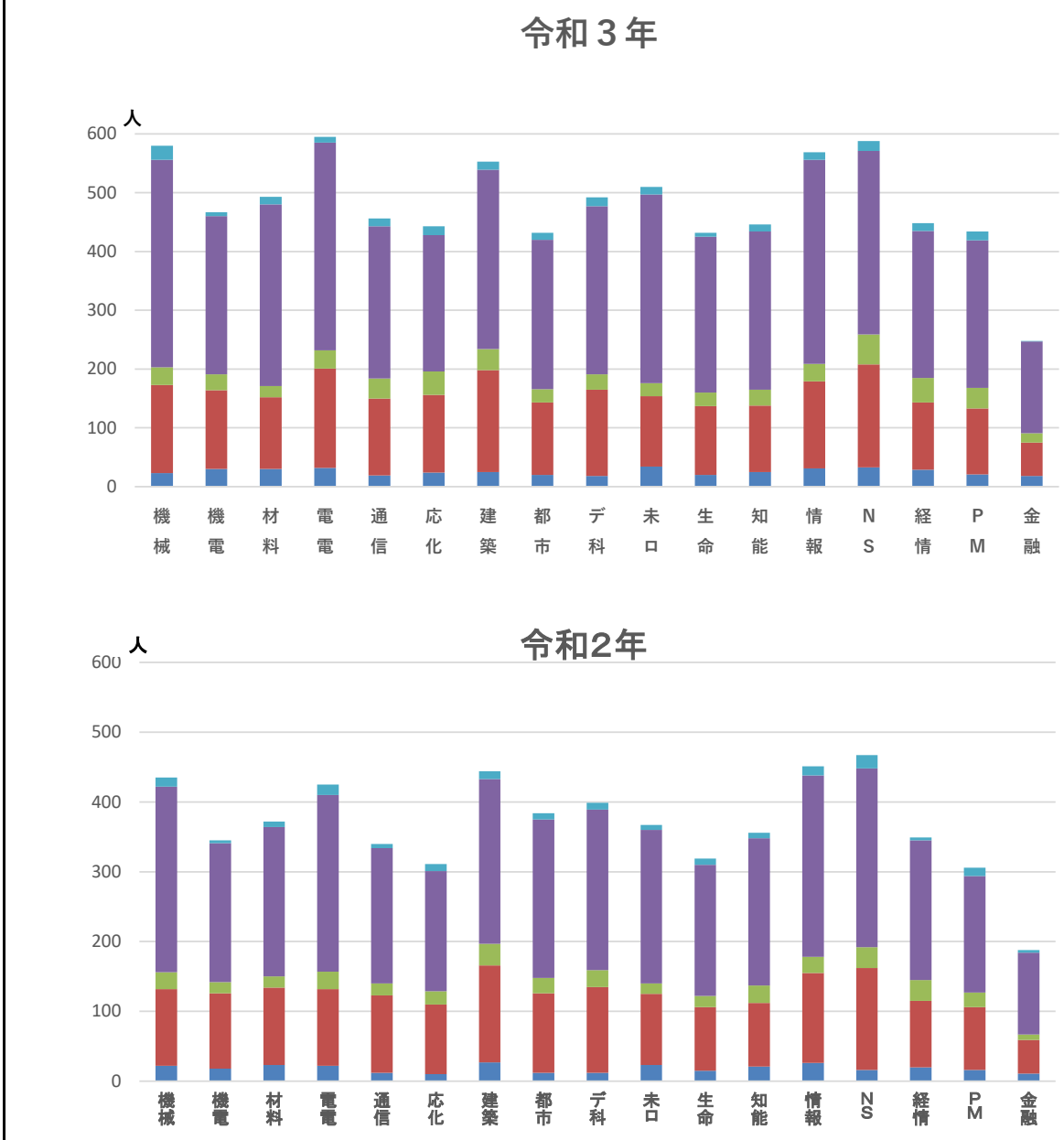
[グラフ＆集計方法の解説]
　入学種別及び学科毎の授業期間中の平均的な1週間の生活時間のうちQ21「予習・復習・課題など授業に関する学習」についての回答について集計し、昨年度と比較した。

8.奨学金の利用状況

令和3年度及び令和2年度奨学金利用者数に関するデータ

［所見］
　昨年度より今年度の利用者数が全体で約3.4%増加した。内訳としては、給付1%、貸与0.6%、併用1.8%増加の傾向がみられる。
　この原因として、コロナ禍による生計維持者の失職や収入の大幅な減少、学生のアルバイト日数の減少又はアルバイト先の破綻等により、収入がなくなり、経済的に困窮した学生が増加したことが考えられる。
　今後、新型コロナウイルスが収束しない場合、経済的に困窮する学生の増加が想定されるため、給付型奨学金制度の周知強化が必要だと考えられる。

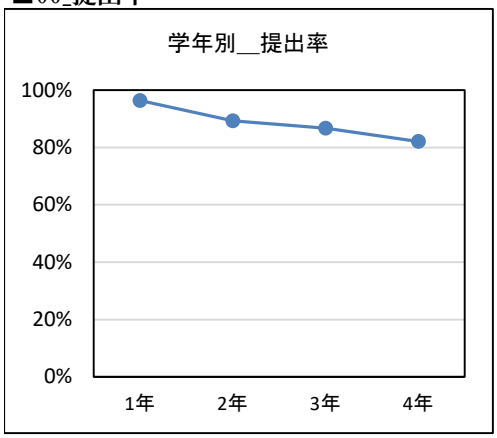
■Q30奨学金を利用していますか

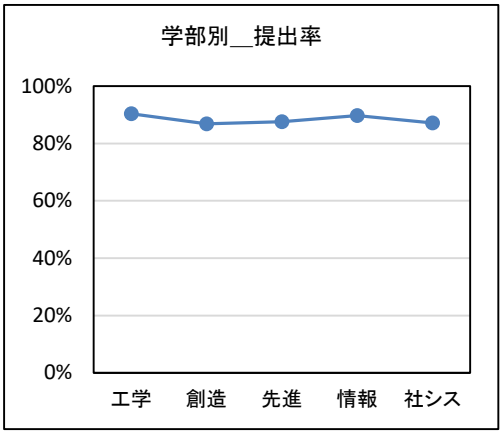


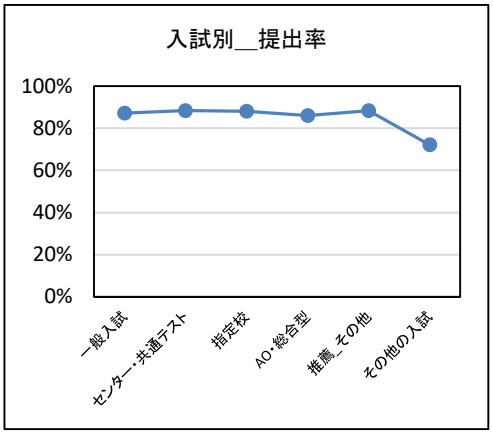
［グラフ＆集計方法の解説］
特になし

2021年度　学生生活アンケート集計結果

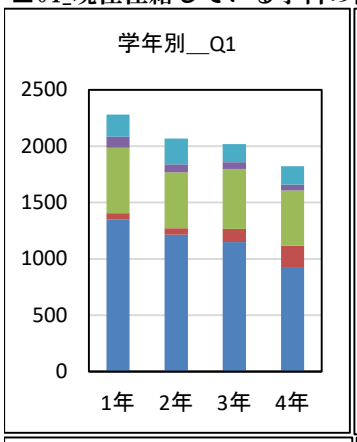
■00_提出率

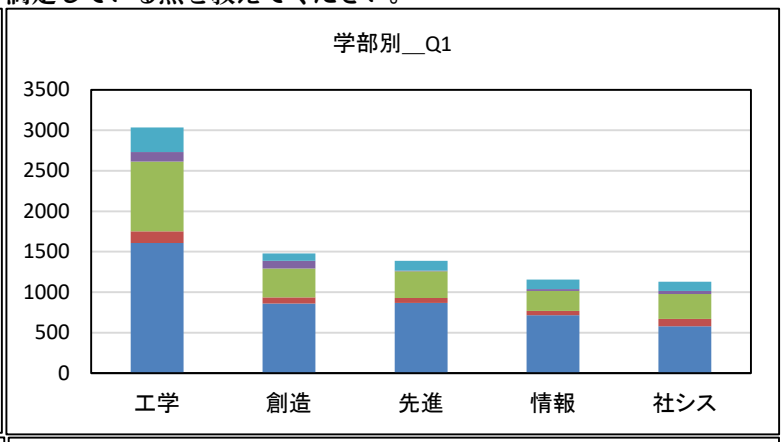


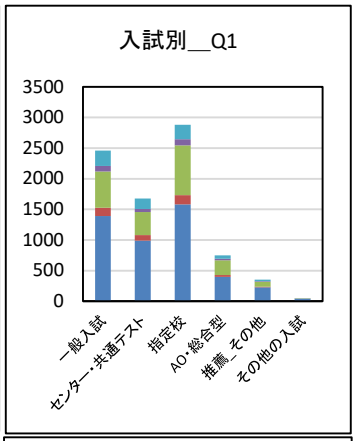


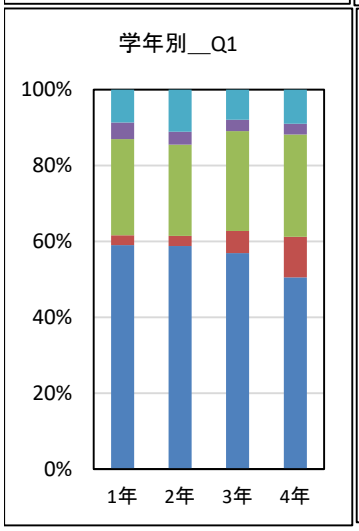


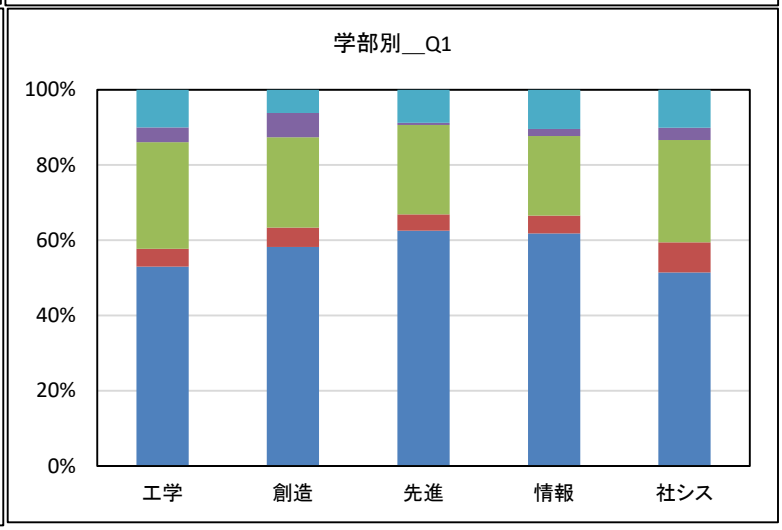
■01_現在在籍している学科の満足している点を教えてください。

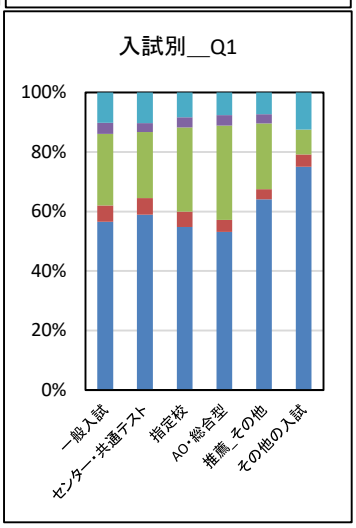








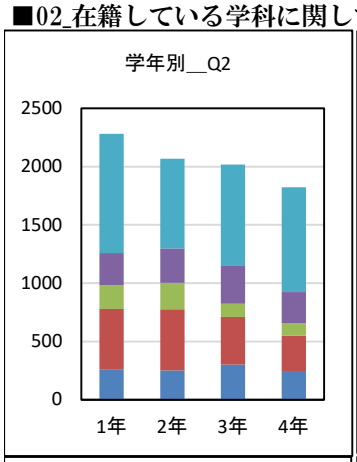


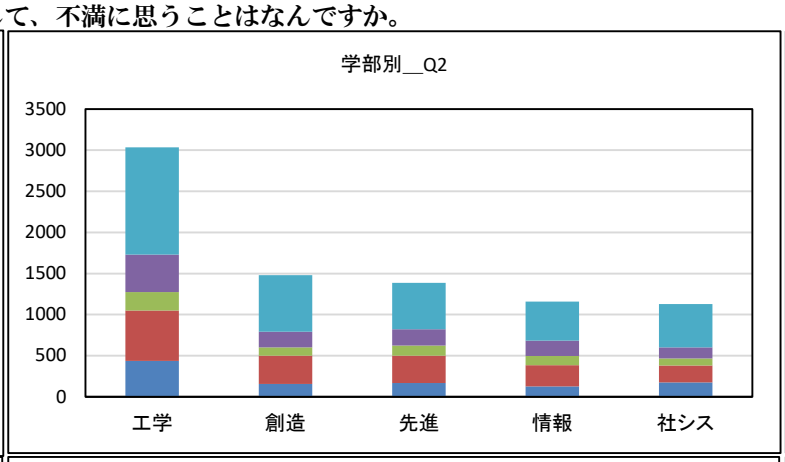


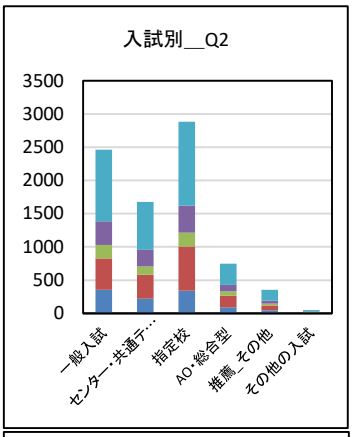
1 興味関心のある授業や役立つ授業がある　2 教員とのコミュニケーションがとりやすい　3 学科内での友人関係

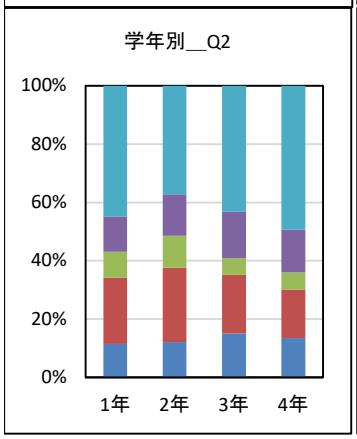
4 有益な資格（受験資格含む）が取得可能　5 満足していることはない

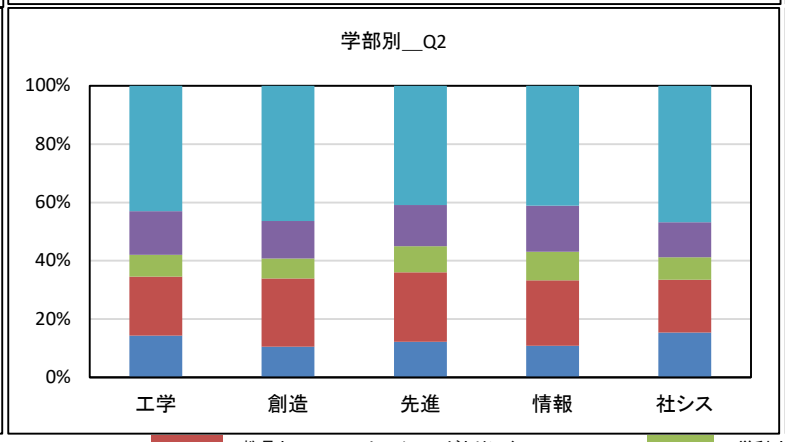
■02_在籍している学科に関して、不満に思うことはなんですか。

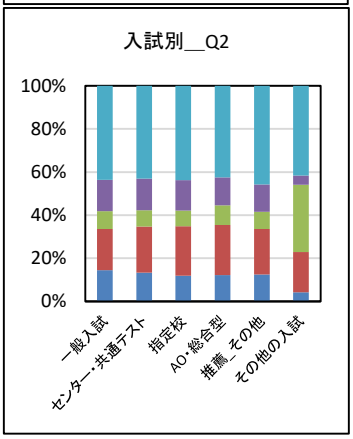






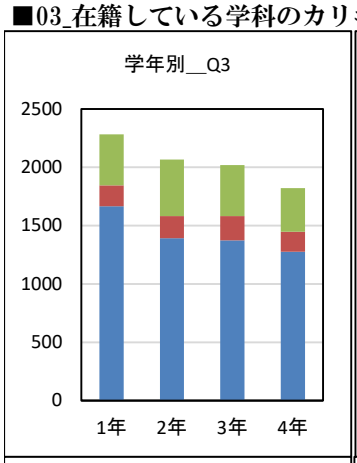


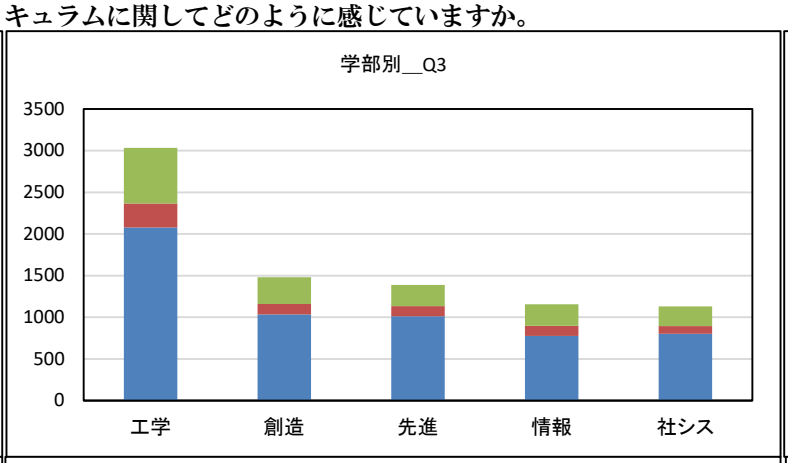


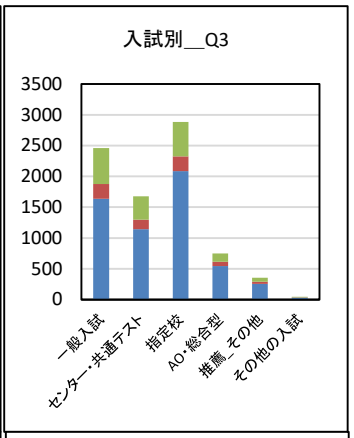


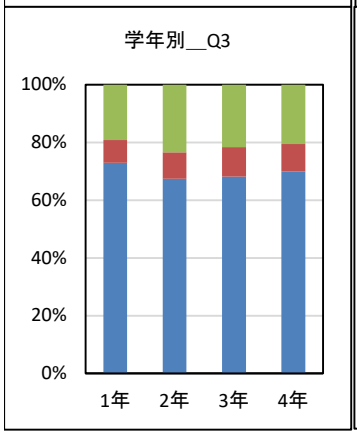
1 興味・関心のある授業や役立つ授業が少ない　2 教員とのコミュニケーションがとりにくい　3 学科内での友人関係
4 その他　5 大きな不満はない

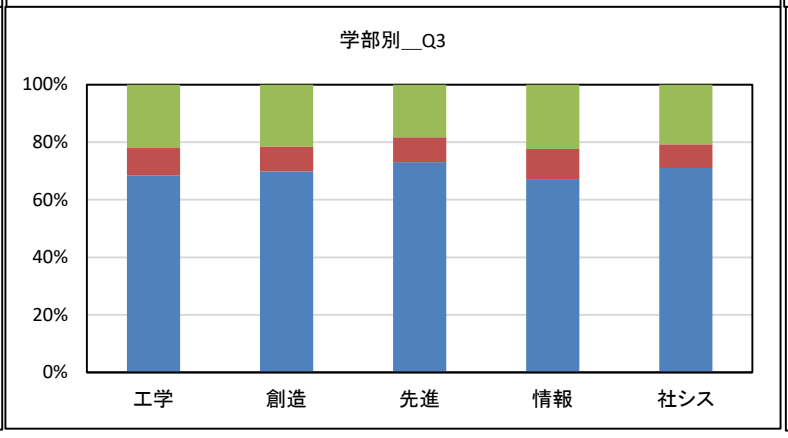
■03_在籍している学科のカリキュラムに関してどのように感じていますか。

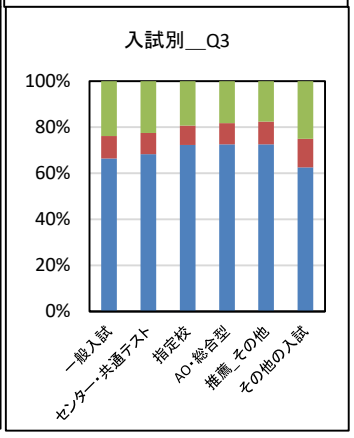






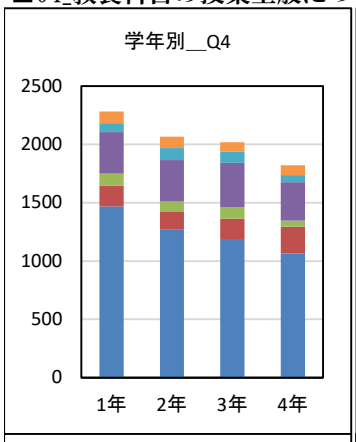


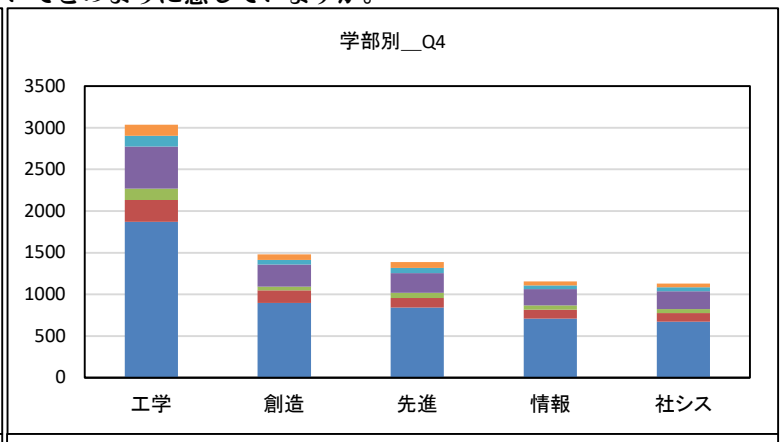


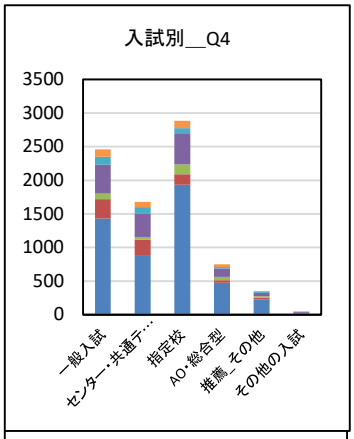


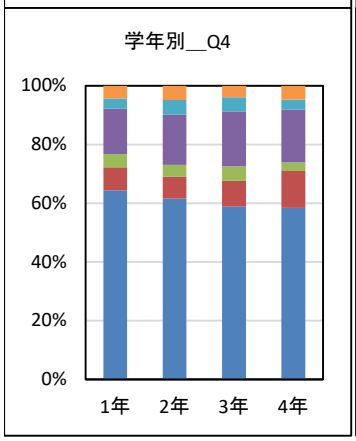
1 CP（ｶﾘｷｭﾗﾑﾎﾟﾘｼｰ）に沿ったカリキュラムになっている　2 CPと実際のカリキュラムに違いがある　3 CPや科目体系をきちんと把握していない

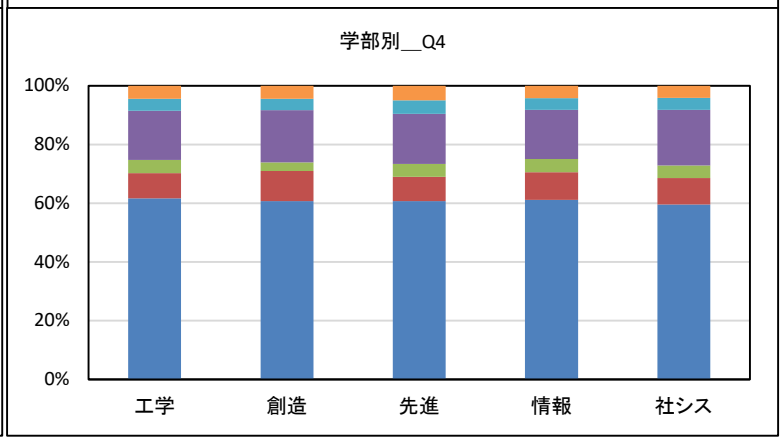
■04_教養科目の授業全般についてどのように感じていますか。

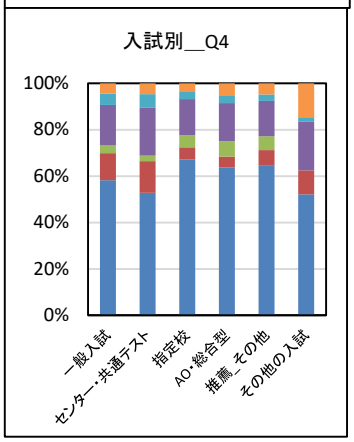






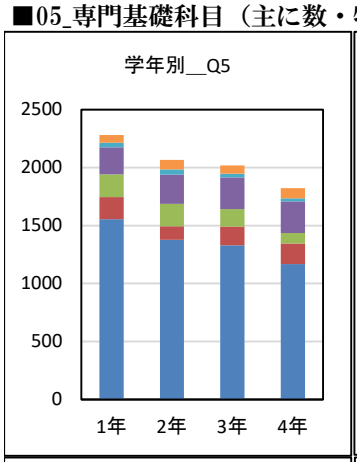


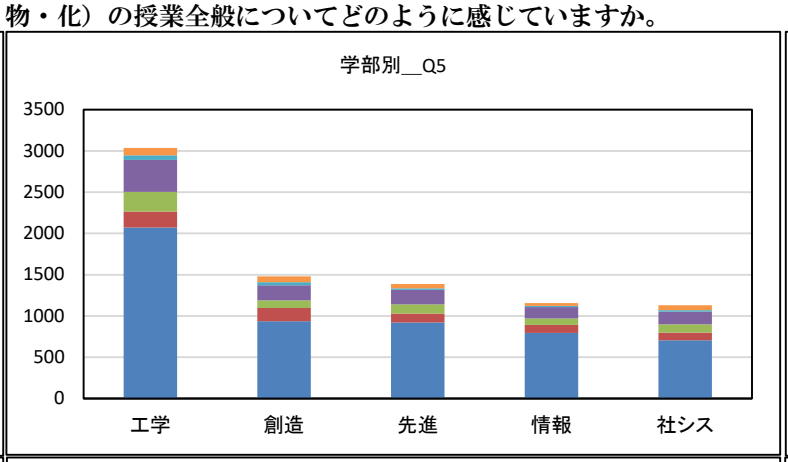


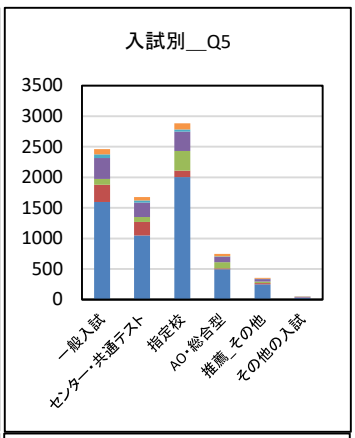


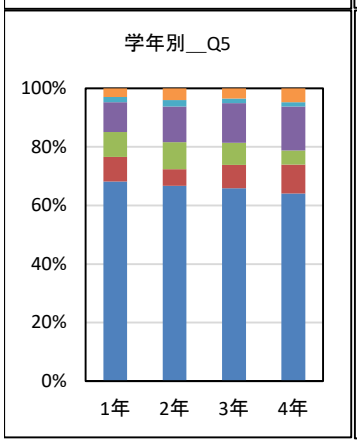
1 努力すれば理解できる
2 努力しなくても理解できる
3 努力しても難しすぎて理解できない
4 有益な内容が学べる
5 内容が期待と違う
6 特に該当するものはない

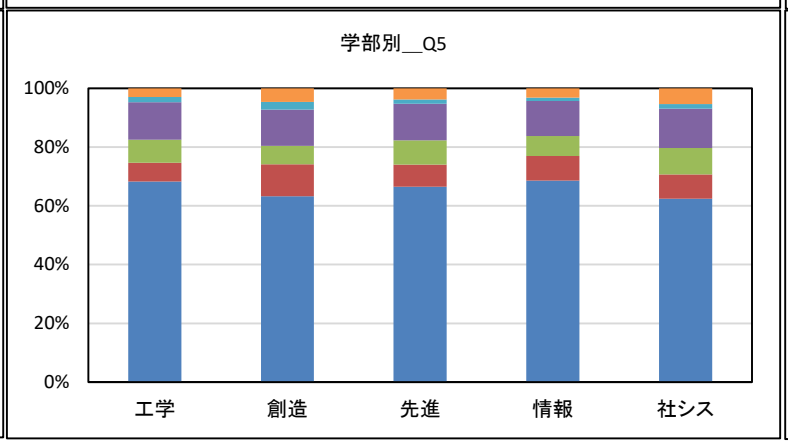
■05_専門基礎科目（主に数・物・化）の授業全般についてどのように感じていますか。

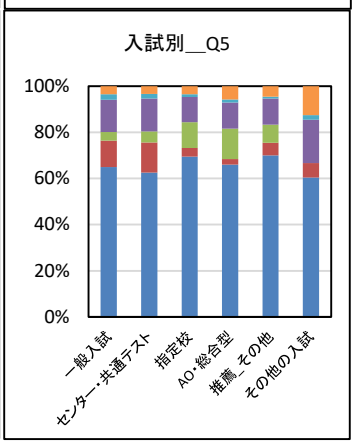






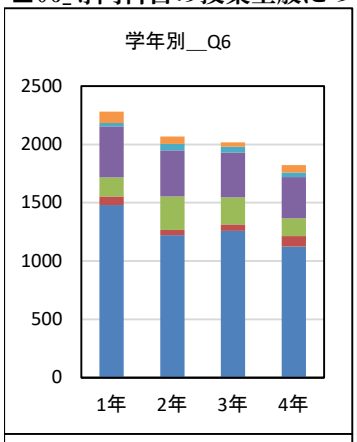


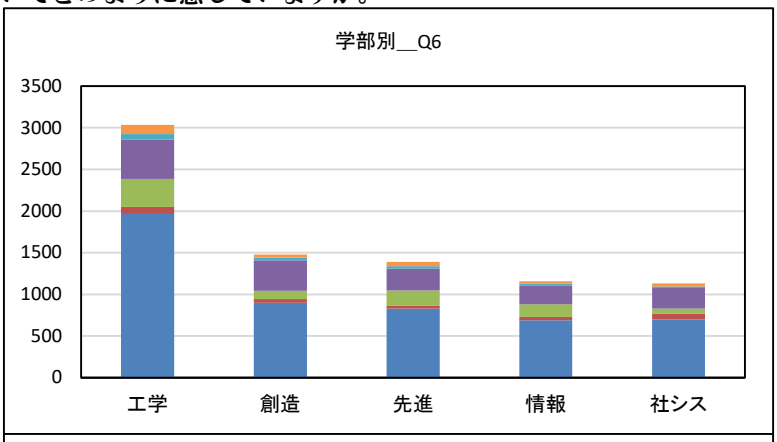


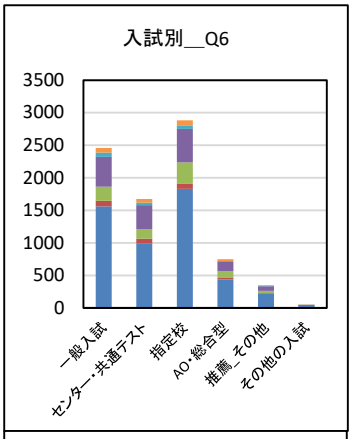


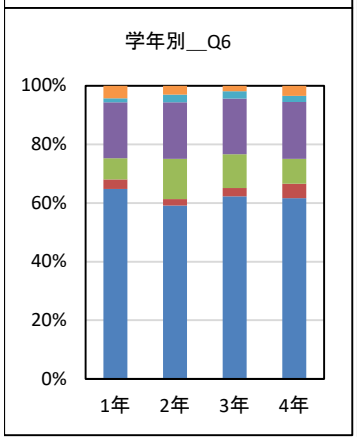
1 努力すれば理解できる
2 努力しなくても理解できる
3 努力しても難しすぎて理解できない
4 有益な内容が学べる
5 内容が期待と違う
6 特に該当するものはない

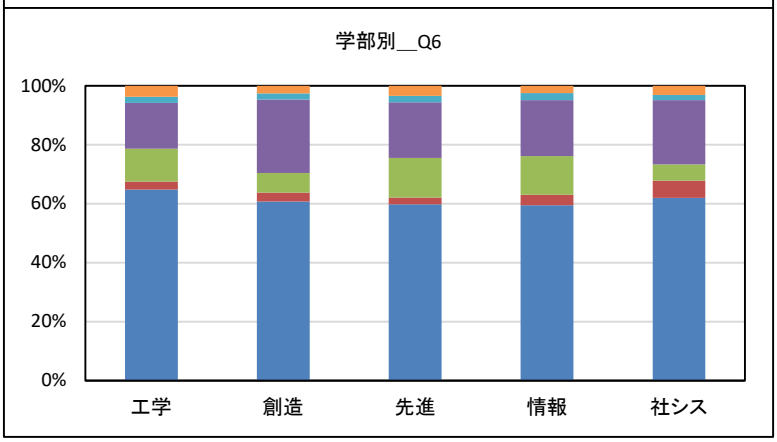
■06_専門科目の授業全般についてどのように感じていますか。

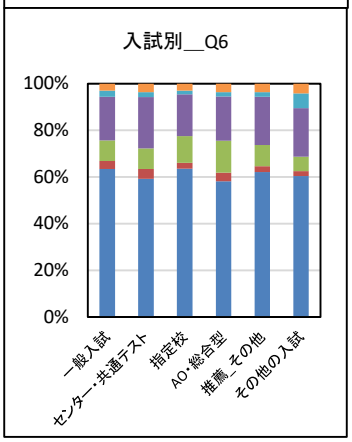






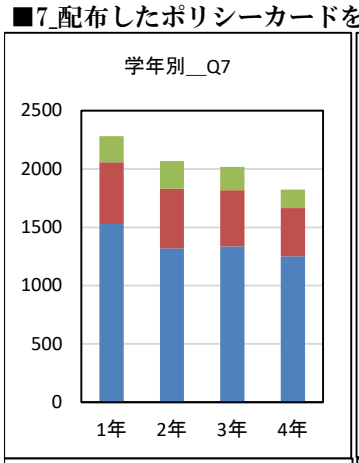


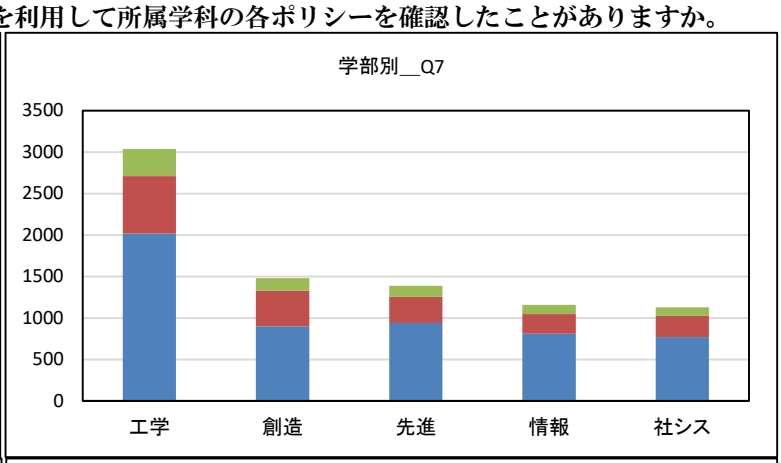


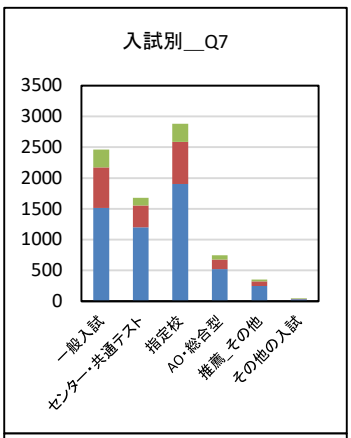


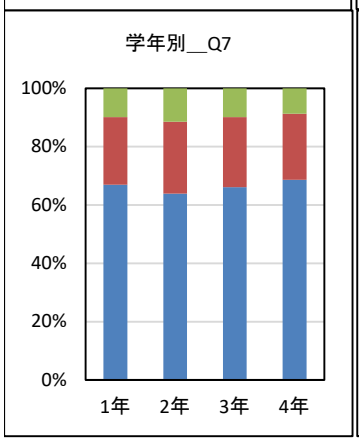
1 努力すれば理解できる
2 努力しなくても理解できる
3 努力しても難しすぎて理解できない
4 有益な内容が学べる
5 内容が期待と違う
6 特に該当するものはない

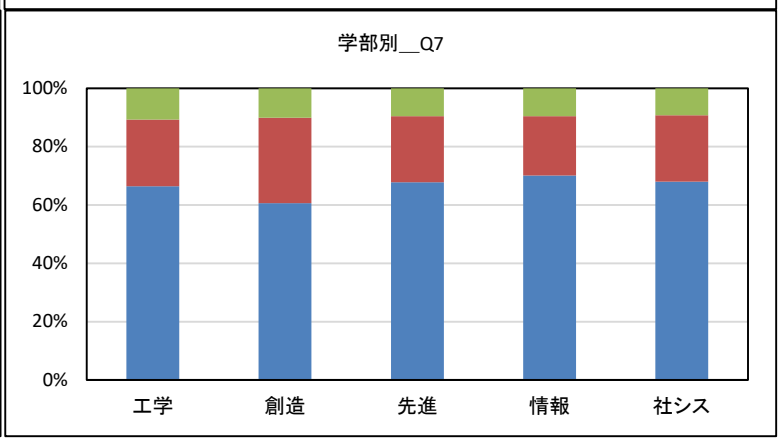
■7_配布したポリシーカードを利用して所属学科の各ポリシーを確認したことがありますか。

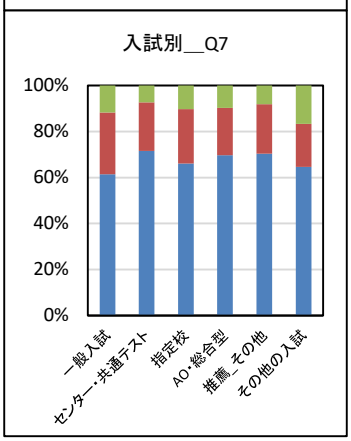






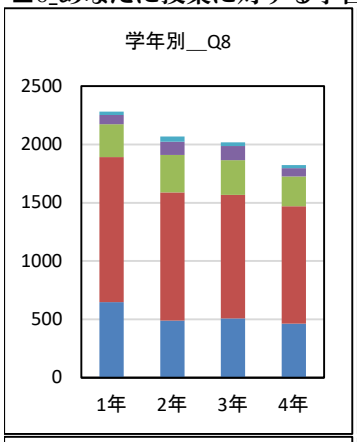


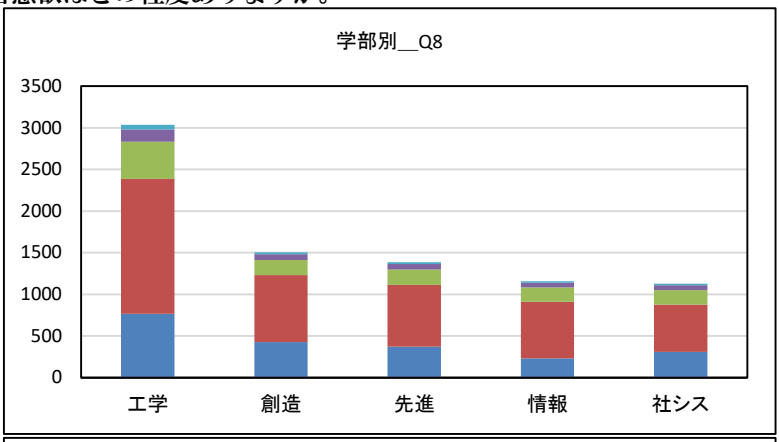


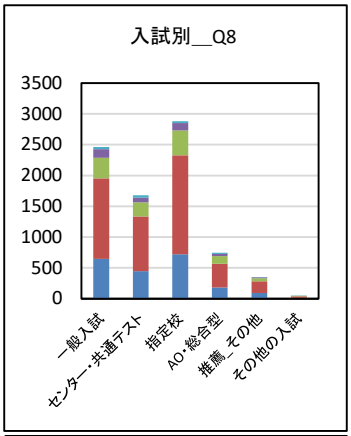


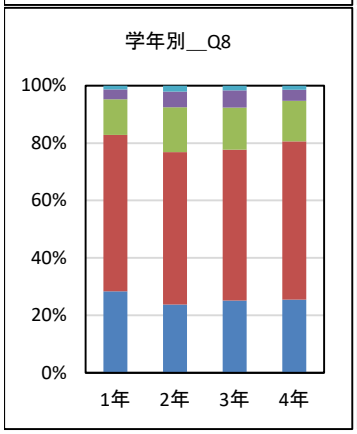
1 確認したことがある
2 確認したことがない
3 ポリシーカードについて今初めて知った

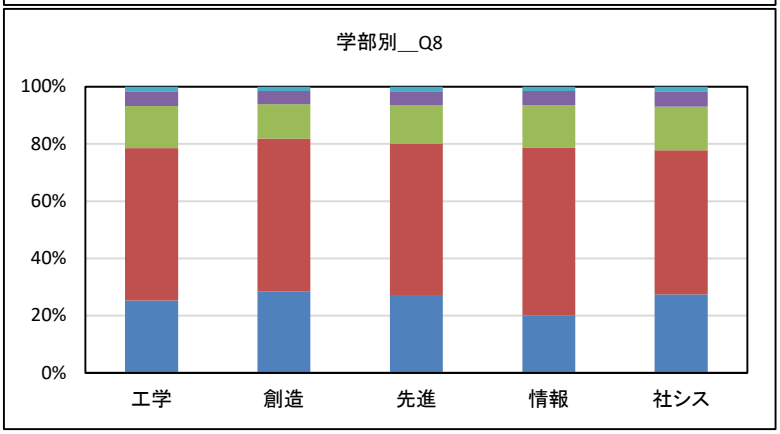
■8_あなたに授業に対する学習意欲はどの程度ありますか。

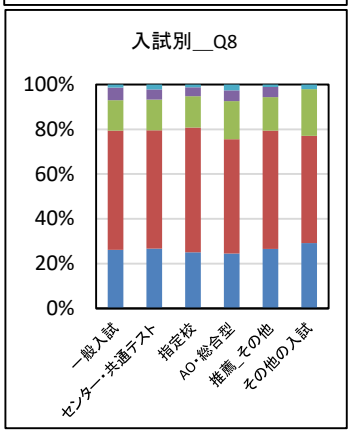






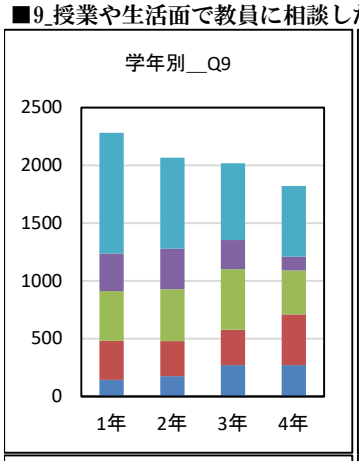


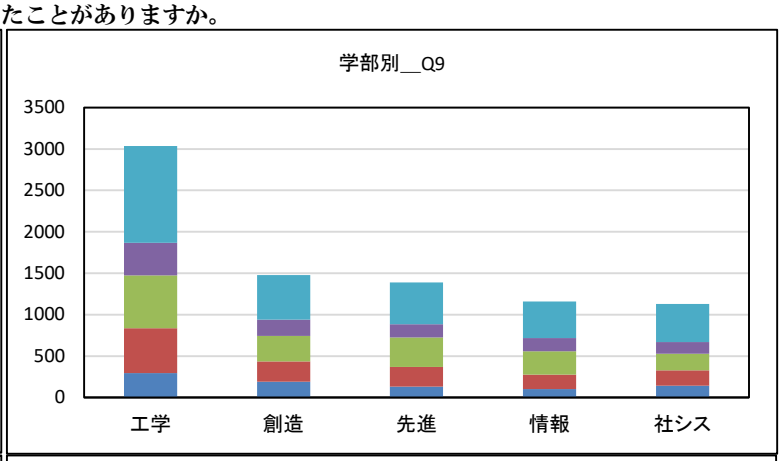


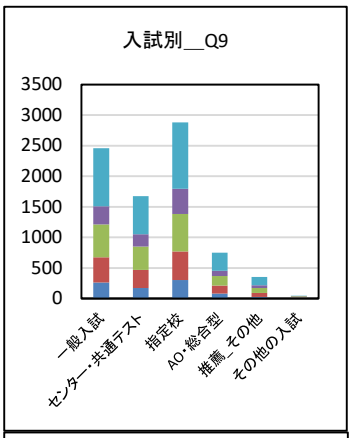


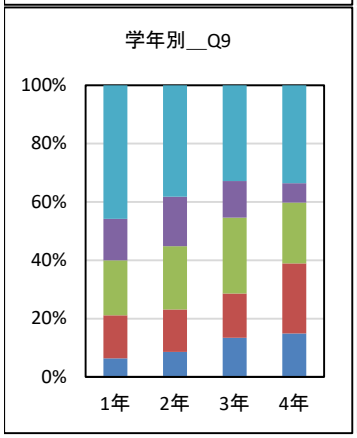
1 学習意欲がある　2 ある程度学習意欲がある　3 どちらともいえない　4 あまり学習意欲がない　5 学習意欲がない

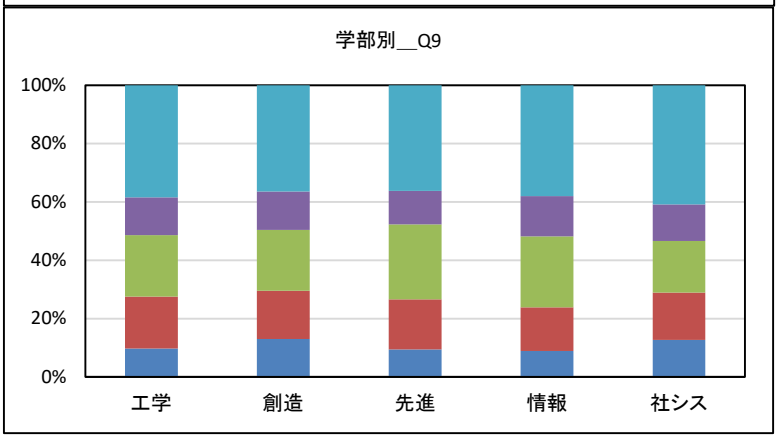
■9_授業や生活面で教員に相談したことがありますか。

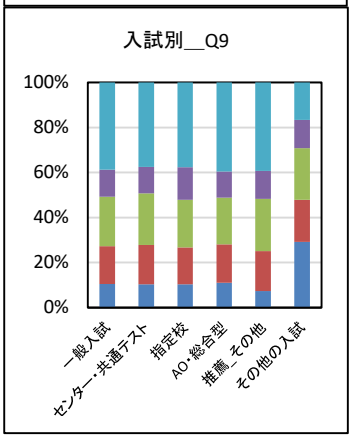






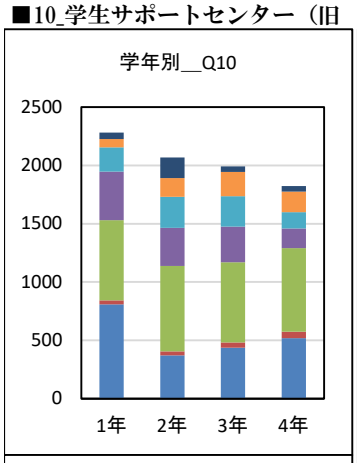


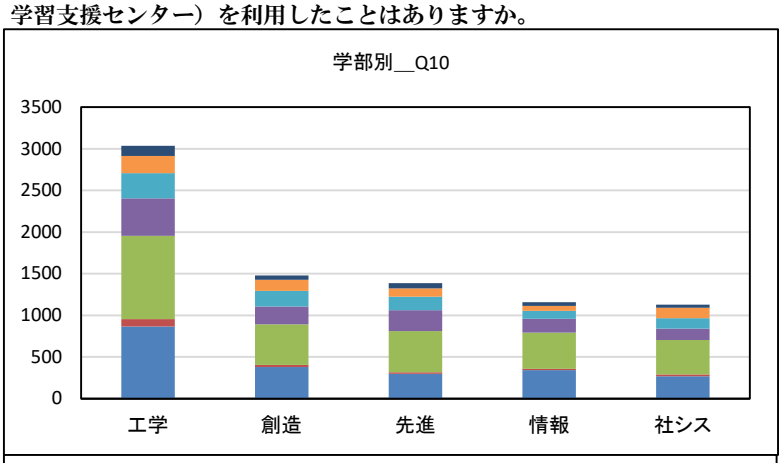


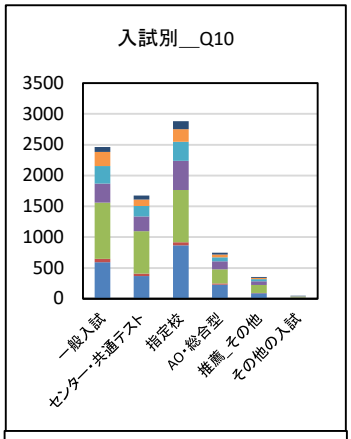


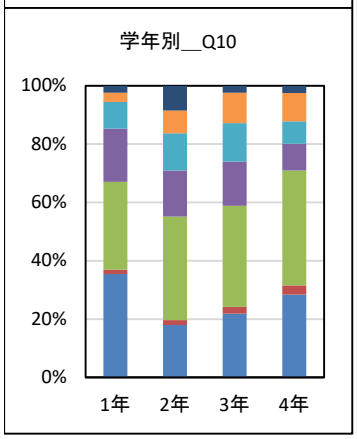
1 クラス担任に相談したことがある　2 クラス担任以外の教員に相談したことがある　3 教員には相談しづらいので自分で解決する
4 相談するべき教員がわからない　5 教員に相談するようなことはない

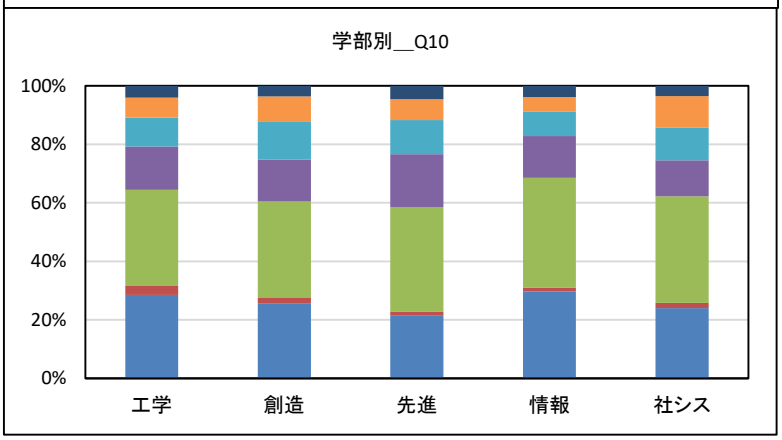
■10_学生サポートセンター（旧　学習支援センター）を利用したことはありますか。

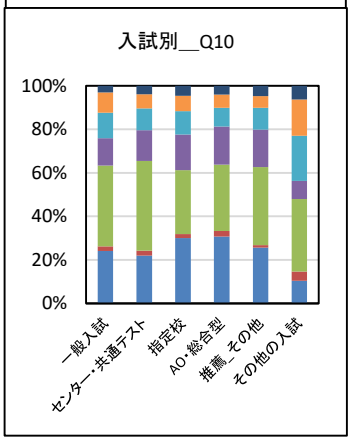






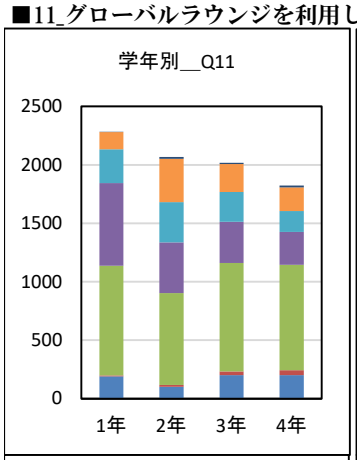


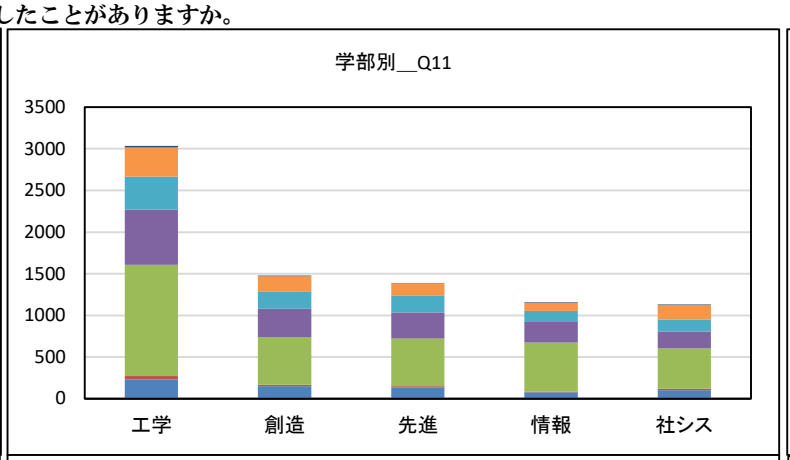


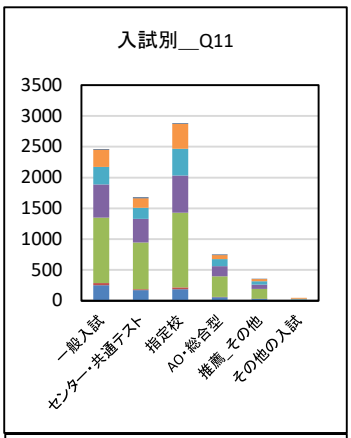


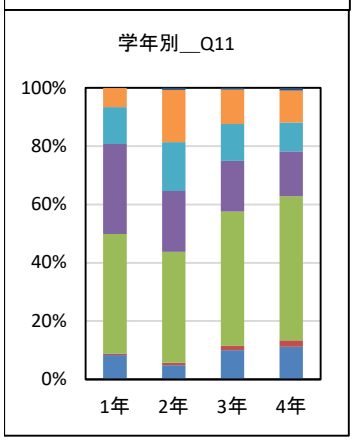
1 利用したことがあり，今後も利用したい
2 利用したことはあるが，対応が悪く今後は利用したくない
3 興味がないので利用していない
4 利用したいが雰囲気がわからないので利用していない
5 利用方法がわからないので利用していない
6 場所を知らない
7 manaba等オンラインで利用した

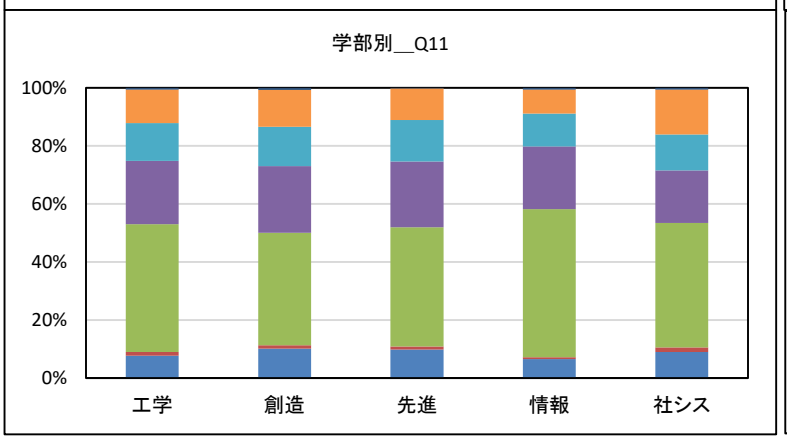
■11_グローバルラウンジを利用したことがありますか。

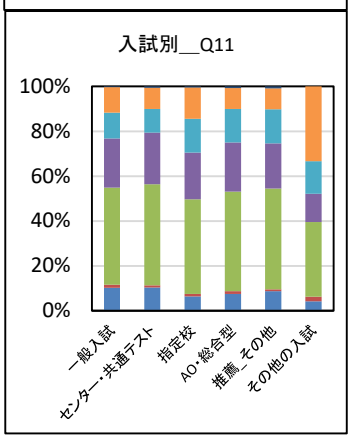






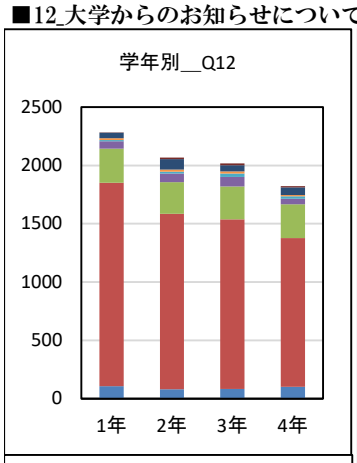


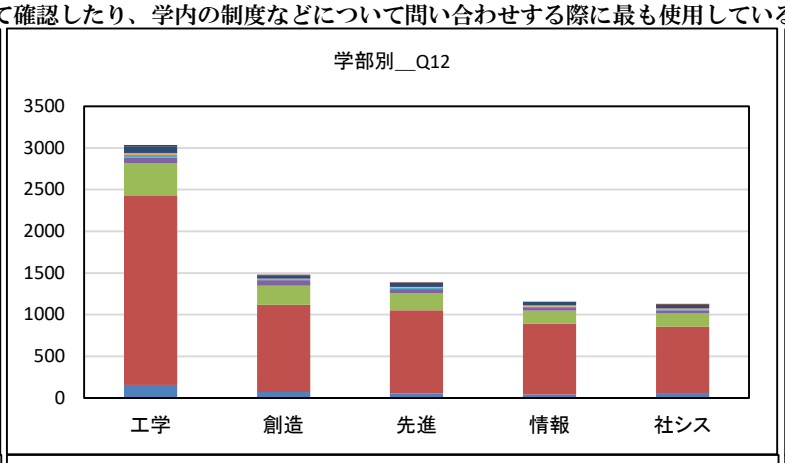


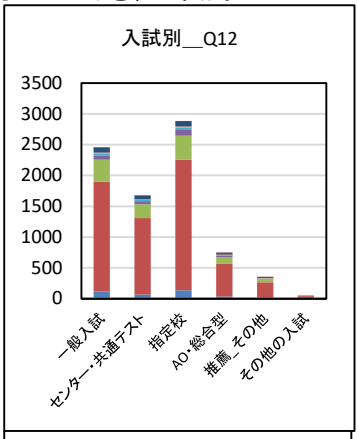


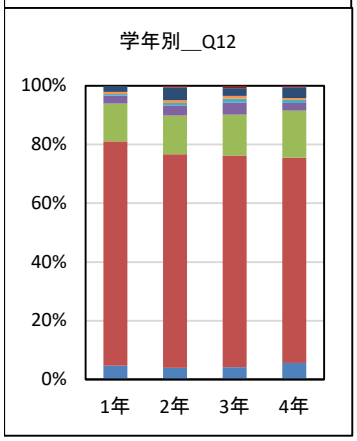
1 利用したことがあり，今後も利用したい
2 利用したことはあるが，対応が悪く今後は利用したくない
3 興味がないので利用していない
4 利用したいが雰囲気がわからないので利用していない
5 利用方法がわからないので利用していない
6 場所を知らない
7 オンライン上で利用した

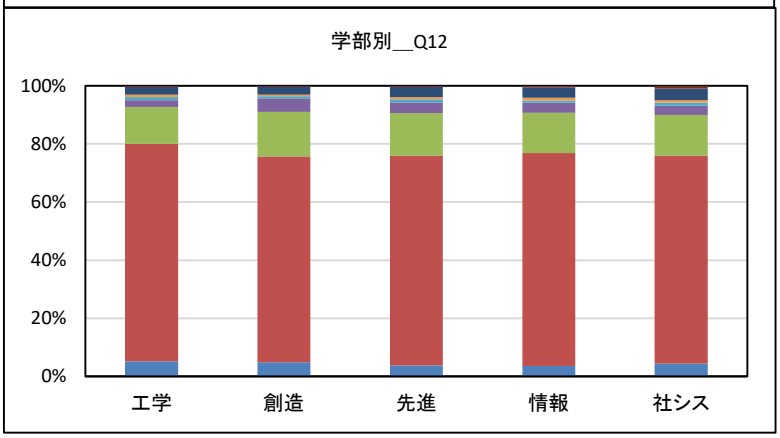
■12_大学からのお知らせについて確認したり、学内の制度などについて問い合わせする際に最も使用しているツールはどれですか。

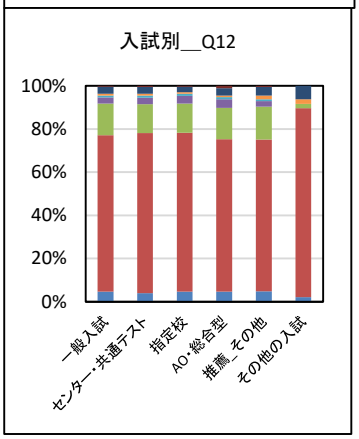








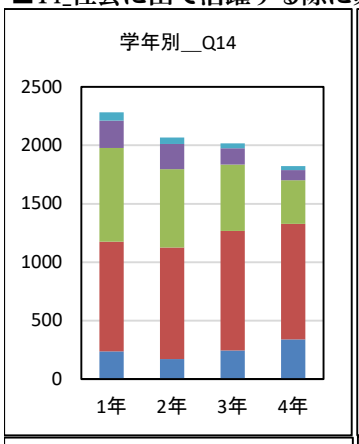


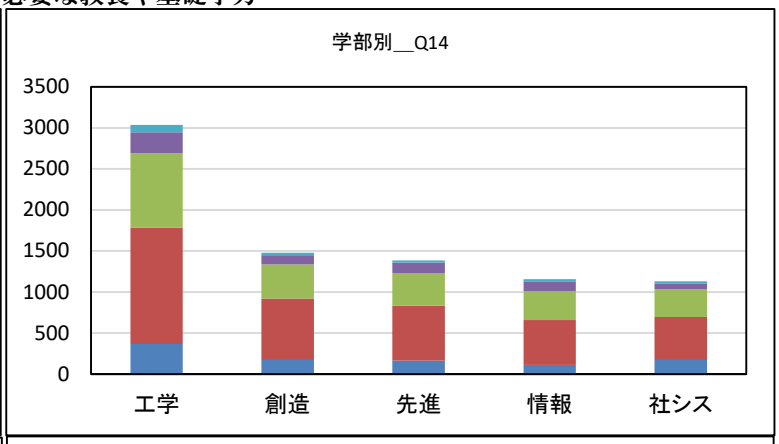


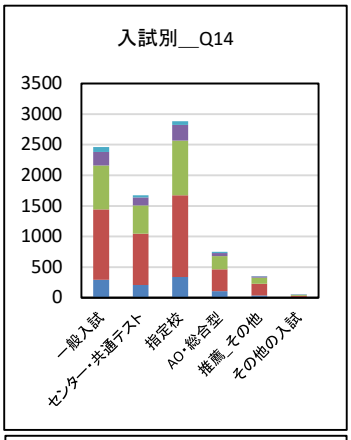
1 学内掲示板　2 CITポータル　3 友人に聞く　4 指導教員やクラス担任に聞く(manabaでの問い合わせも含む)　5 学生便覧を見る
6 cit-botを利用する　7 窓口で問い合わせる(電話やオンラインでの問い合わせも含む)　8 サークルや研究室の先輩などに聞く

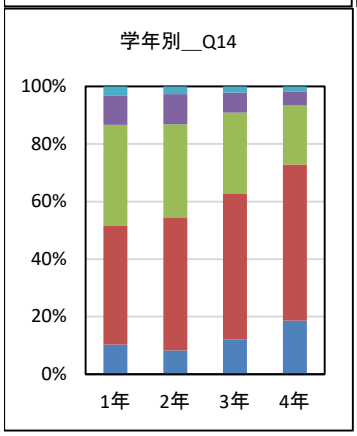
■大学の教育を受けて以下の6つの要素がどの程度身に付いていると感じますか■

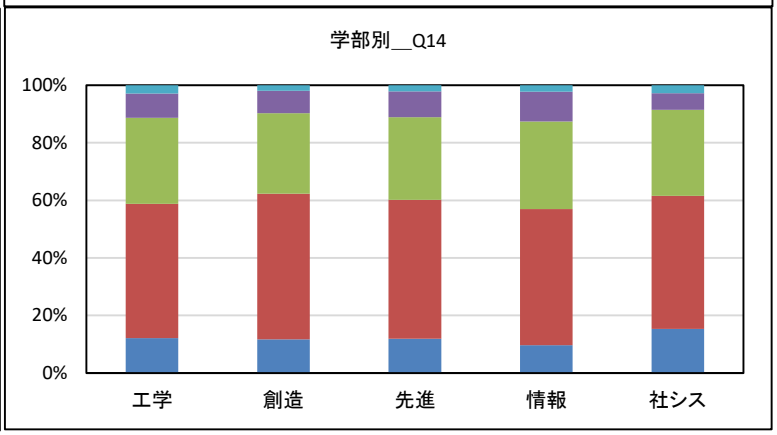
■14_社会に出て活躍する際に必要な教養や基礎学力

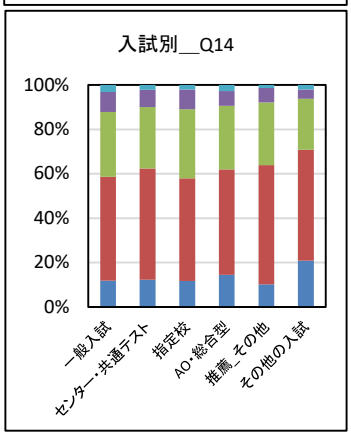


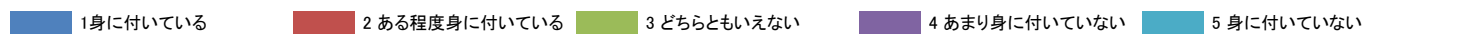




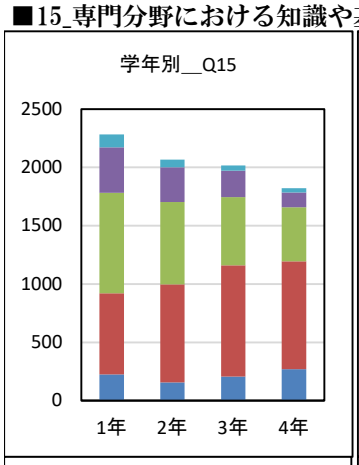


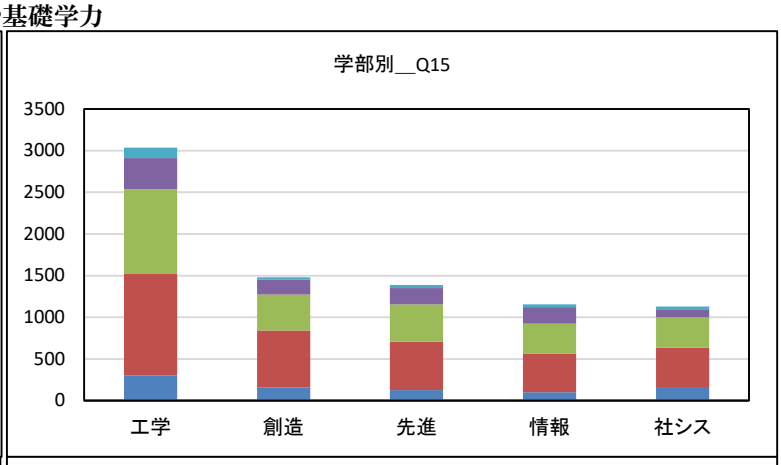


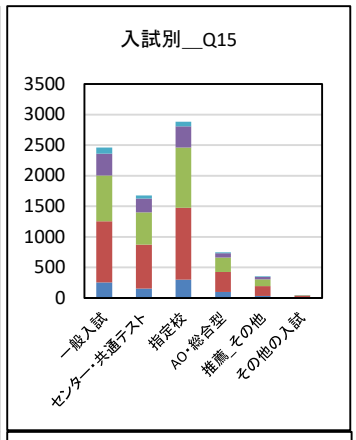


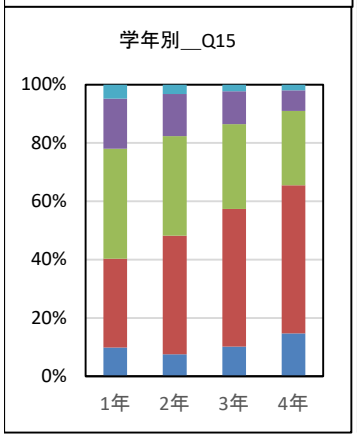


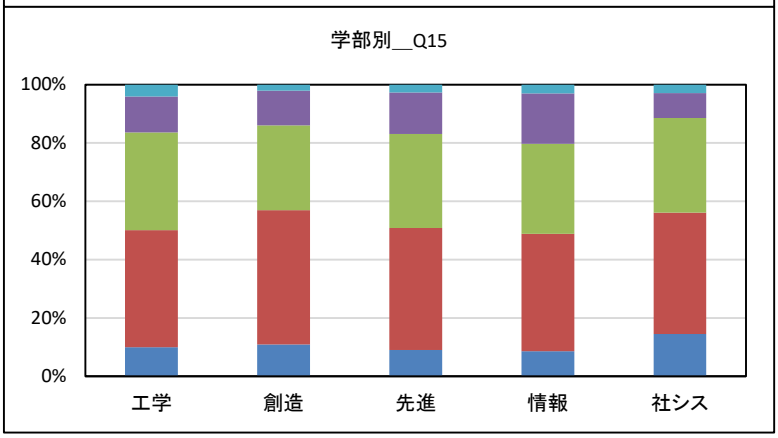
■15_専門分野における知識や基礎学力

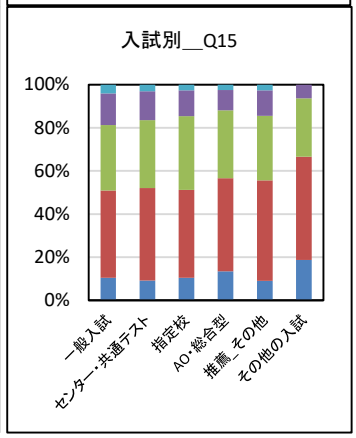


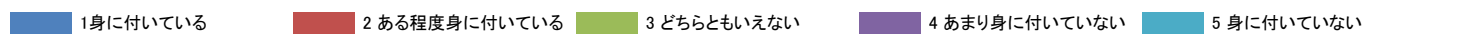




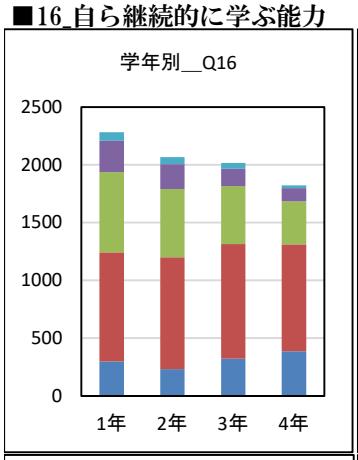


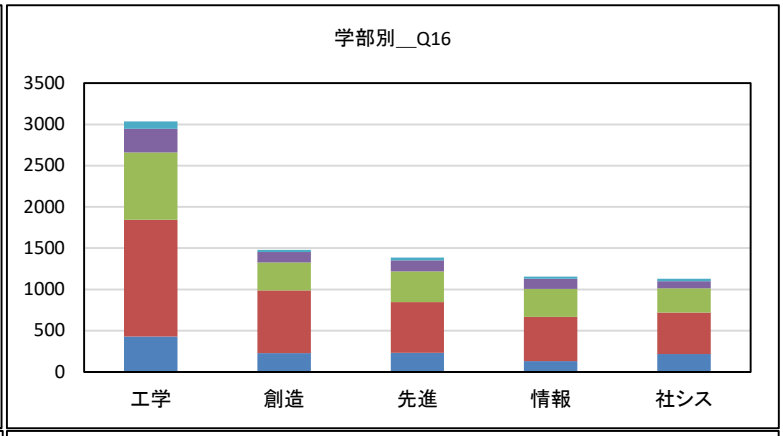


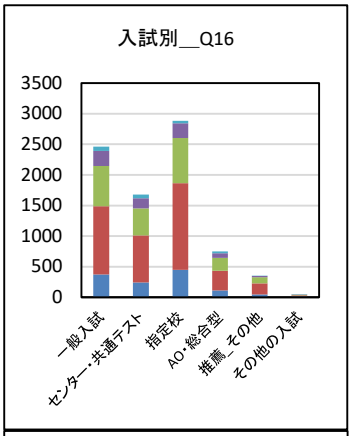


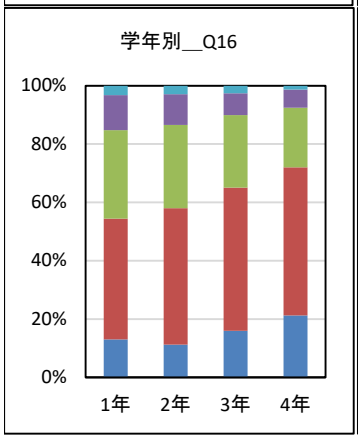


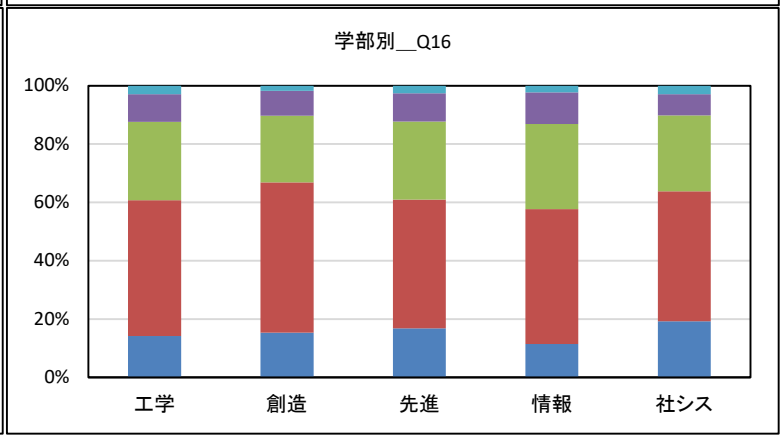
■16_自ら継続的に学ぶ能力

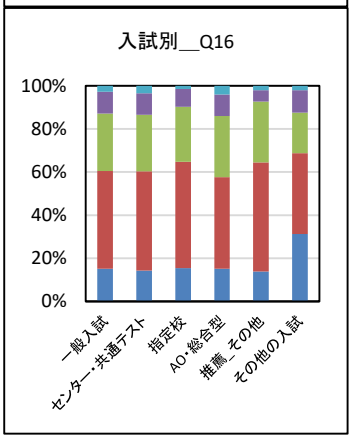


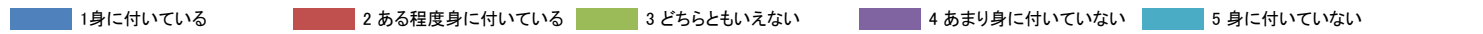




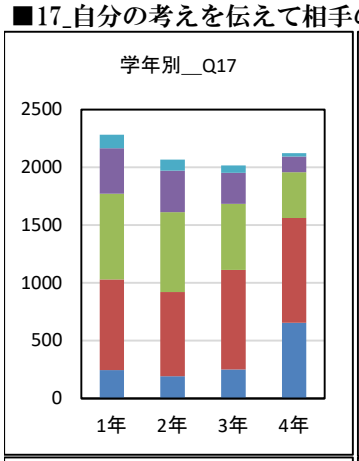


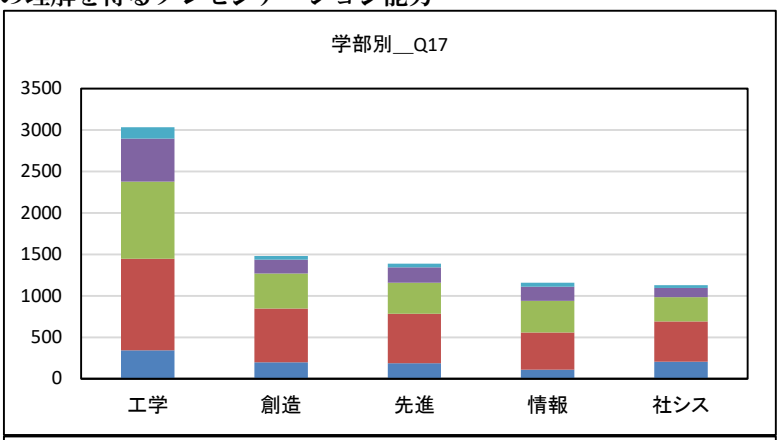


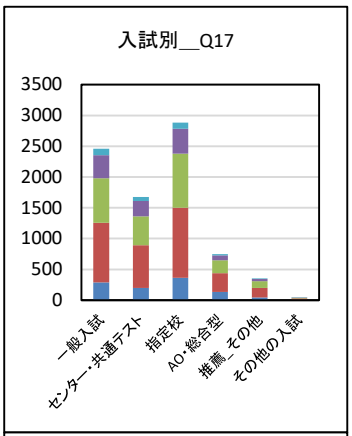


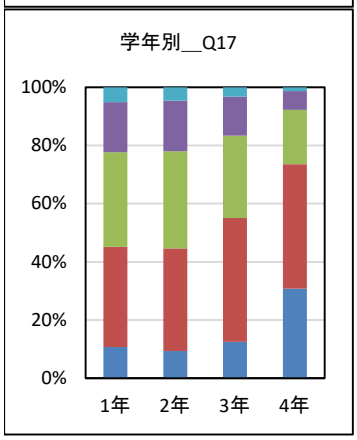


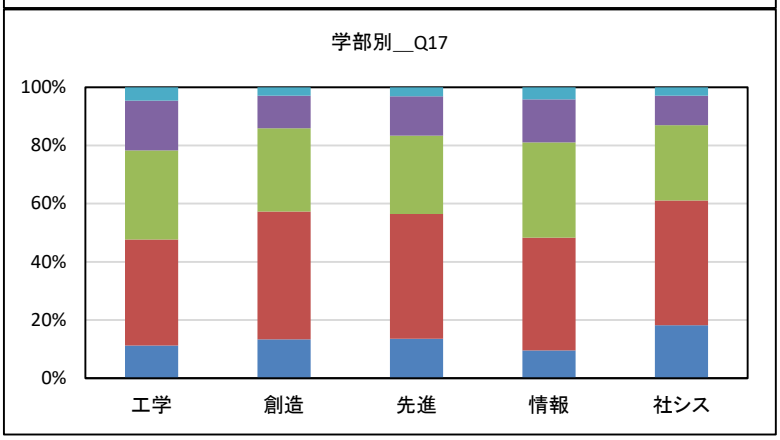
■17_自分の考えを伝えて相手の理解を得るプレゼンテーション能力

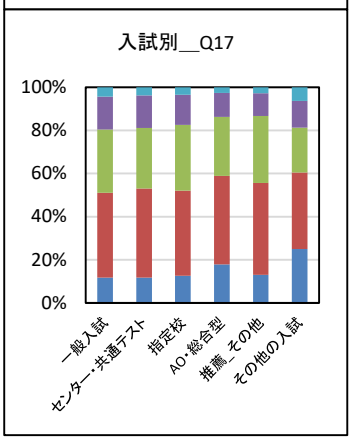


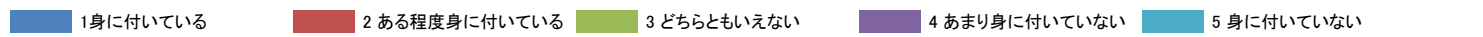




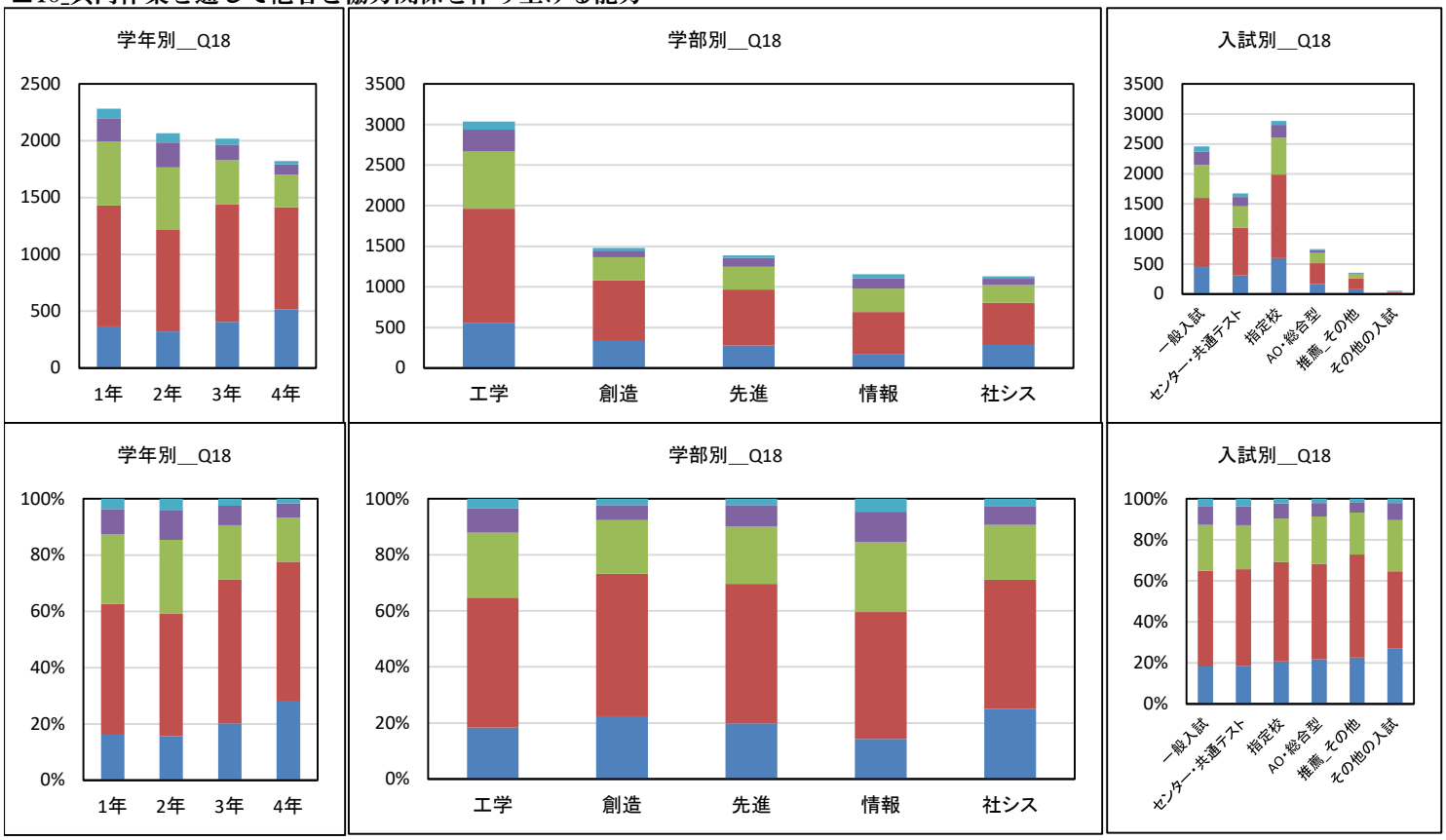




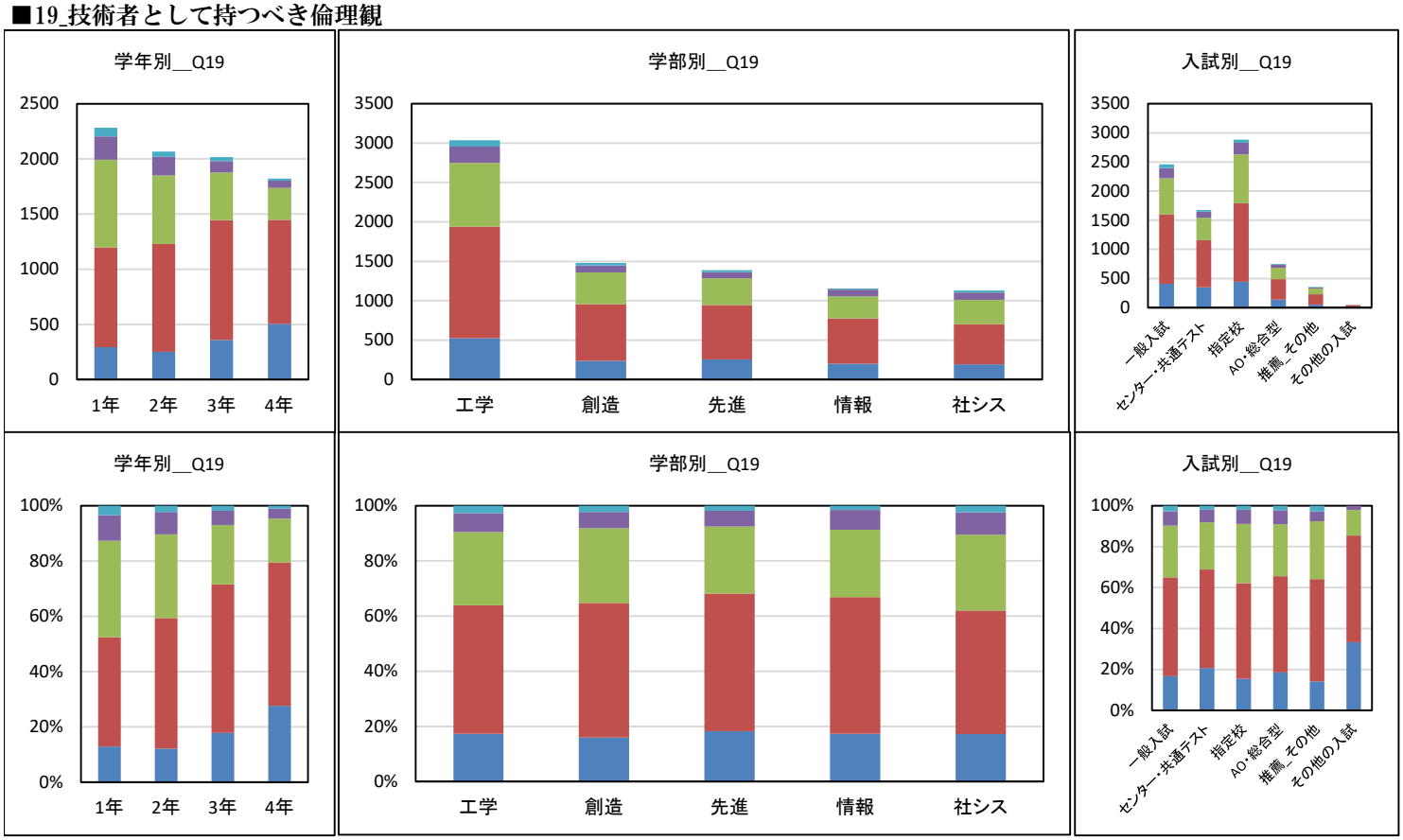




■18_共同作業を通して他者と協力関係を作り上げる能力

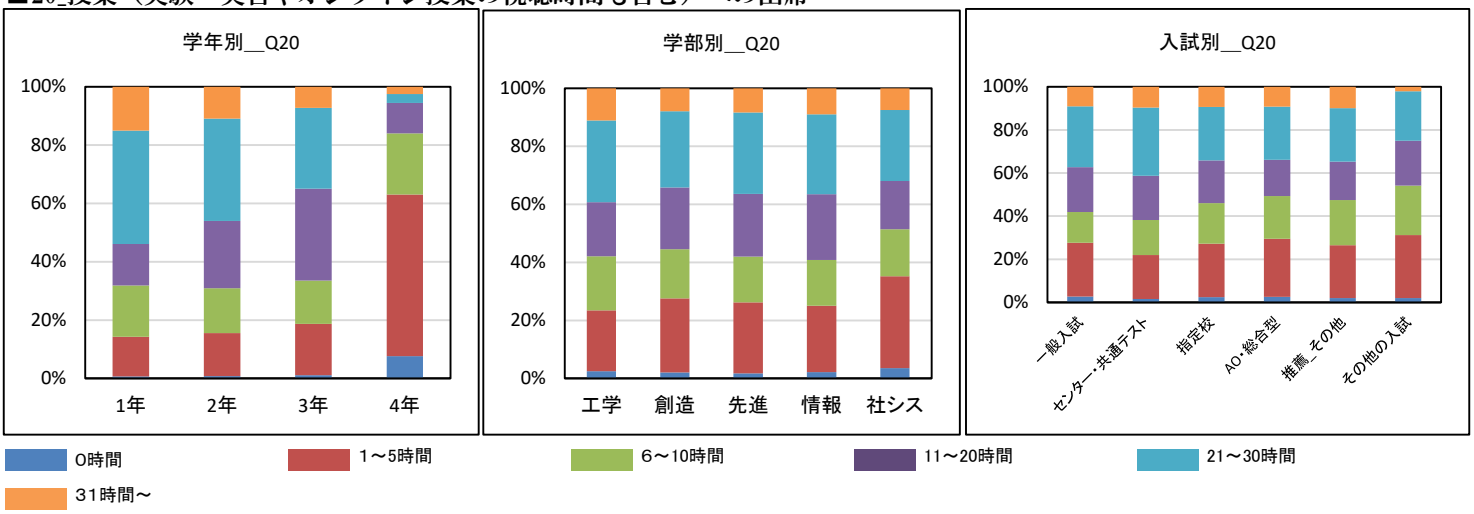


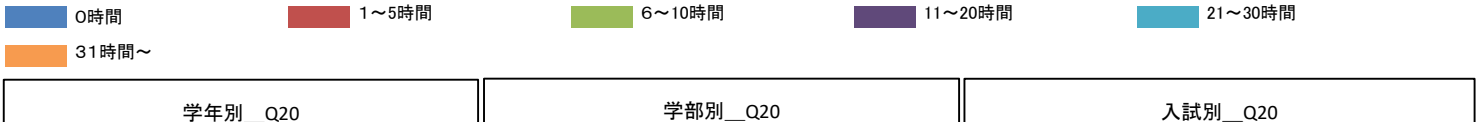
■19_技術者として持つべき倫理観

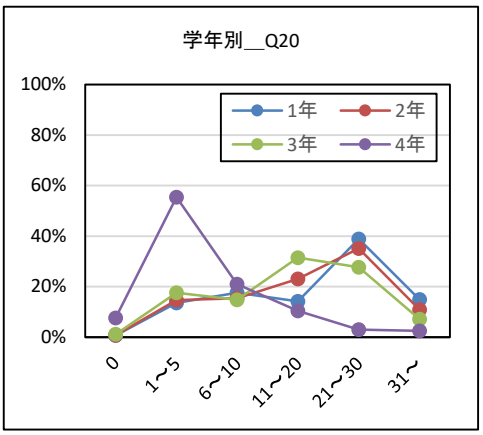


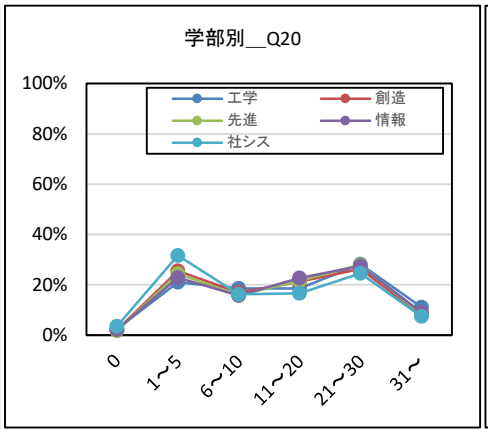
■授業期間中の平均的な1週間（7日間）の生活時間はそれぞれどのくらいですか。

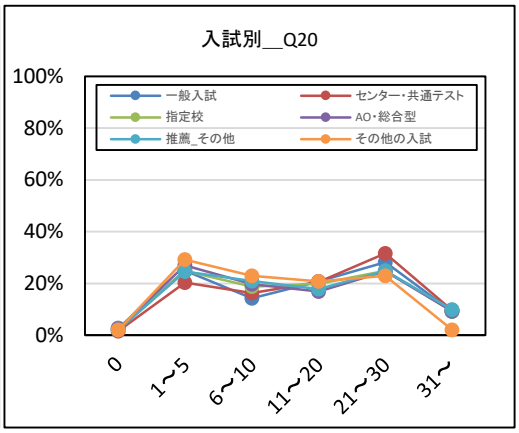
■20_授業（実験・実習やオンライン授業の視聴時間も含む）への出席



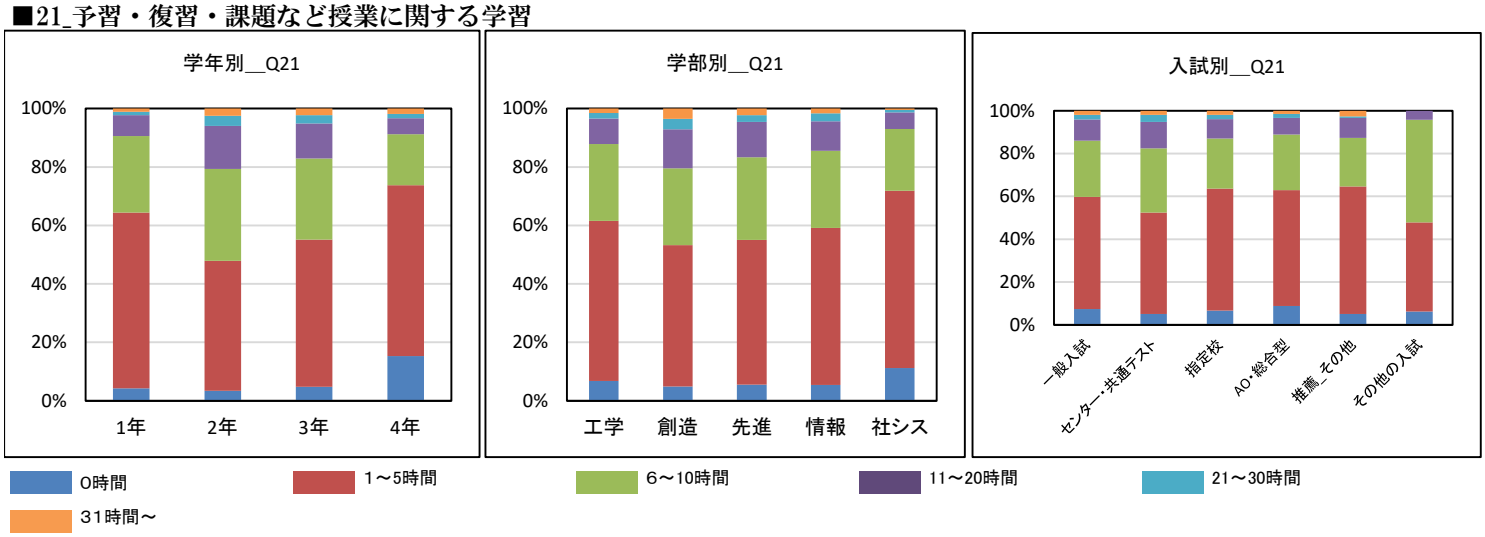


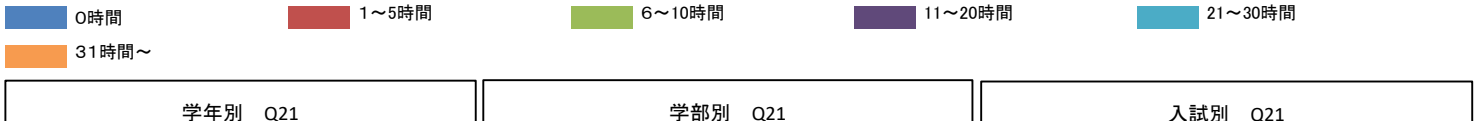


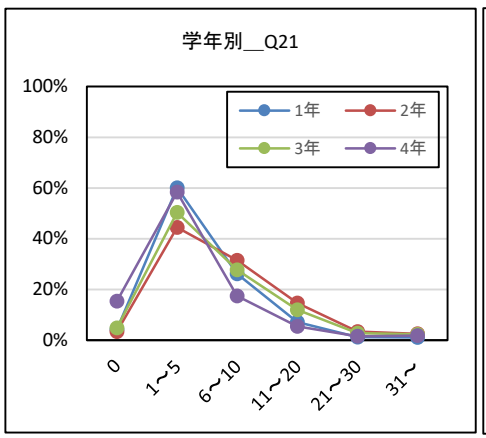


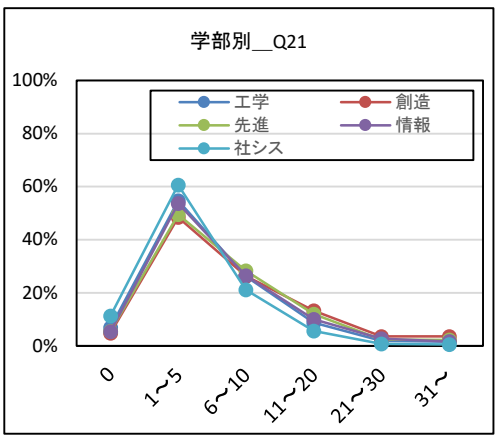


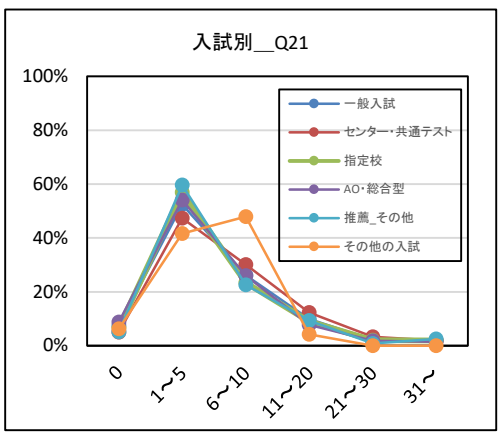
■21_予習・復習・課題など授業に関する学習



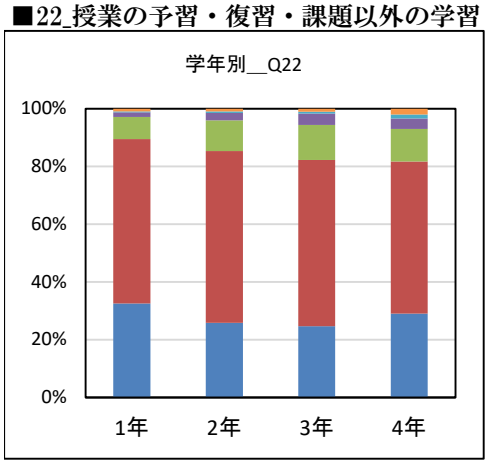


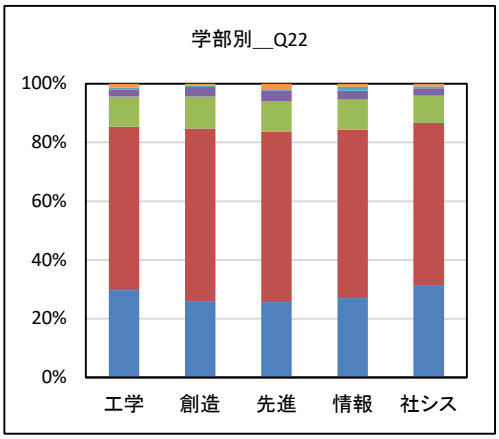


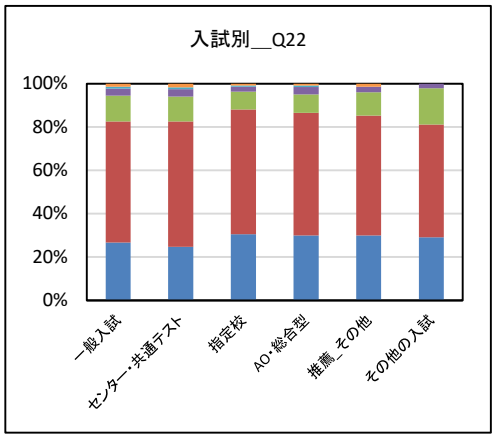




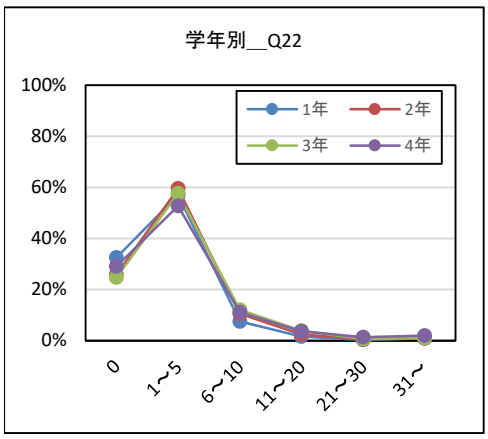
■22_授業の予習・復習・課題以外の学習

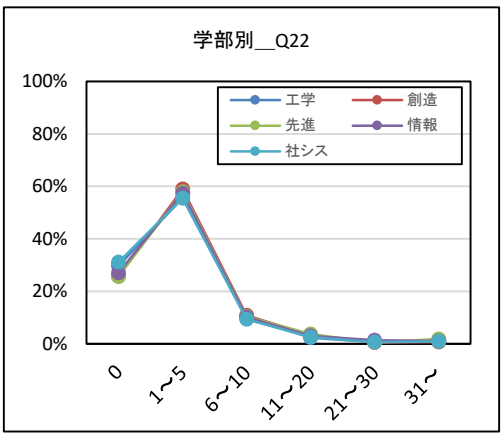


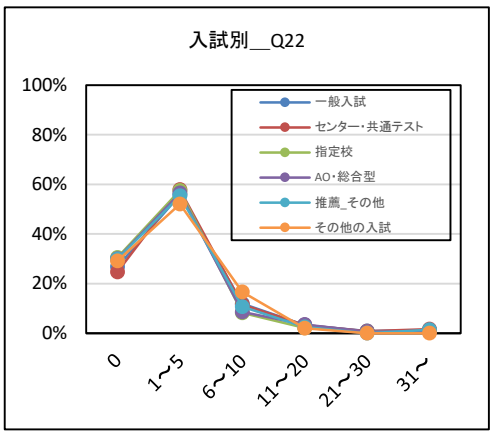




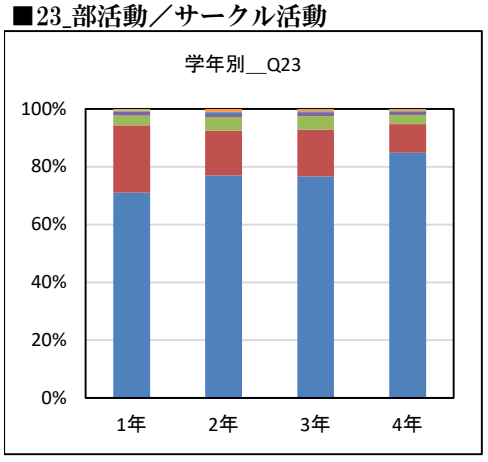
0時間　1～5時間　6～10時間　11～20時間　21～30時間　31時間～

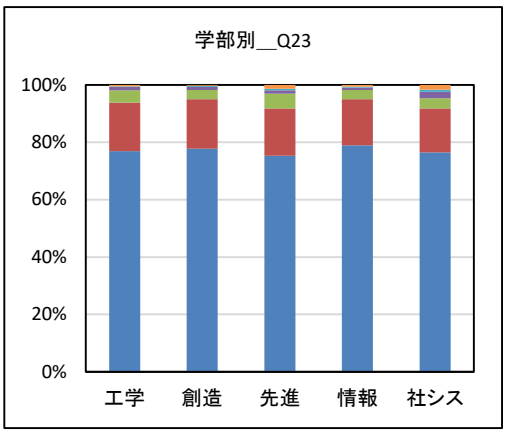


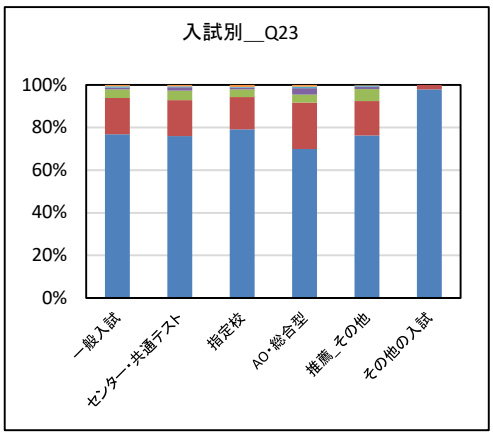




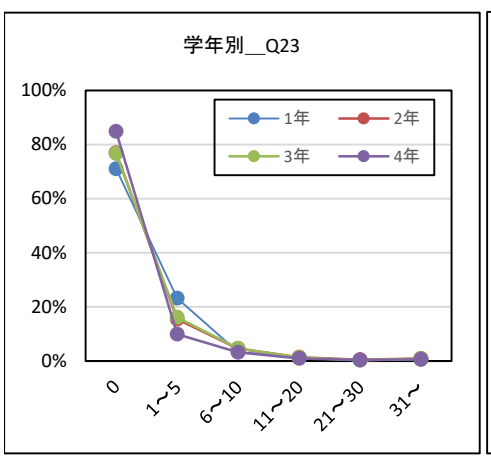
■23_部活動／サークル活動

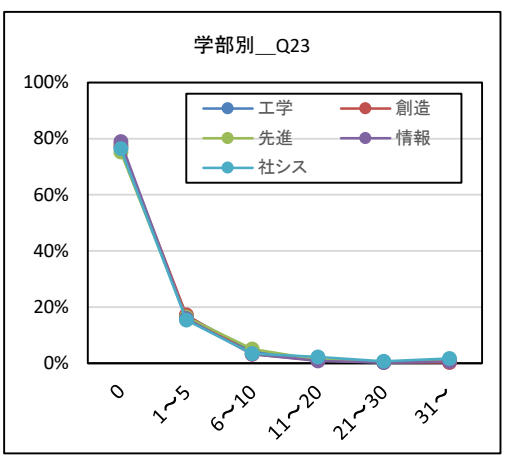


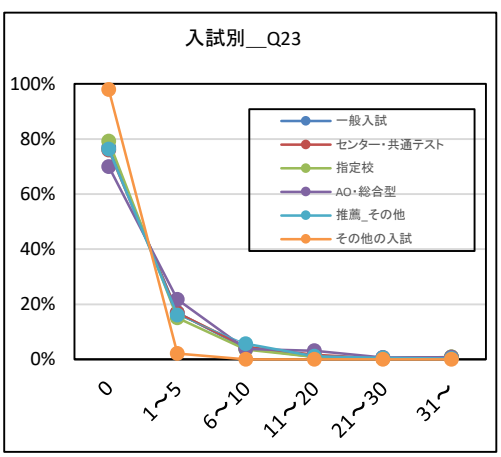




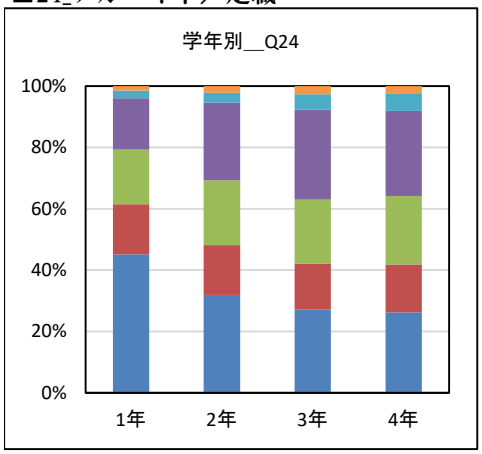
0時間　1～5時間　6～10時間　11～20時間　21～30時間　31時間～

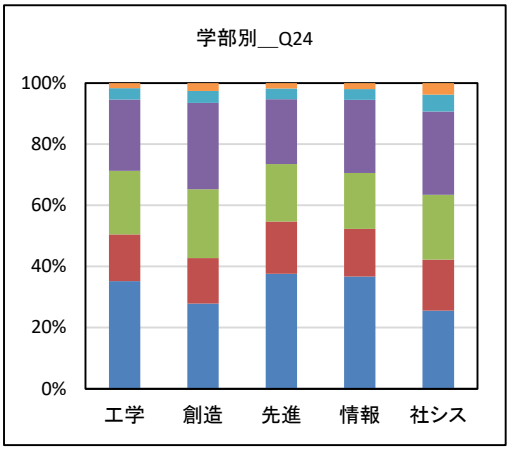


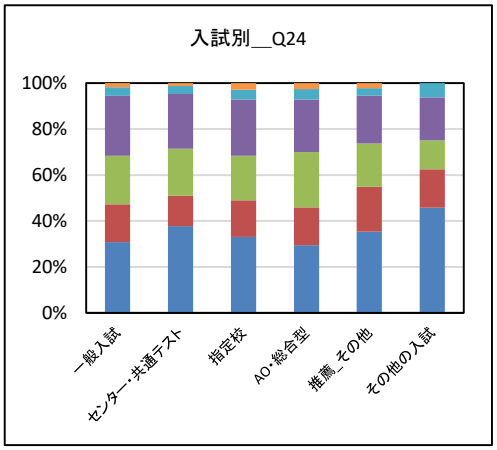


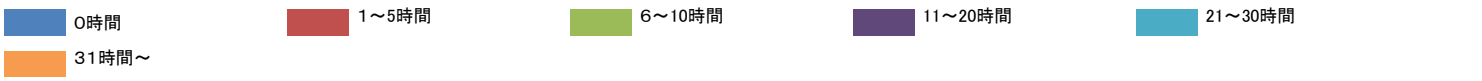


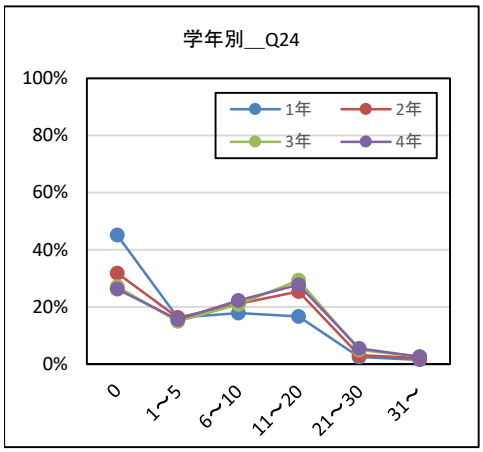
■24_アルバイト／定職

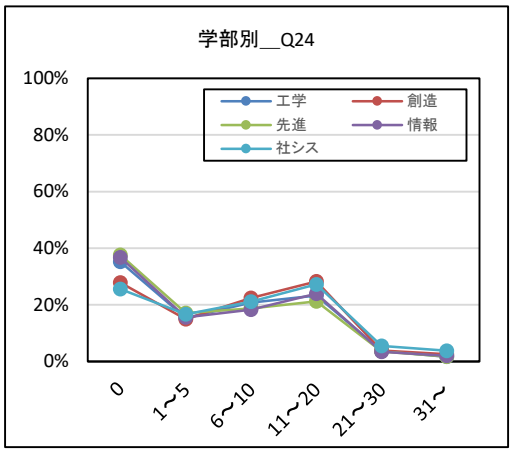


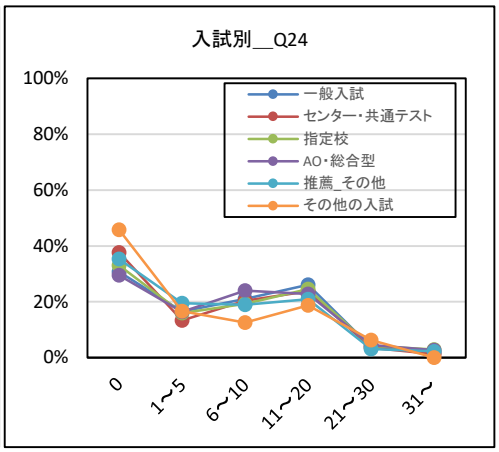




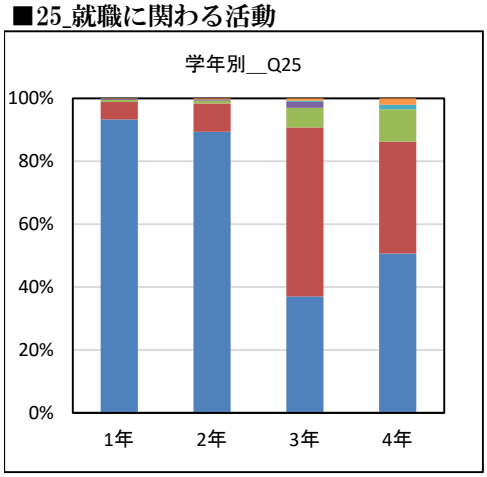


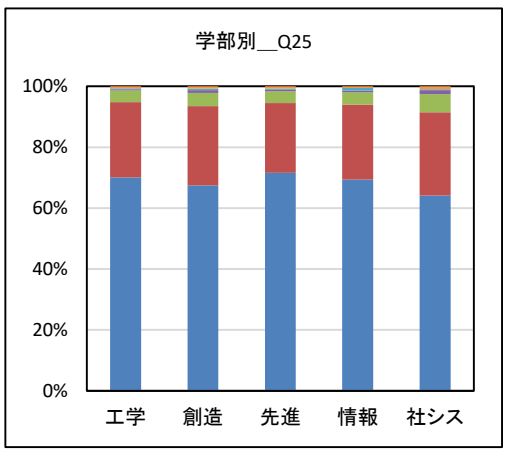


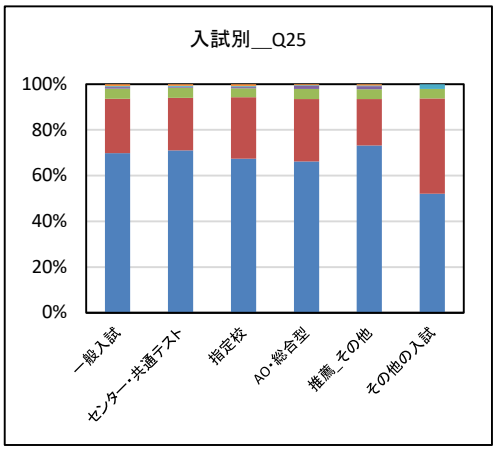


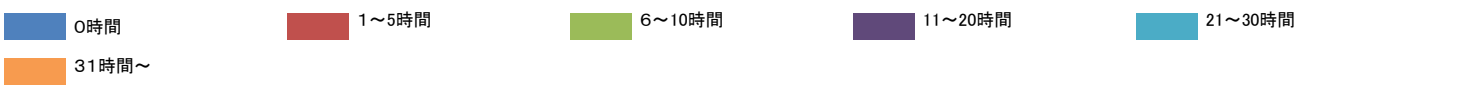


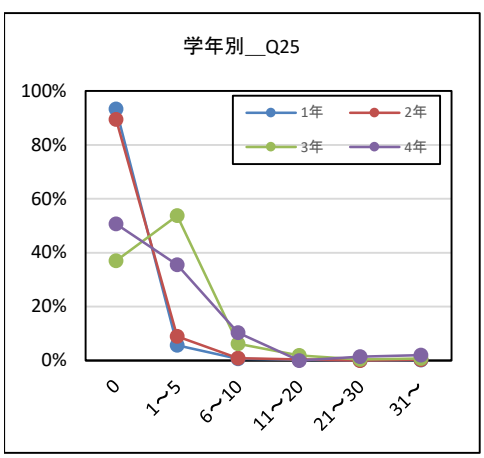
■25_就職に関わる活動

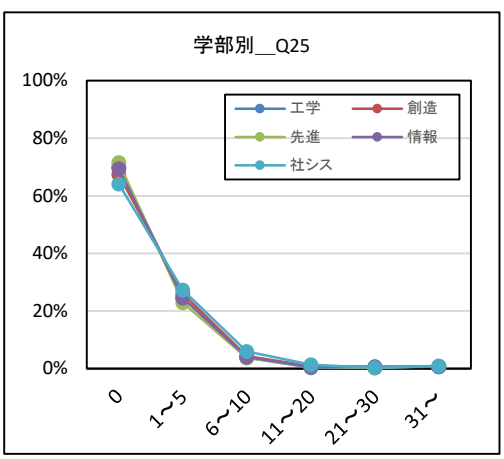


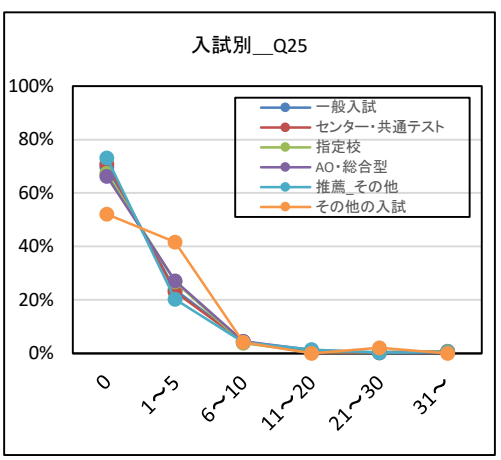




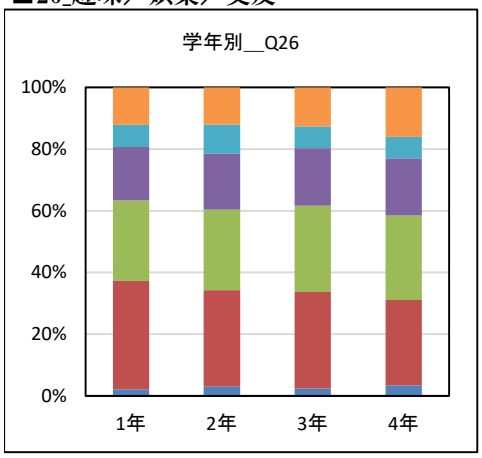


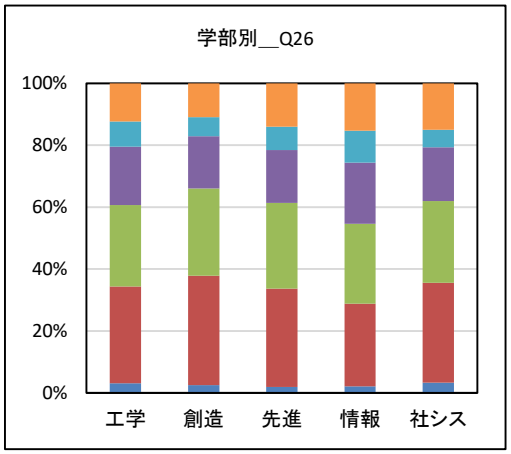


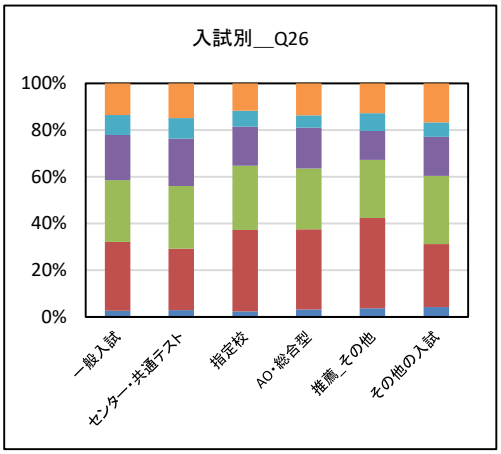


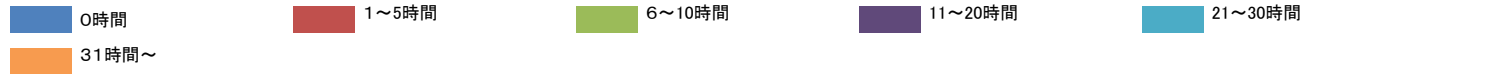


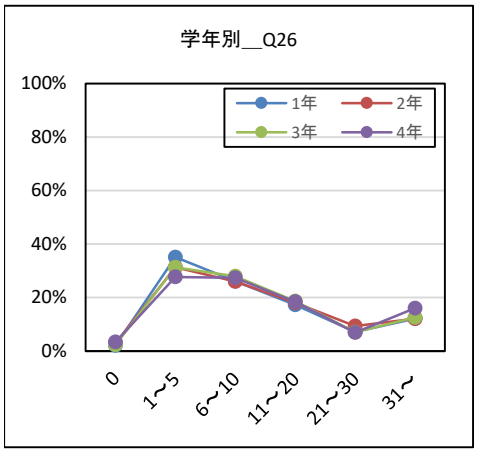
■26_趣味／娯楽／交友

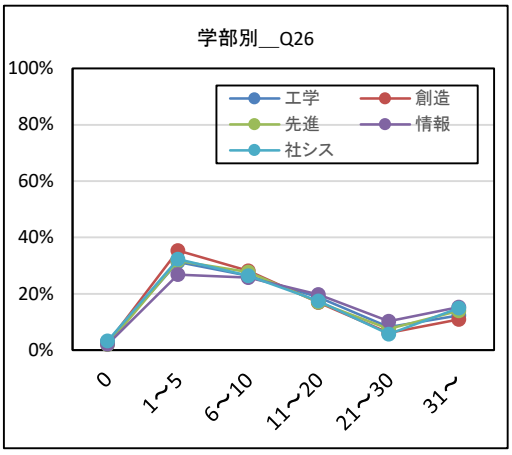


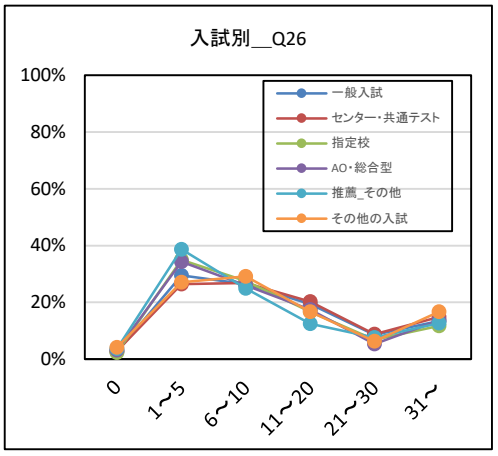




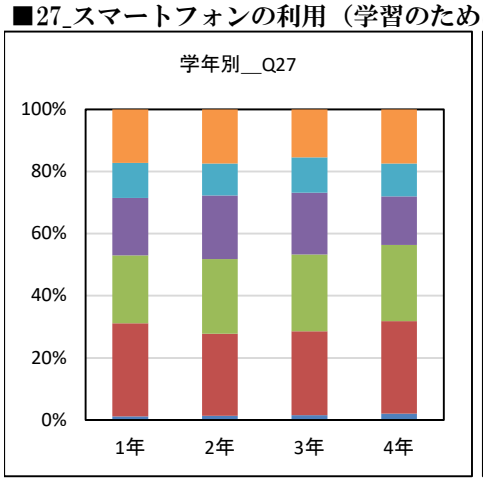


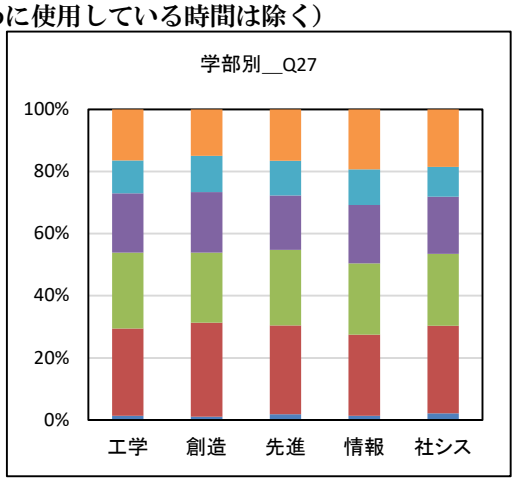


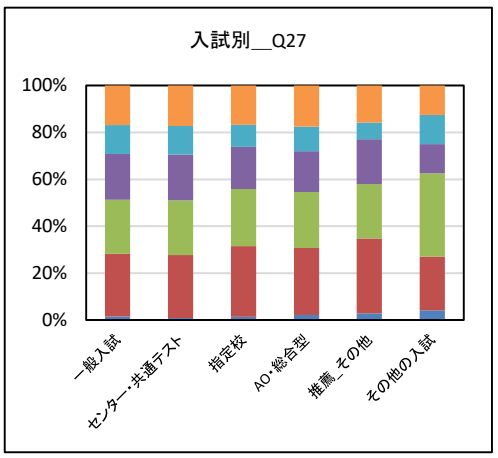


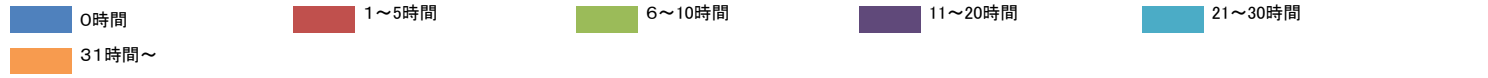


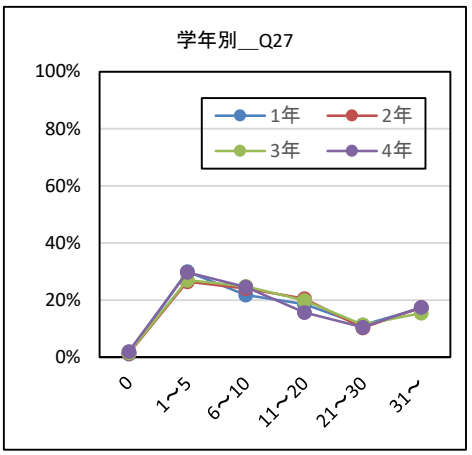
■27_スマートフォンの利用（学習のために使用している時間は除く）

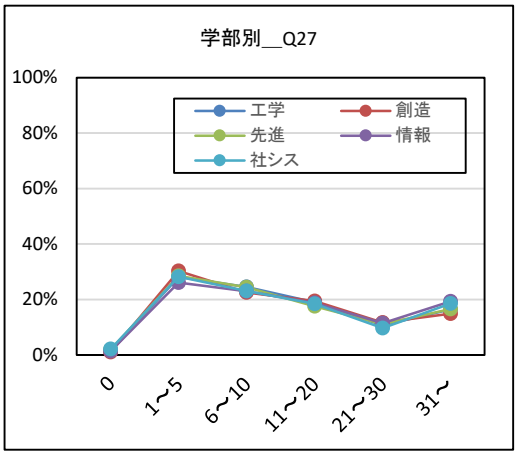


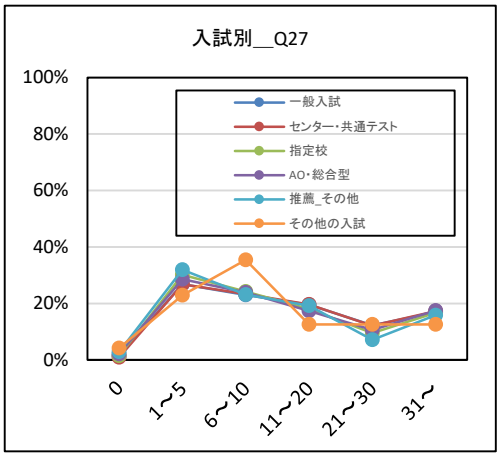




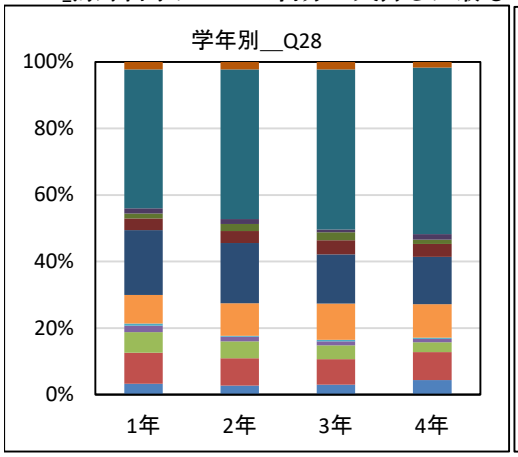


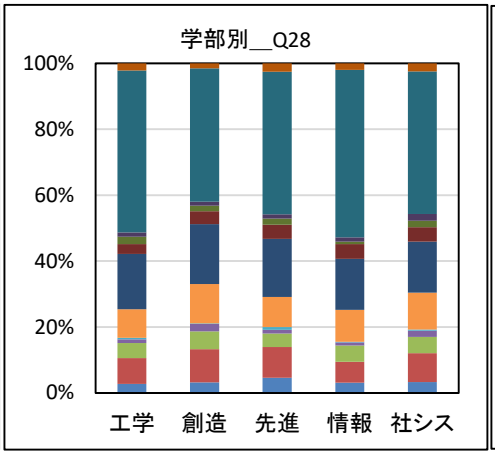


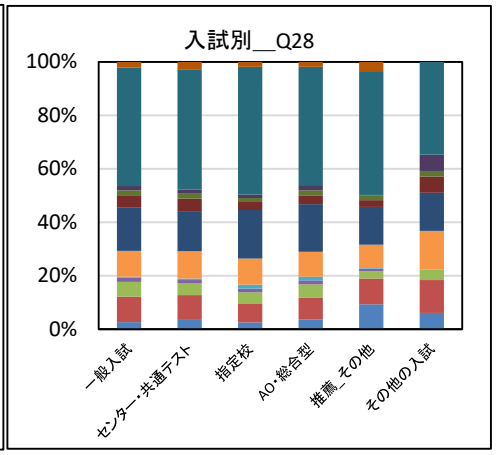


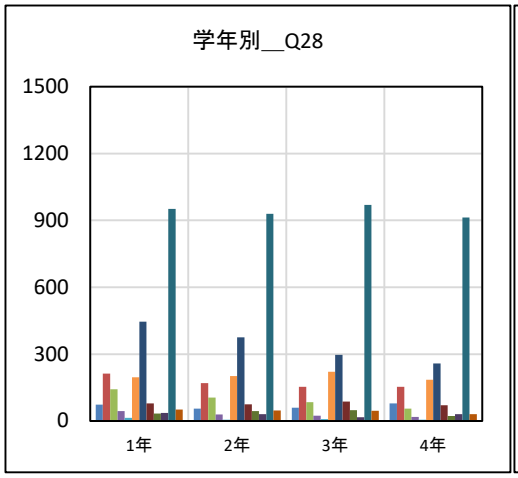


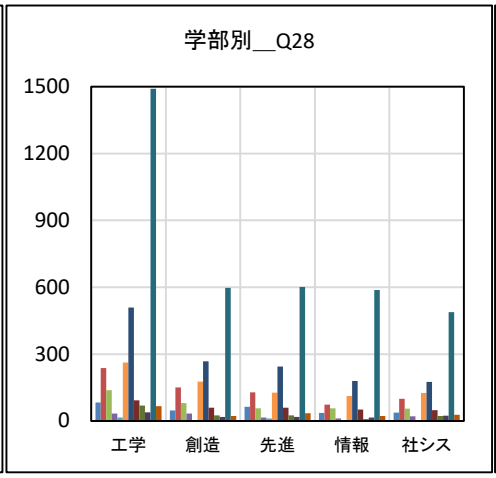
■28_海外留学について自分の気持ちに最もあてはまるものはどれですか。

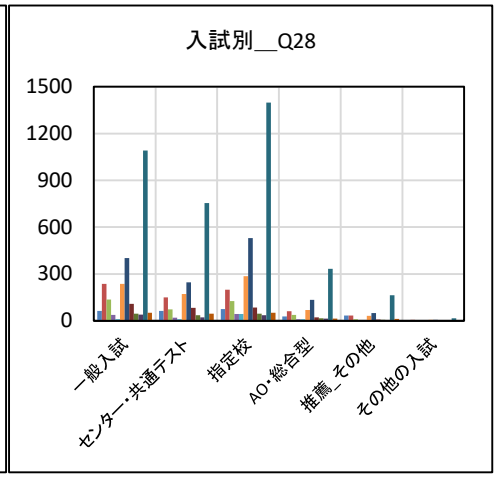






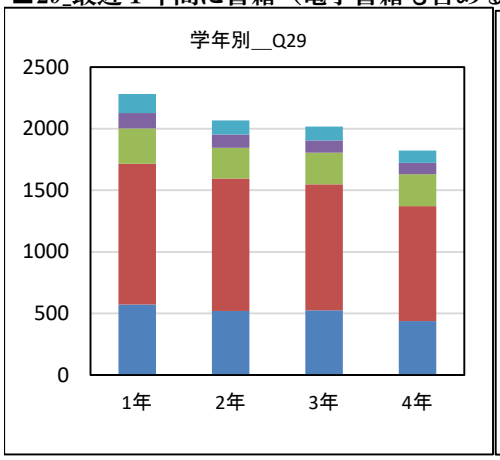


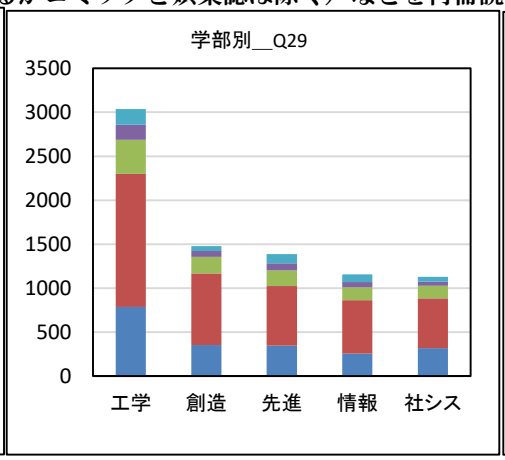


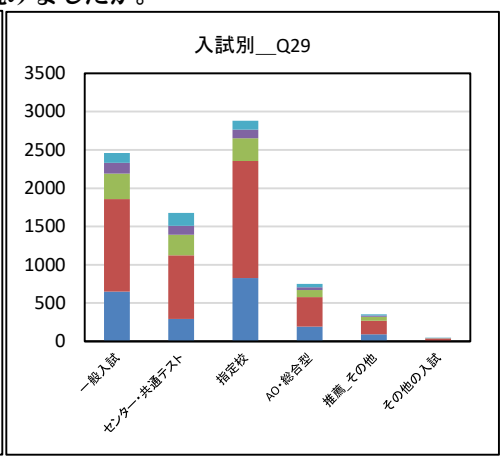


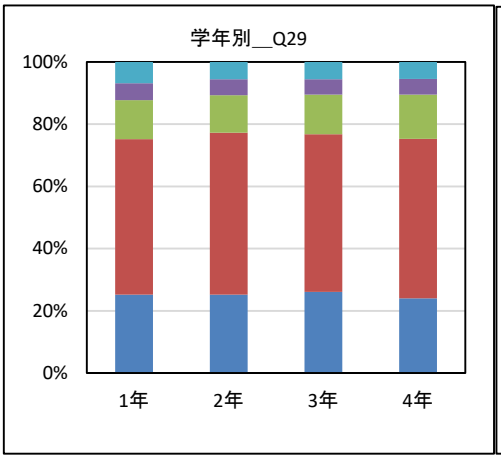
1 既に留学したことがある　2 見聞を広めるために留学したい　3 外国語や専門分野を学ぶために留学したい
4 就活や就職後に留学経験が役に立つと感じるため留学したい　5 親に進められたので留学したい　6 留学したいが経済的に余裕がない
7 留学したいが語学力が不安　8 留学したいが海外の社会情勢や治安が不安　9 留学したいが周りと比べて卒業が遅れてしまいそうなのが不安
10 留学したいが単位に結びつかないから　11 留学したいと思わない　12 その他

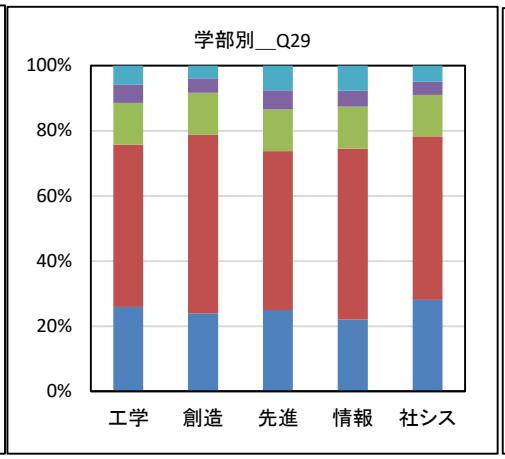
■29_最近１年間に書籍（電子書籍も含めるがコミックと娯楽誌は除く）などを何冊読みましたか。

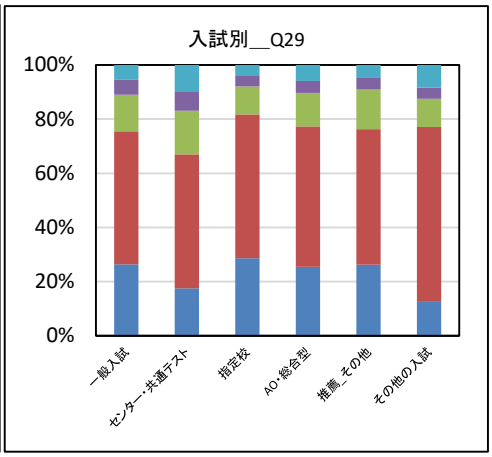






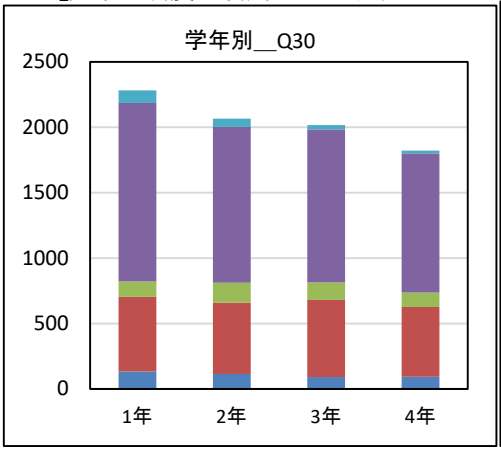


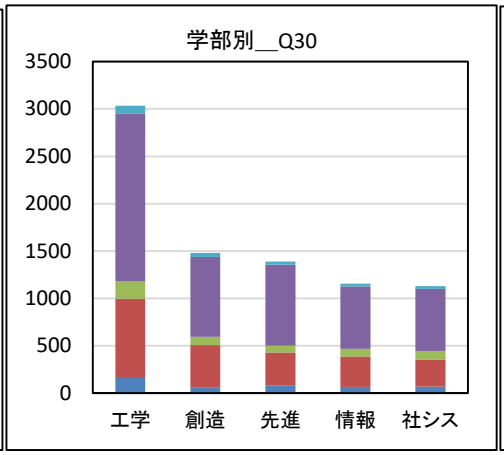


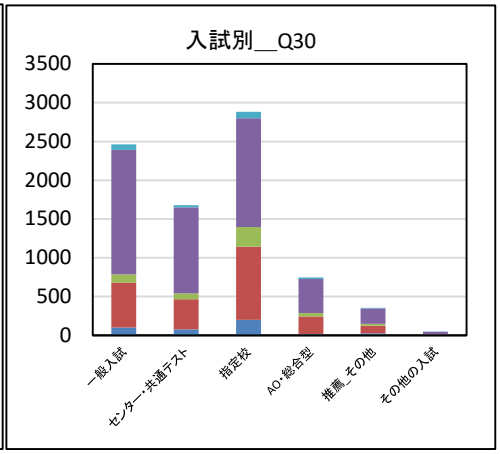


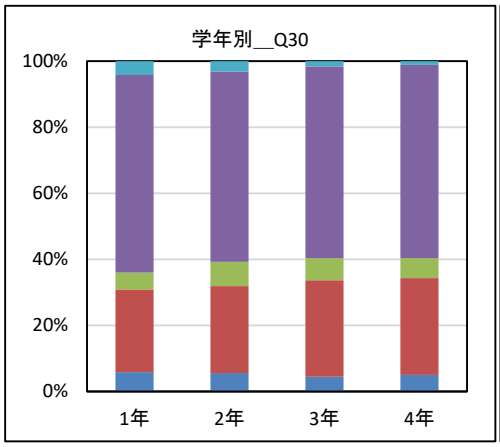
0冊　1～5冊　6～10冊　11～20冊　21冊以上

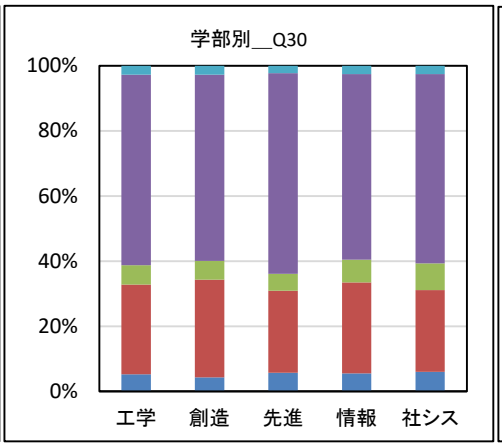
■30_奨学金制度を利用していますか。

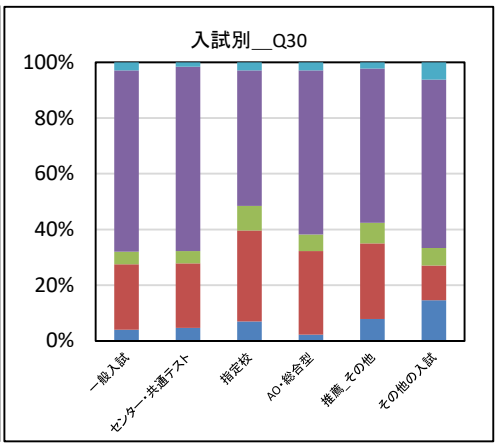








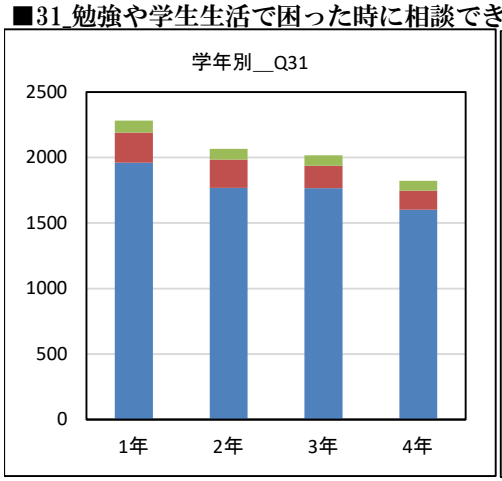


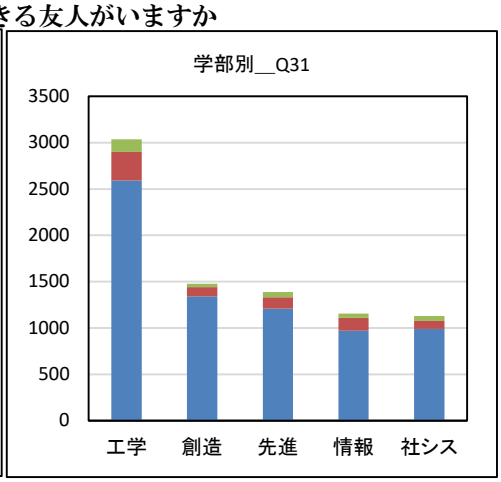


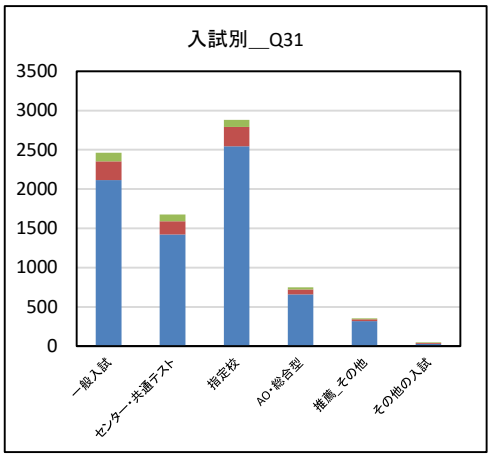
1 給付型（返済義務なし）奨学金を利用している　2 貸与型（返済義務あり）奨学金を利用している　3 給付型も貸与型も両方利用している

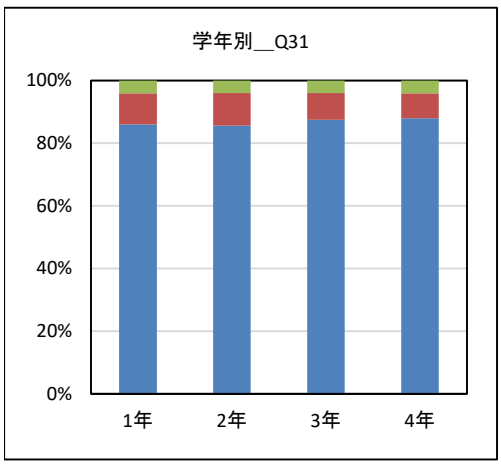
4 利用していない　5 利用しているかどうか分からない

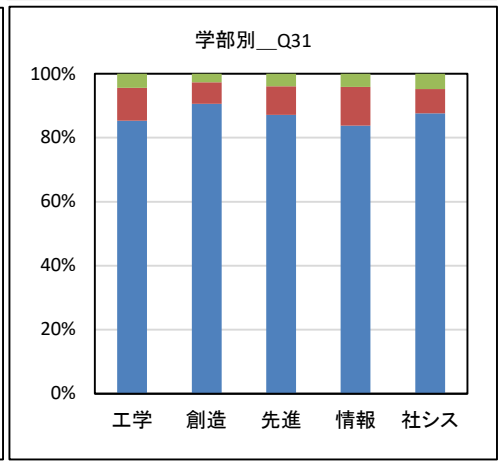
■31_勉強や学生生活で困った時に相談できる友人がいますか

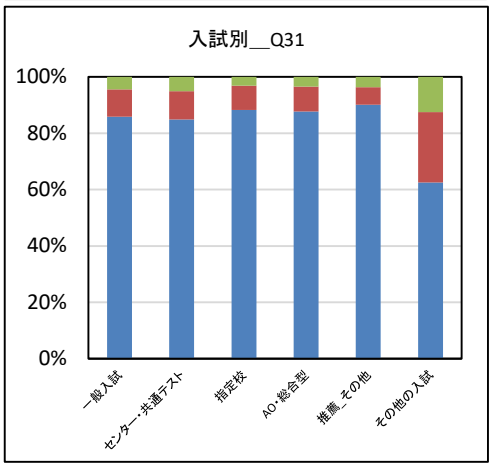






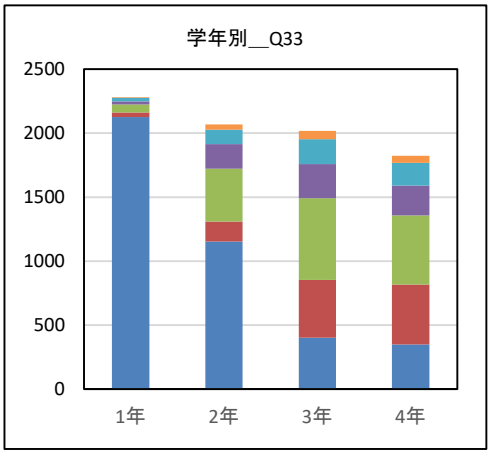


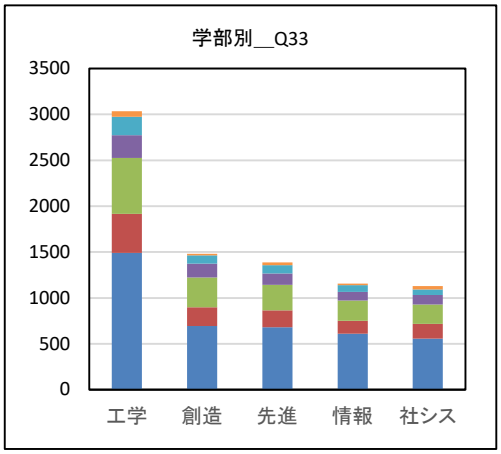


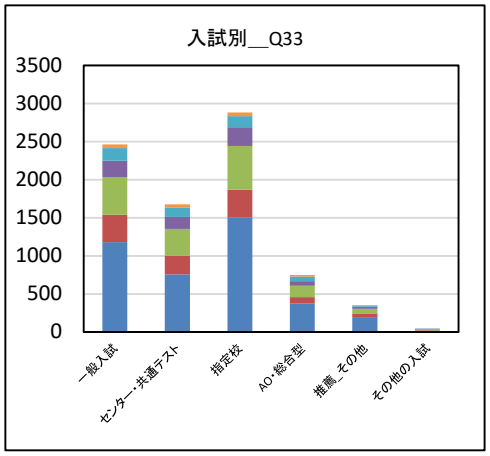


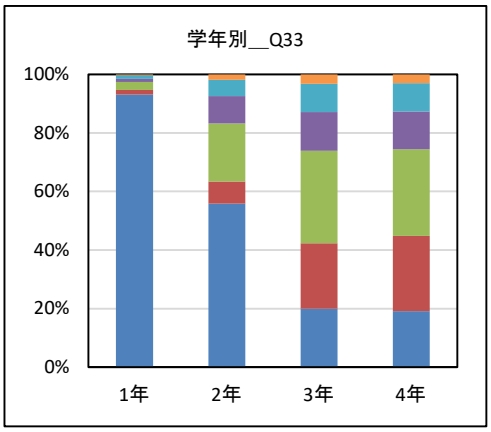
1 いる　2 いないが必要だと感じている　3 いないが不要だと感じている

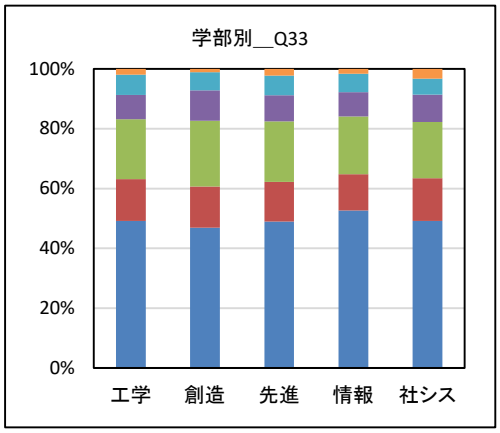
■33_飲酒の頻度について最も当てはまるものはどれですか

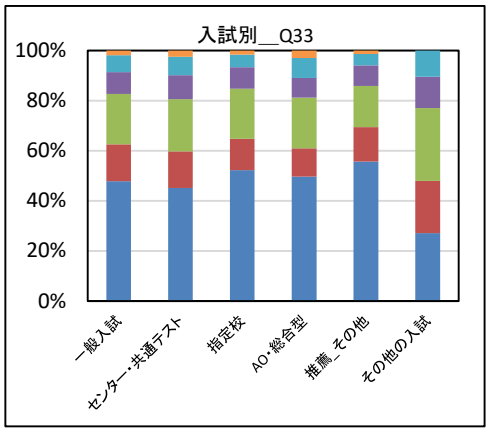








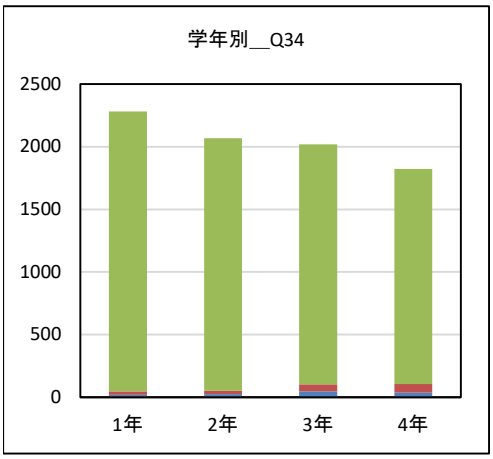


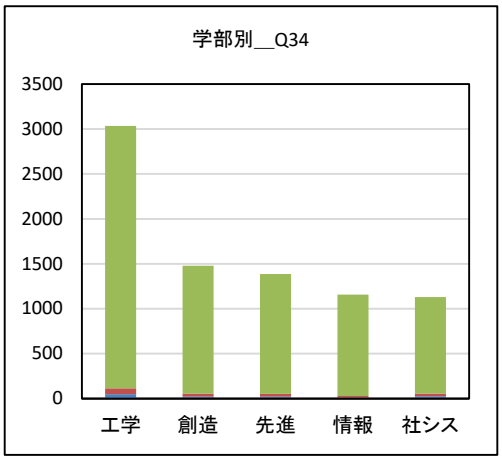


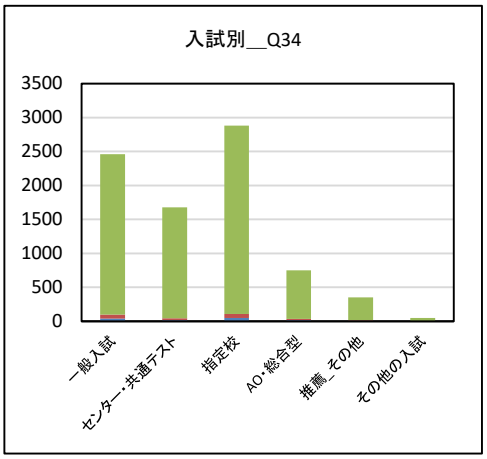
1 一切飲まない（未成年も含む）　2 普段は飲まないがサークルや研究室等の飲み会では付き合いで飲む　3 月に1～2回程度

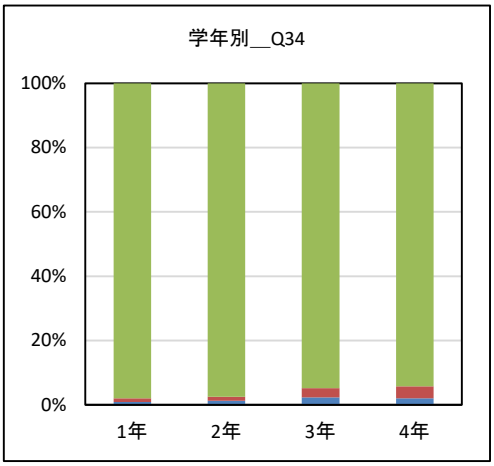
4 週に1回程度　5 週に2～3回　6 殆ど毎日

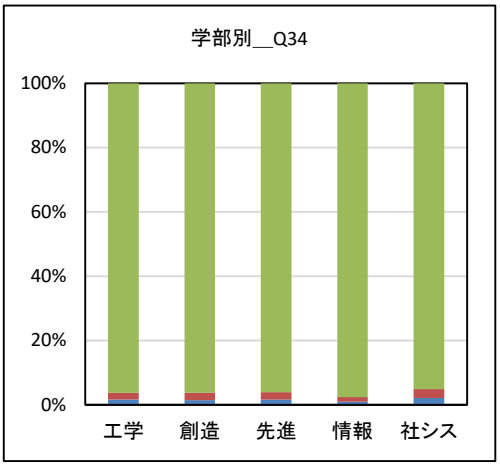
■34_学内関係者（教職員・サークル活動や研究室の先輩・友人）と飲酒した時に飲酒を強要されたり、強要されている場面を見かけたことはありますか。

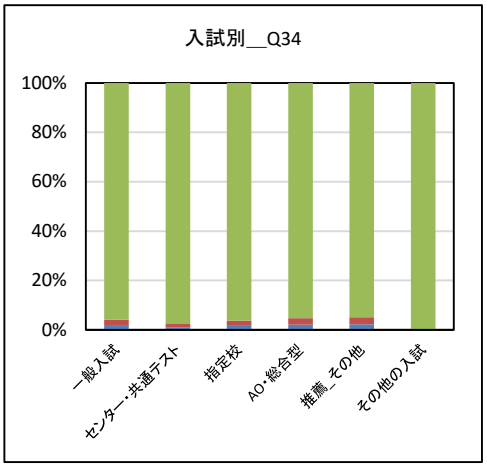






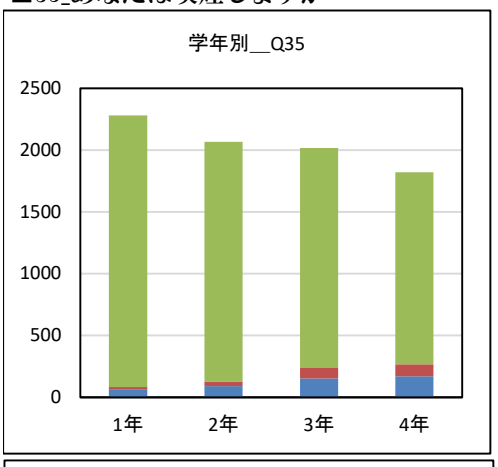


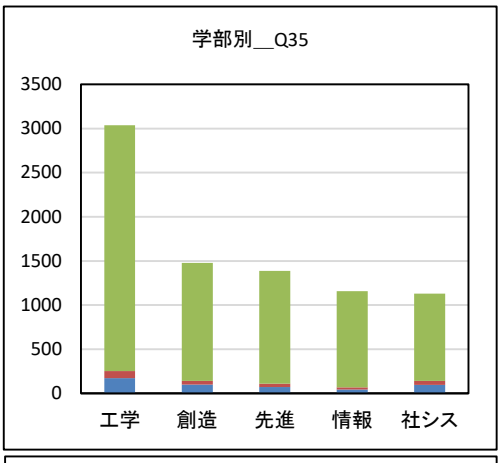


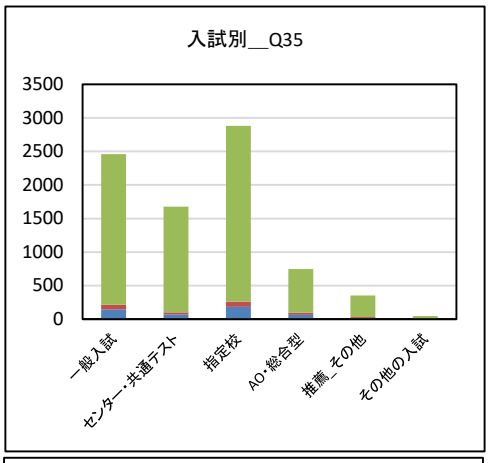


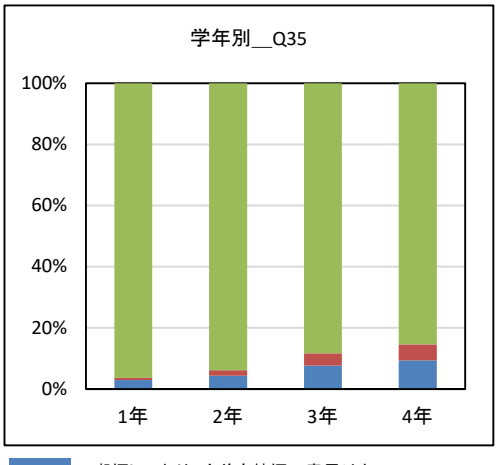
1 飲酒を強要されたことがある　2 飲酒を強要されている場面を見たことがある　3 強要されたこともないし見かけたこともない

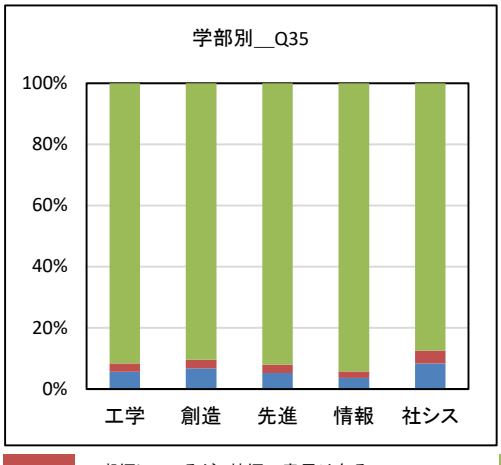
■35_あなたは喫煙しますか

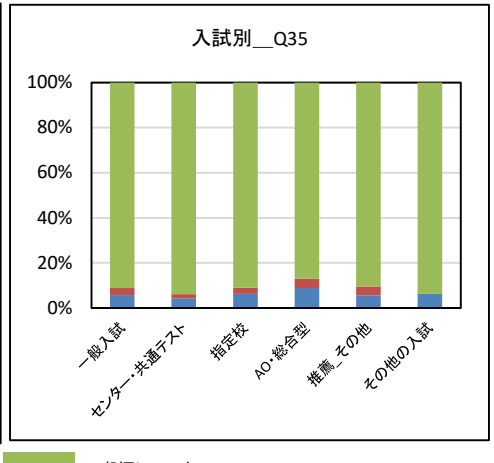






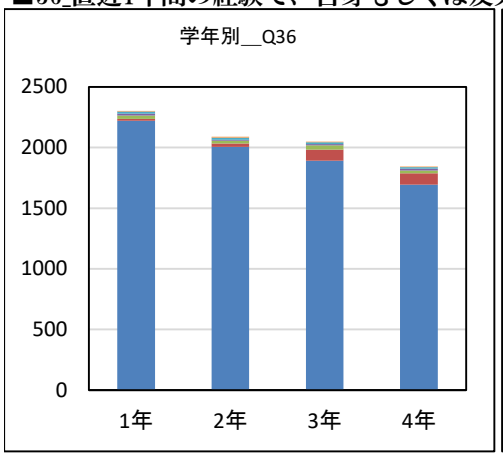


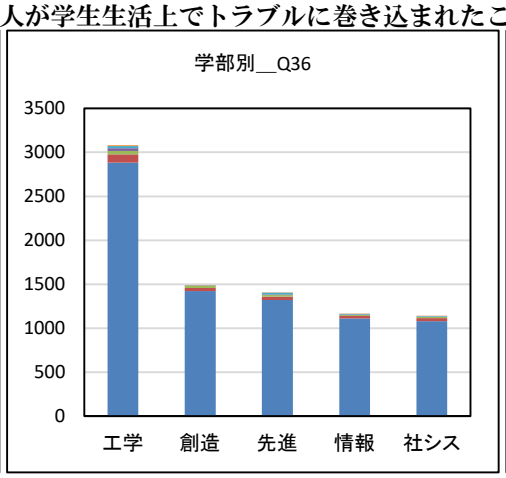


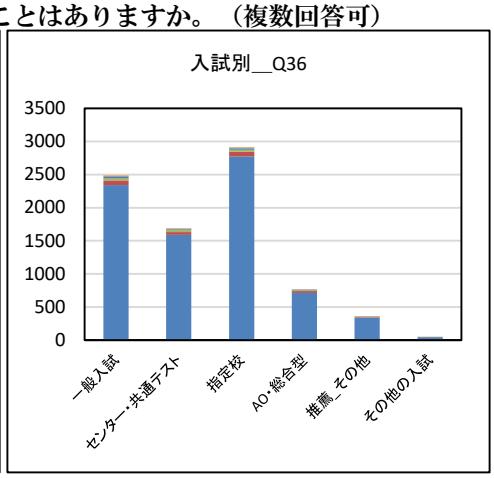


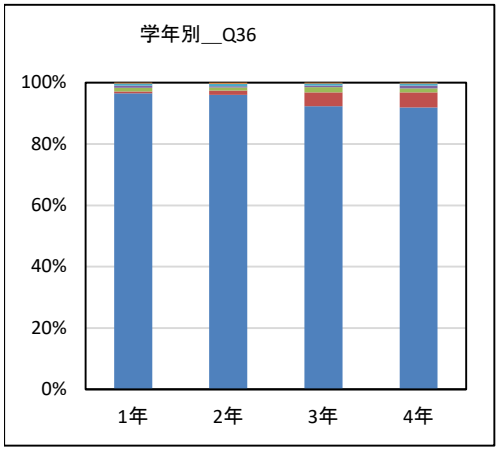
1 喫煙しており、今後も禁煙の意思はない　2 喫煙しているが、禁煙の意思はある　3 喫煙していない

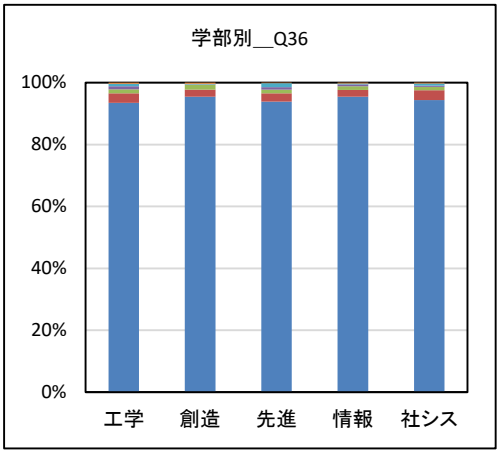
■36_直近1年間の経験で、自身もしくは友人が学生生活上でトラブルに巻き込まれたことはありますか。（複数回答可）

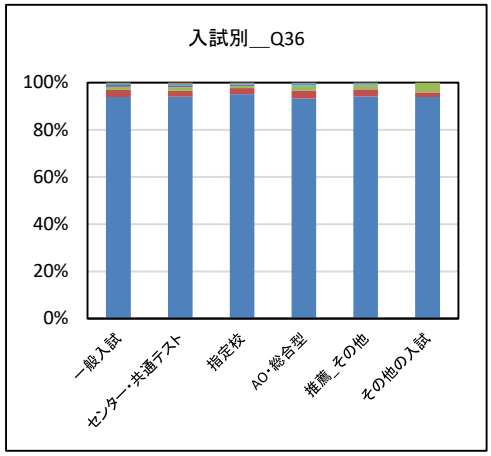




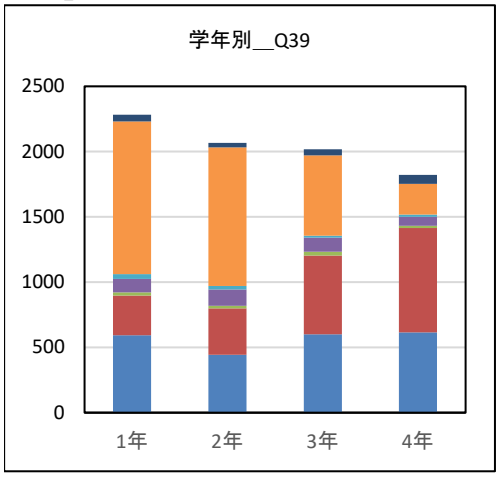


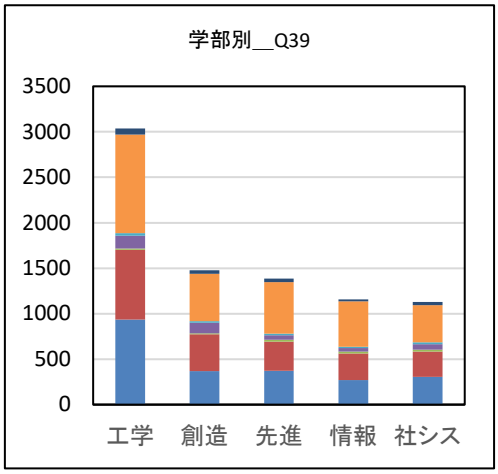


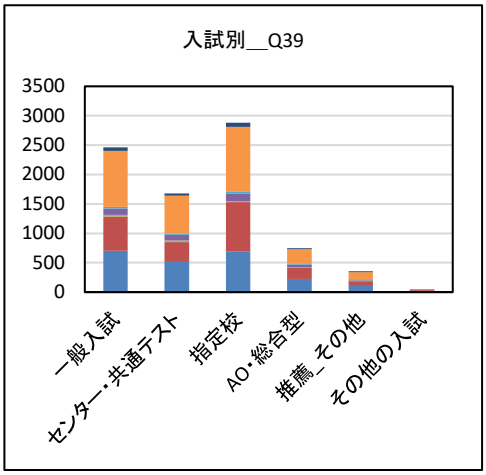


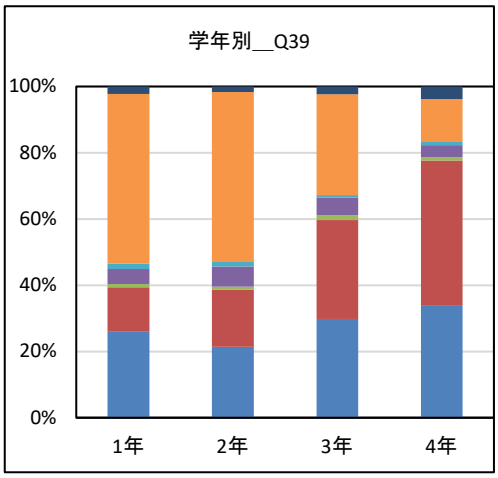


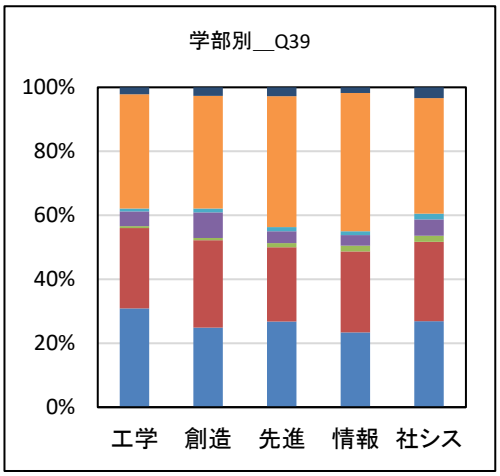
■39_卒業後の進路をどのように考えていますか。（院進学を希望は大学院修了後を意識）

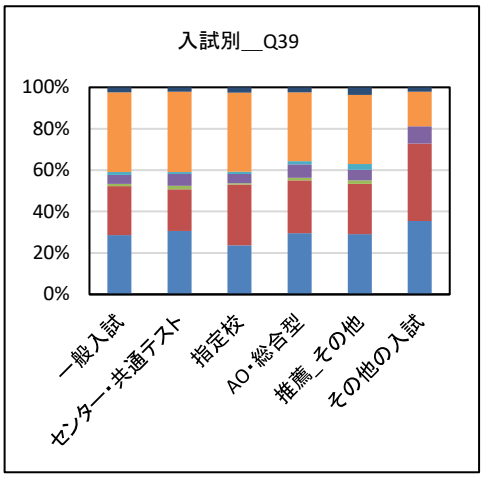






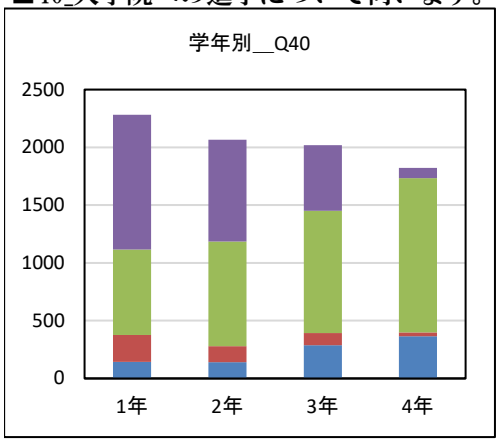


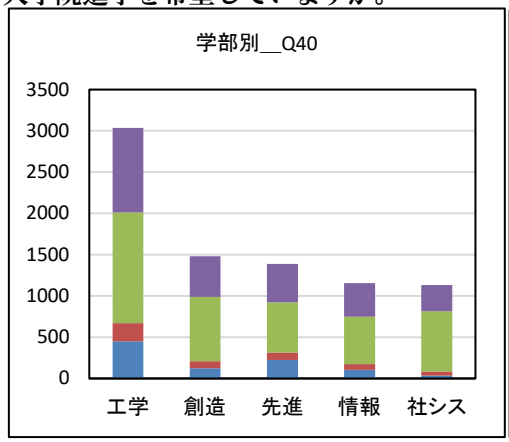


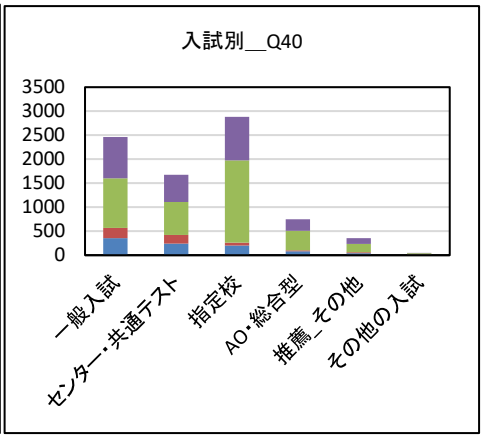


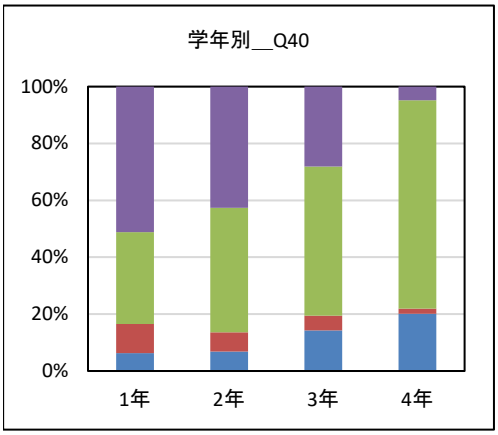
1 大手・上場企業への就職　2 中小企業への就職　3 外資系企業への就職　4 公務員・教員への就職
5 企業を考えている　6 まだわからない　7 その他

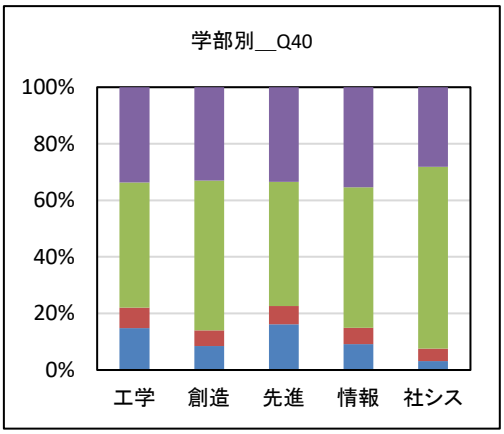
■40_大学院への進学について伺います。大学院進学を希望していますか。

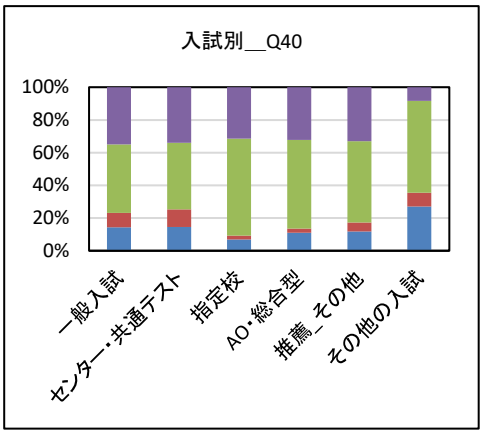








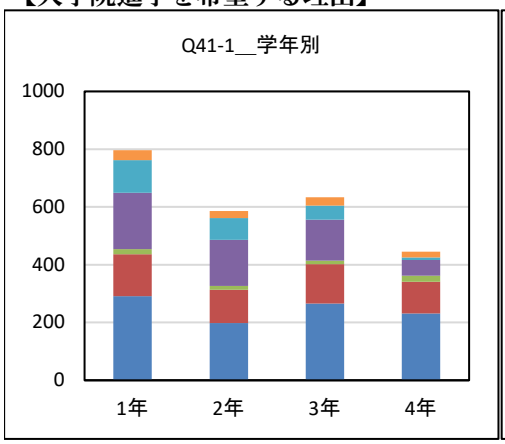


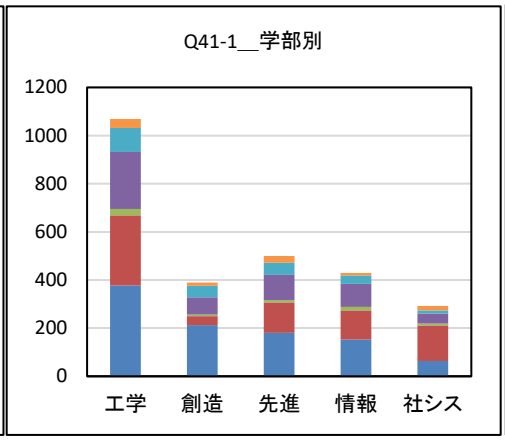


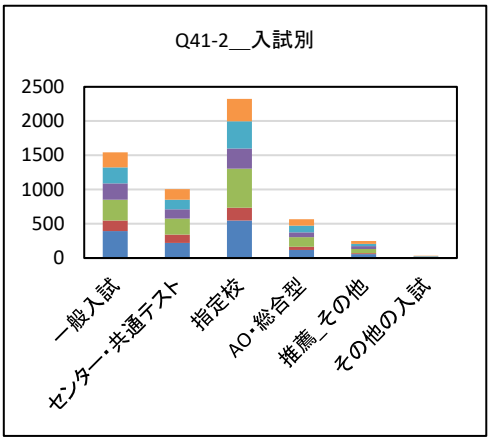
1 本学の大学院に進学を希望している　2 他大学の大学院に進学を希望している　3 大学院進学は希望していない
4 まだ決めていない

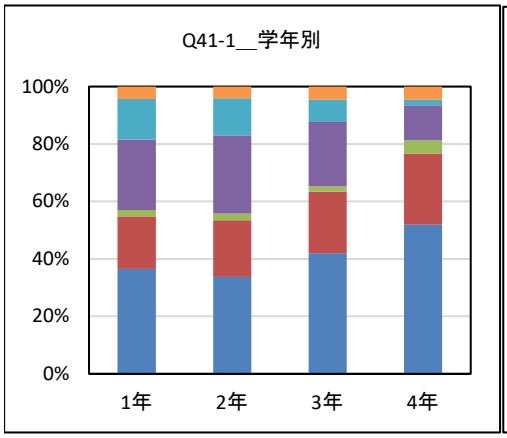
■41_大学院進学を希望する理由、または希望しない理由は何ですか。

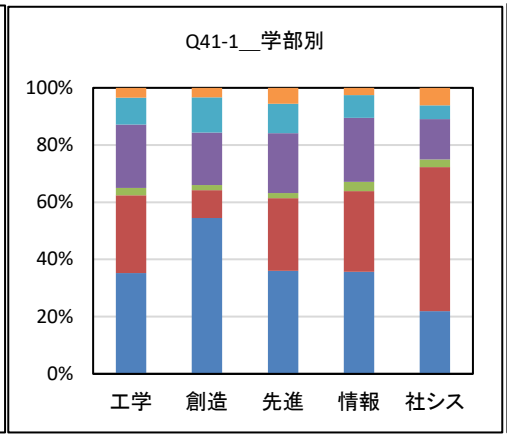
【大学院進学を希望する理由】

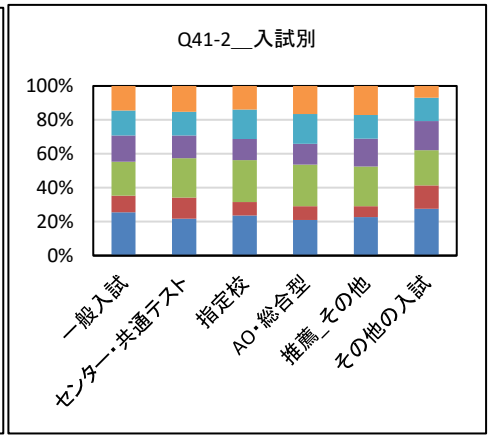








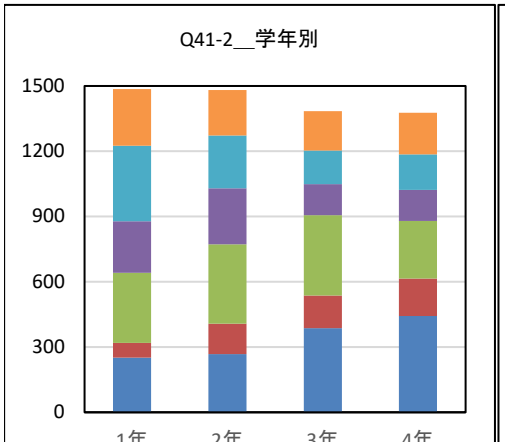


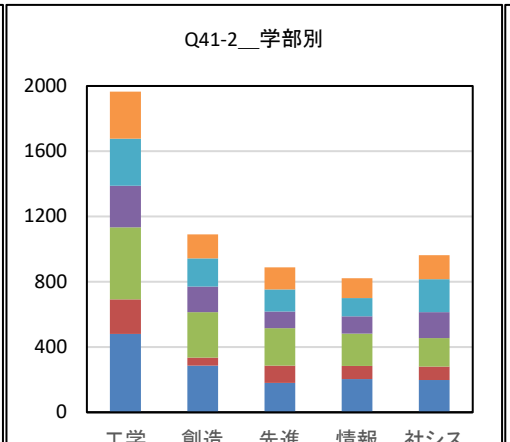


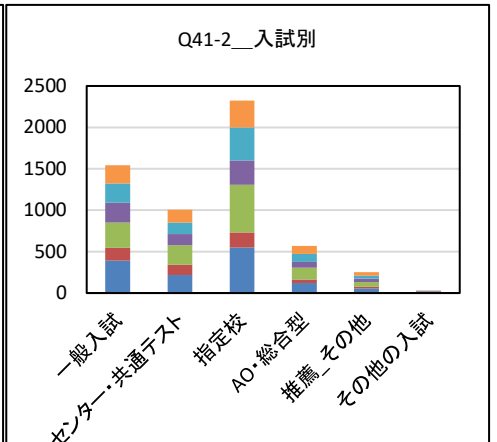
1 専門分野の知識を更に深めたいから　2 研究職・開発職を目指しているから　3 進学をすることが当たり前と思っている

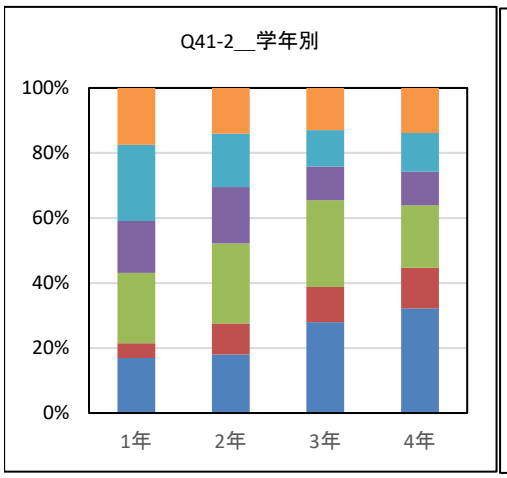
4 就職に有利になりそうだから　5 なんとなく　6 その他

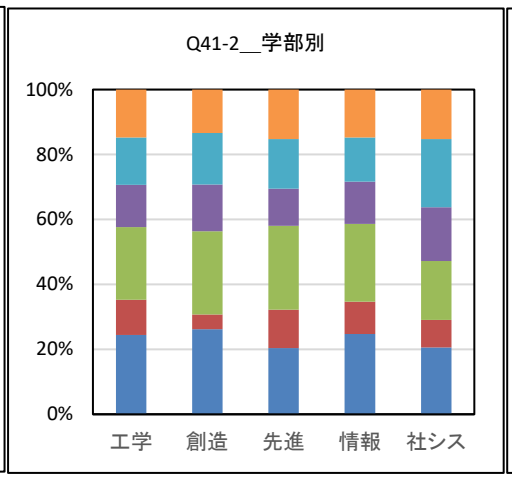
【大学院進学を希望しない理由】

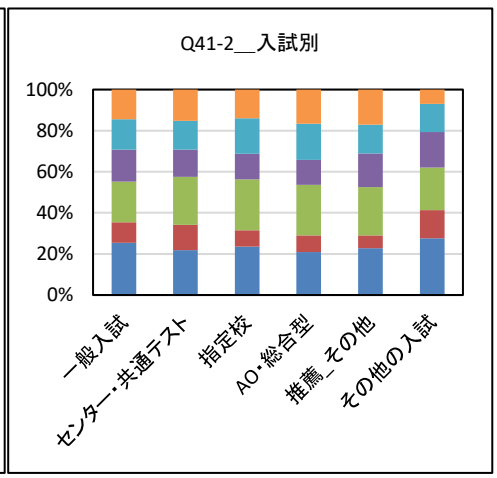








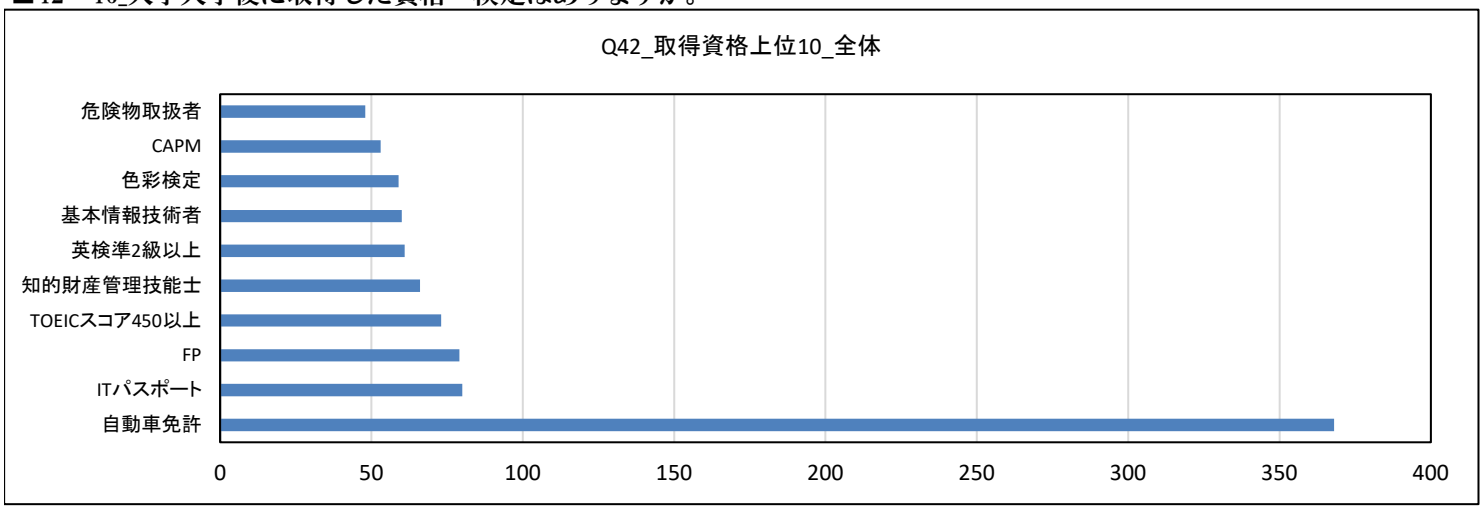


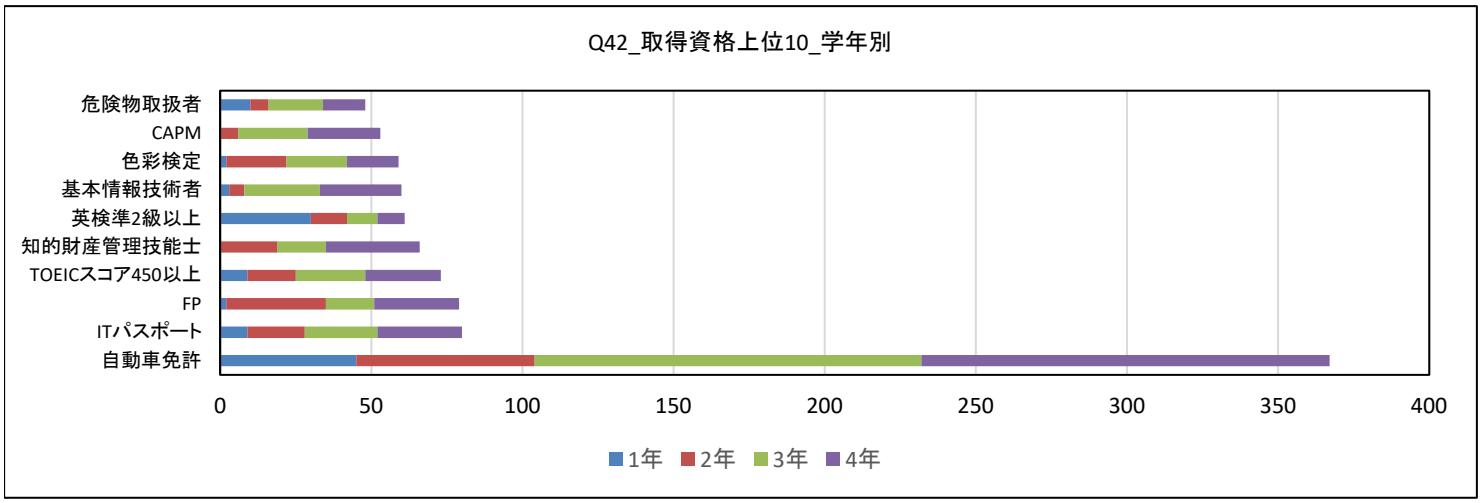


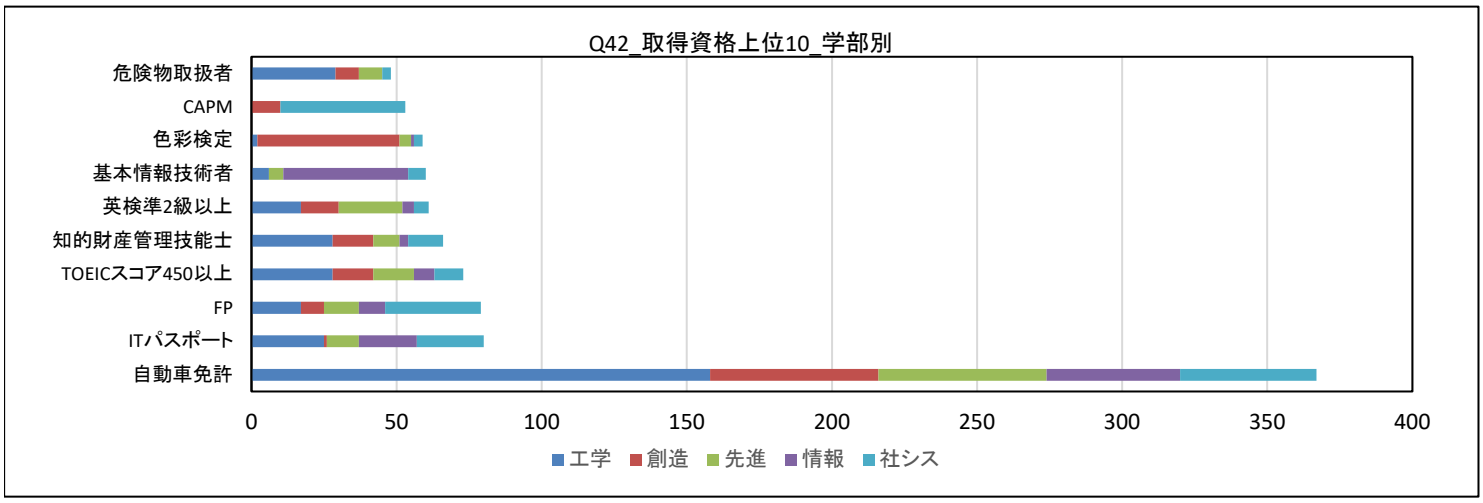
7 早く社会に出たいから　8 大学院の専門性に興味がないから　9 経済的に困難だから

10 進学するメリットがよくわからないから　11 大学院について全く考えた事が無い　12 その他

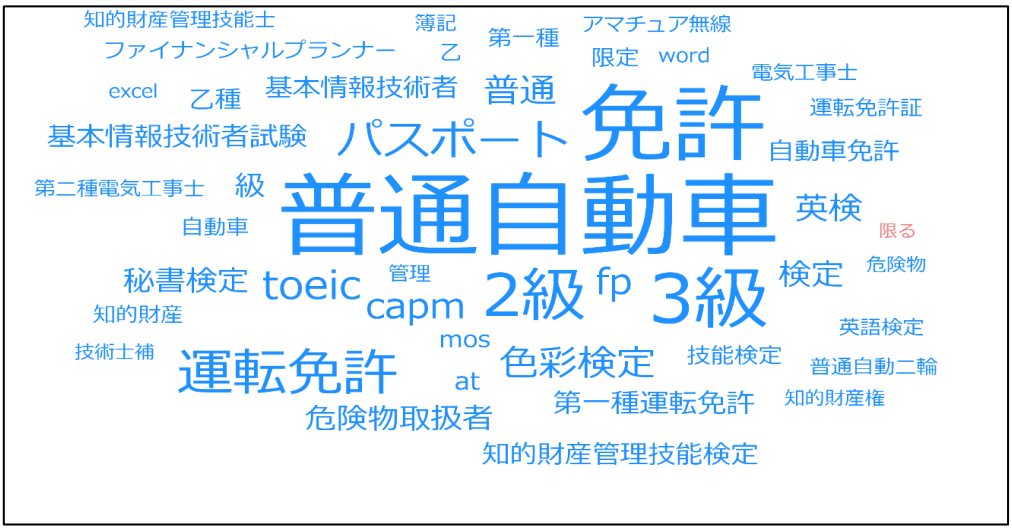
■42～46_大学入学後に取得した資格・検定はありますか。



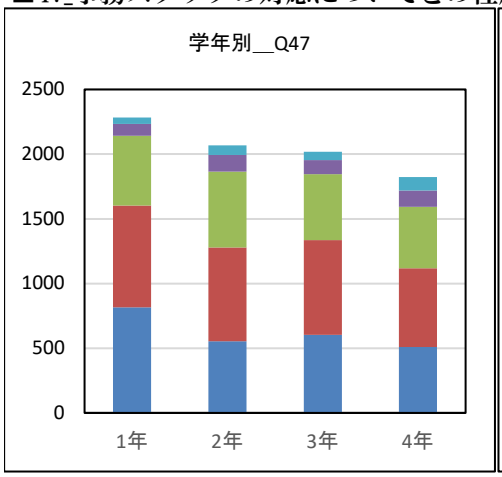


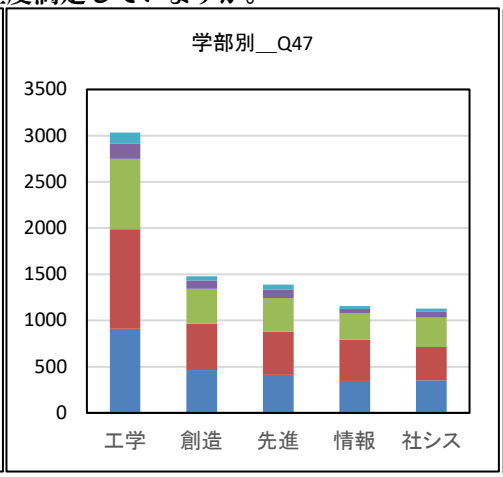


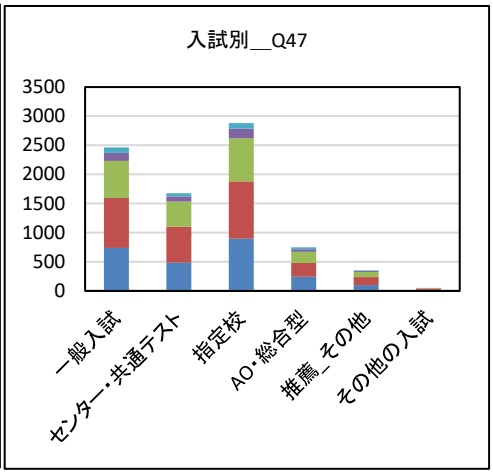
Q42～46_取得資格__テキストマイニング結果

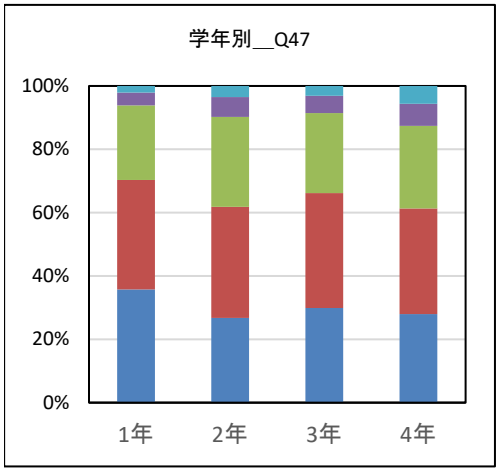


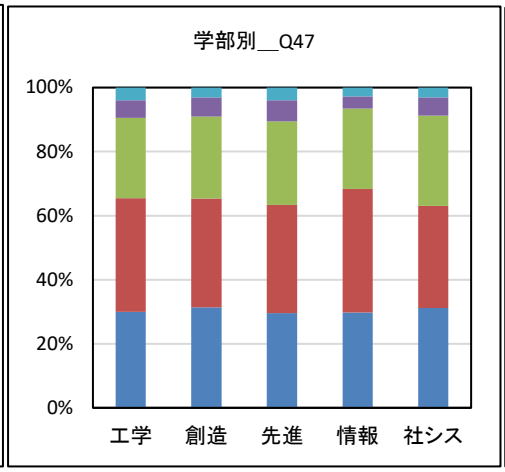
■47_事務スタッフの対応についてどの程度満足していますか。

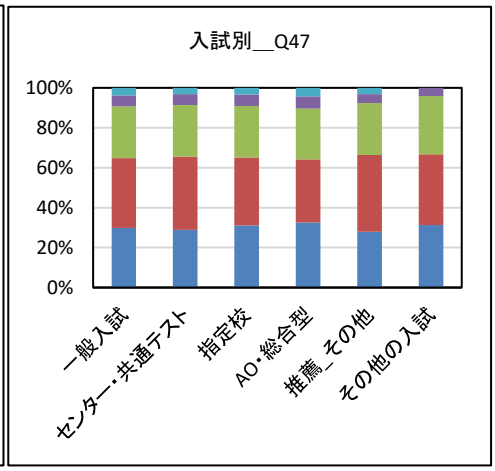




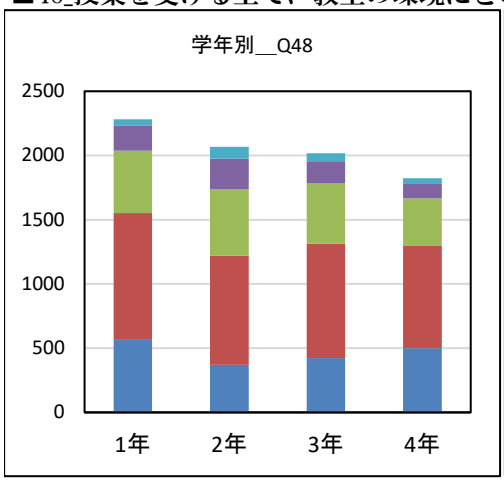


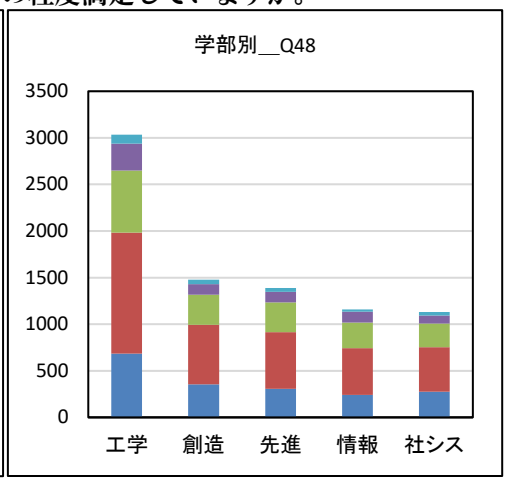


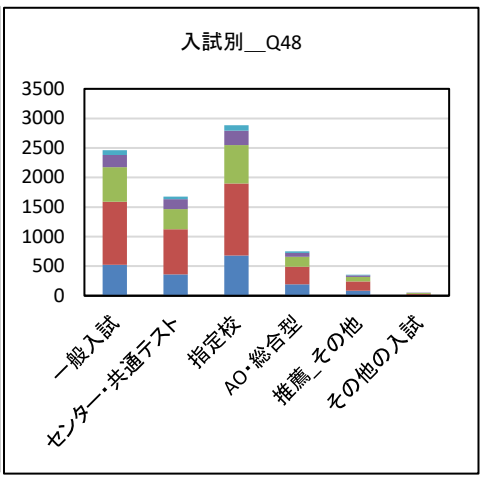


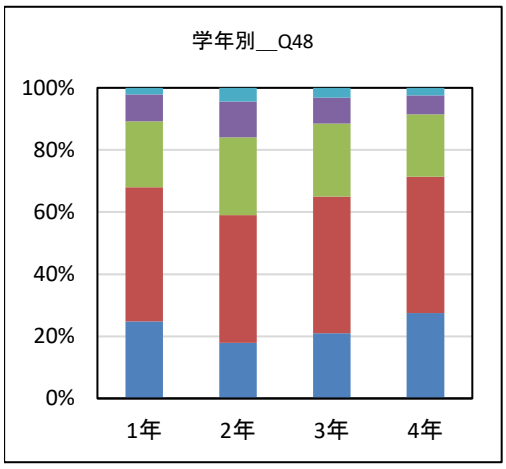


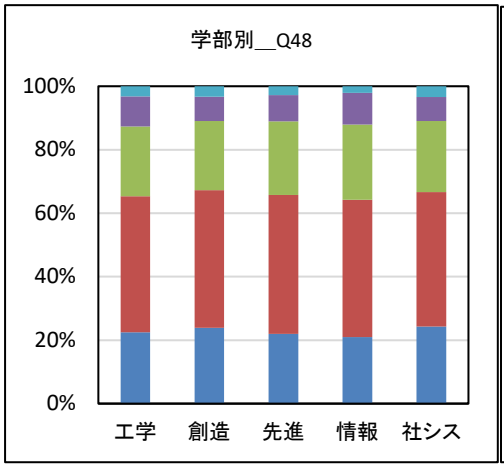
■48_授業を受ける上で、教室の環境にどの程度満足していますか。

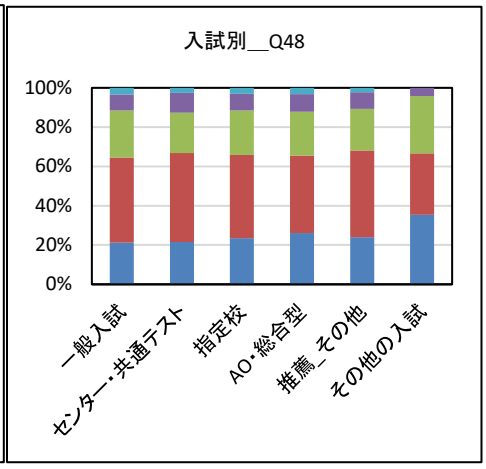




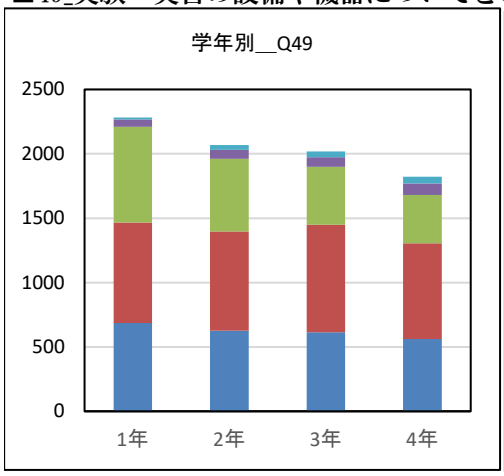


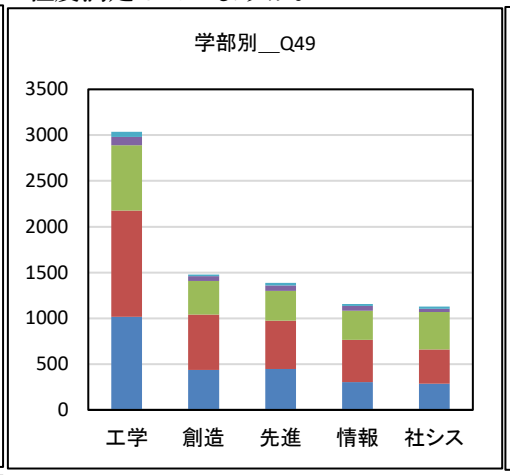


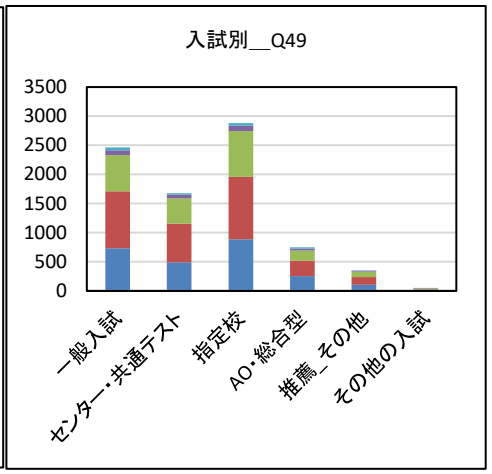


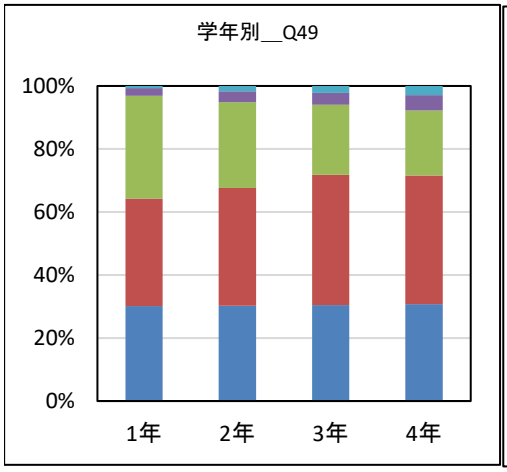


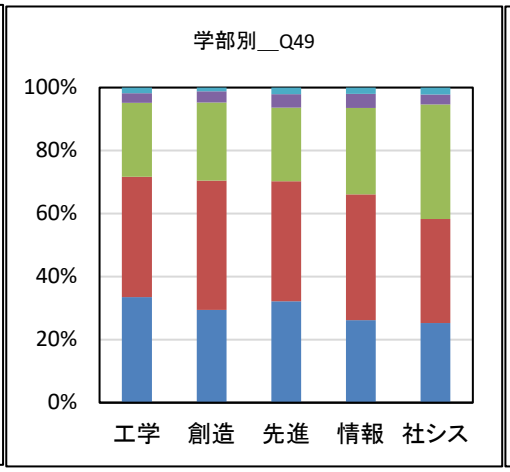
■49_実験・実習の設備や機器についてどの程度満足していますか。

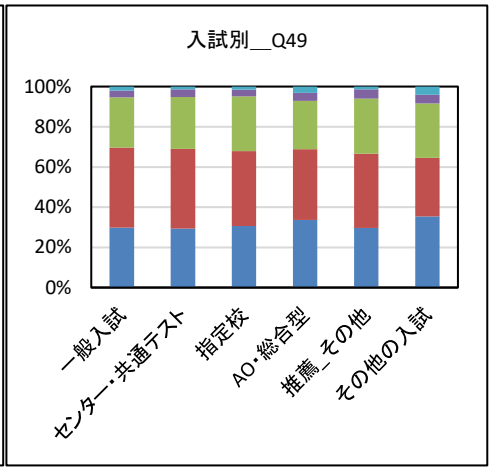






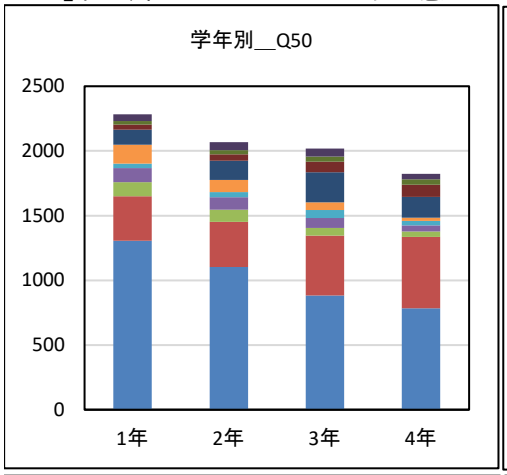


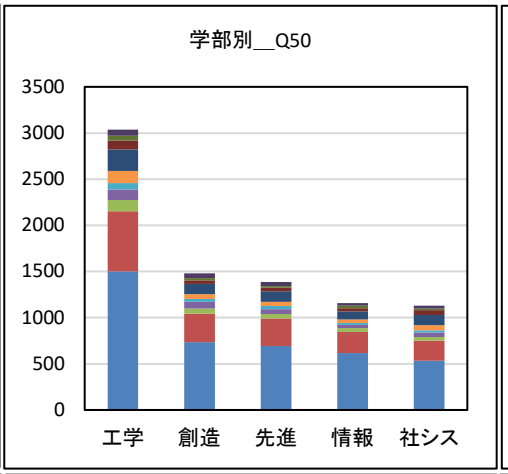


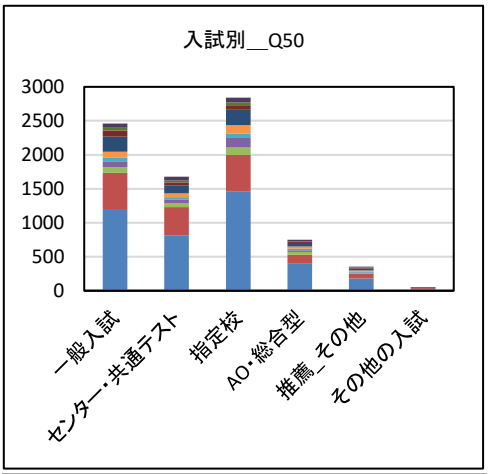


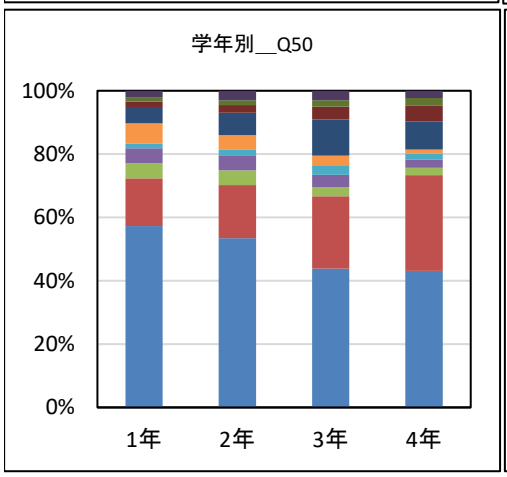
満足している　やや満足している　どちらともいえない　やや不満である　不満である

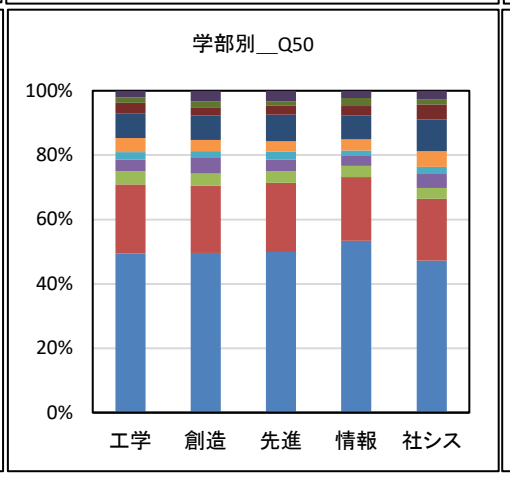
■50_学生食堂についてどのように感じていますか。

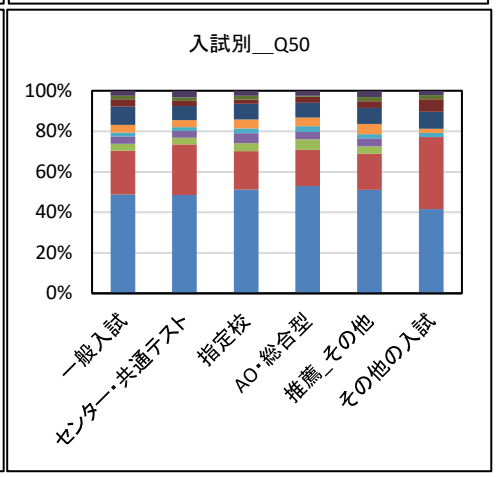






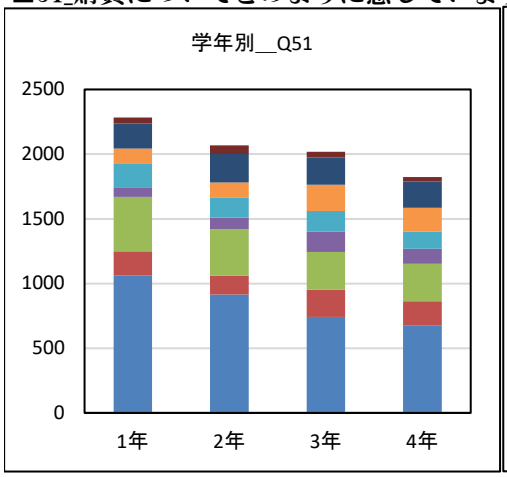


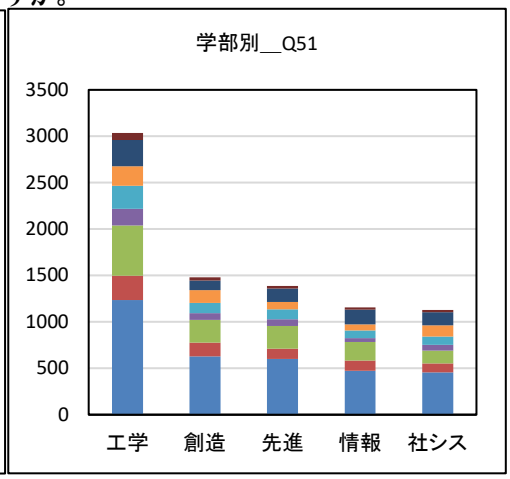


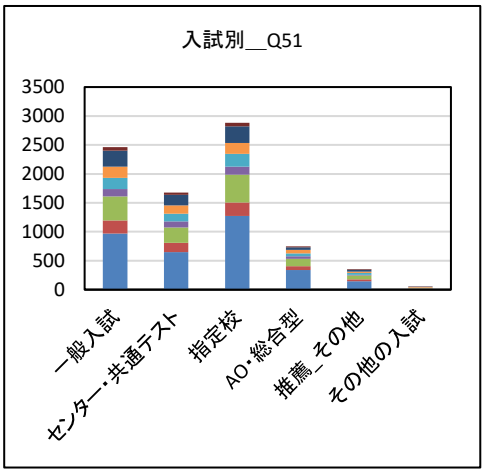


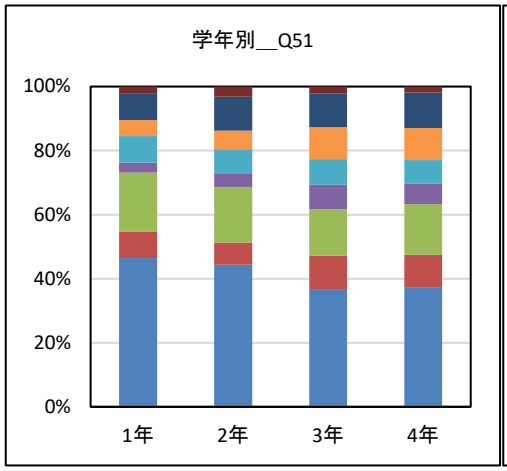
1 価格・ﾒﾆｭｰともに満足　2 価格には満足　3 ﾒﾆｭｰには満足　4 味には満足
5 価格・メニュー・味ともに不満　6 価格が不満　7 メニューが不満　8 味が不満
9 学生食堂を利用していない　10 その他

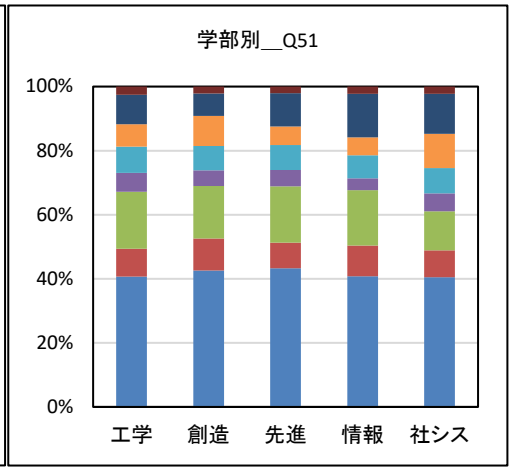
■51_購買についてどのように感じていますか。

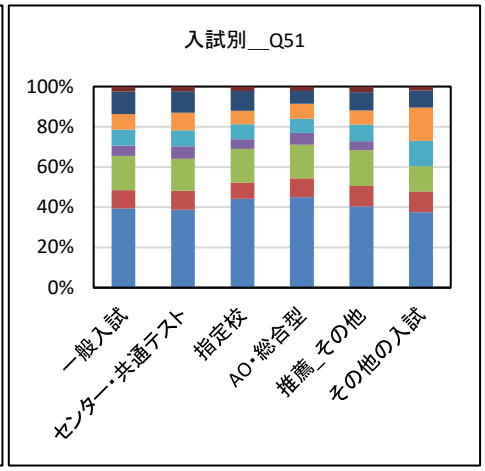












1 品揃え・価格ともに満足している
2 価格には満足している
3 品揃えには満足している
4 価格・品揃えともに満足していない
5 価格に満足していない
6 品揃えに満足していない
7 購買を利用していない
8 その他